

平成24年度

中頓別町教育委員会の活動状況
に関する点検・評価報告書

平成25年 5月

中頓別町教育委員会

はじめに

中頓別町教育委員会では、第7期中頓別町総合計画を基本として「健やかで
こころ豊かな子どもを育てる環境づくり」と「生きがいとまちづくりを支える
社会教育の推進」を柱に、それぞれ具体的な事務事業に取り組んでいます。

この報告書は、平成24年度に教育委員会が行った諸活動について、地方教
育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づいて点検及び評価を行い、そ
の結果をまとめたもので、議会に提出するとともに町民の皆様に公表すること
としています。

教育委員会としては、この点検・評価の結果を事業改善等に役立てながら、
課題や今後の取組の方向性を明らかにし、効果的な教育行政の一層の推進を図
りたいと考えていますので、今後とも皆様により一層のご理解とご協力をお願
い申し上げます。

平成25年5月

中頓別町教育委員会

1. 教育委員会の会議の開催状況

中頓別町教育委員会の会議は原則として公開で、毎月1回開催しています。

この会議において、4名の中頓別町教育委員会委員が教育行政の基本方針の決定、教育に関する規則の制定など、様々な議題について審議しています。

日 時	付 議 案 件 等	
24. 4. 17	議案	・ 付属機関等の委員の任命・委嘱について ・ 補助金の交付に関する社会教育委員会の意見聴取について
	報告	・ 中頓別小学校評議委員会報告について ほか5件
24. 5. 21	議案	・ 委員長の互選について ほか5件
	報告	・ 社会教育委員会からの答申について ほか6件
24. 6. 13	議案	・ 中頓別町立学校職員の自動車の公用使用に関する規則の一部を改正する規則について ほか1件
	報告	・ 中頓別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書策定スケジュールについて ほか4件
24. 7. 31	議案	・ 平成23年度中頓別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価について
	報告	・ 第1回中頓別町教育基本方針（めざす姿）検討委員会の報告について ほか5件
24. 8. 29	議案	・ 中頓別町学校給食運営委員会規則の一部を改正する規則について
	報告	・ 町議会いきいきふるさと常任委員会事務調査報告について ※調査項目：中頓別町教育基本方針（めざす姿）の検討状況及び緊急課題について
24. 9. 13	議案	・ 中頓別町学校給食運営委員会委員の任命について ほか2件
	報告	・ 平成24年度全国学力・学習状況調査抽出調査結果について ほか3件
24. 9. 28	議案	・ 教育長の任命について ほか1件
24. 10. 24	議案	・ 平成24年度中頓別町文化・スポーツ表彰者について ほか4件
	報告	・ 補正予算について ほか6件
24. 10. 30	議案	・ 平成25年度宗谷管内公立小中学校教職員人事異動に係る調書 ほか1件
24. 11. 12	議案	・ 平成25年度公立小中学校教職員人事異動に係る調書について
	報告	・ 平成25年度全国学力・学習状況調査「希望利用した学校」の調査概要について ほか1件
24. 12. 12	議案	・ 平成24年度中頓別町一般会計教育費の補正予算について ほか6件
	報告	・ 第7期中頓別町総合計画推進プロジェクト会議 「地域ぐるみ子育てプロジェクト報告書」について ほか3件

日 時	付 議 案 件 等	
25. 1. 16	承認	・先決処分の承認を求めることについて ※中頓別町寿スキー場スキーパトロール員の委嘱について
	報告	・平成24年度中頓別中学校第2回学校評議委員会の報告について ほか1件
	協議	・「八木祐四郎記念碑を建てる会」からの依頼について ほか2件
25. 2. 18	議案	・平成24年度補正予算について ・平成25年度教育行政執行方針について ・平成25年度当初予算について
	報告	・こども館・小学校・中学校の幼児・児童・生徒（指導）の状況報告について
25. 3. 6	議案	・平成25年度宗谷管内公立小中学校教職員人事異動（案）について
	報告	・体罰に係る実態把握の調査について
25. 3. 19	議案	・教育委員会事務局職員の任免について
25. 3. 27	議案	・スポーツ推進委員設置規則の一部を改正する規則について ほか6件
	協議	・平成24年度中頓別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書の作成スケジュールについて ほか5件

中頓別町教育委員会委員名簿

役 職 名	氏 名	任 期
教育委員長	石井 英正	H24.10.01～H28.09.30
職務代理者	内田 貞代	H22.12.22～H26.12.21
委 員	木内 彰	H21.11.01～H25.10.31
教 育 長	米屋 彰一	H24.10.01～H28.09.30

2. 教育委員の活動状況

教育委員は、月1回の定例会やこども館、小中学校の各種行事および社会教育関係の行事へ出席するなどの活動をしています。

主な活動状況

日付	活動内容	場所	委員名
【平成24年】			
3. 29	定例教育委員会議	役場	石井委員長ほか
4. 1	自治記念式	町民センター	内田職務代理
4. 2	中頓別町こども館入館式	中頓別町こども館	教育長
4. 4	着任教職員辞令伝達式	町民センター	石井委員長ほか
4. 6	中頓別小学校入学式	中頓別小学校	石井委員長ほか
	中頓別中学校入学式	中頓別中学校	石井委員長ほか
	教育関係者歓迎会	まるや	石井委員長ほか
4. 9	浜頓別高等学校入学式	浜頓別高等学校	教育長
4. 13	高齢者教室「寿大学」入学式・始業式	町民センター	教育次長
4. 16	中頓別町緑化推進委員会	役場会議室	教育長
	中頓別地区林野火災予消防対策協議会	役場会議室	石井委員長
4. 17	定例教育委員会議	役場会議室	石井委員長
	教育懇談会	役場会議室	石井委員長ほか
4. 18	定例校長会・教頭会	役場会議室	教育長
	中頓別町教育研究会総会	中頓別小学校	教育長
4. 19	公立高等学校適正配置計画地域別検討協議会	宗谷教育局	教育長
	宗谷管内市町村教育長会議	宗谷教育局	教育長
	宗谷管内公立学校校長会	宗谷教育局	教育長
	宗谷管内市町村教育長会議	宗谷教育局	教育長
	宗谷管内教育委員会連絡協議会教育長部会会議	宗谷教育局	教育長
	平成24年度新任校長歓迎懇親会	稚内サンホテル	教育長
4. 23	教育支援活動運営委員会	役場会議室	教育長
4. 26	スポーツ推進委員会議	役場会議室	教育長
5. 1	鍾乳洞安全祈願祭	鍾乳洞管理棟	教育長
5. 10	社会教育委員会議	役場会議室	教育長
	中頓別町生徒指導連絡協議会総会	中頓別中学校	教育長
5. 12	スポーツ少年団結団式・体カテスト会	町民体育館	教育長
	町長杯争奪町民パークゴルフ大会	パークゴルフ場	教育長
5. 13	クリーン作戦	役場前	教育長
5. 14	町議会第3回臨時会	町役場議場	教育長
5. 15	北海道町村教育委員連合会総会	札幌市	教育長
5. 17	宗谷教育研究所維持委員会	宗谷教育局	教育長
	宗谷管内文教施設整備助成会総会	宗谷教育局	教育長
	宗谷管内教育委員会連絡協議会総会	宗谷教育局	教育長
	宗谷管内教育委員会連絡協議会教育長部会	宗谷教育局	教育長

日付	活動内容	場所	委員名
5. 1 8	中頓別町育英会役員会・総会 中頓別町 PTA 連合会総会	役場会議室 中頓別中学校	教育長 教育長
5. 2 0	南宗谷消防組合中頓別消防団春季消防演習	消防中頓別支署	教育長
5. 2 1	定例教育委員会議	役場会議室	石井委員長ほか
5. 2 3	定例校長・教頭会 鍾乳洞まつり実行委員会義	役場会議室 役場会議室	教育長 教育長
5. 2 5	北海道特別支援教育振興協議会評議委員会 第 6 0 回北海道公立文教施設整備期成会	札幌市 札幌市	教育長 教育長
5. 2 6	中頓別町文化協会総会	創作活動施設	教育長
5. 2 7	中頓別中学校運動会	中頓別中学校	石井委員長ほか
5. 3 1	忠魂碑参拝 戦没者慰霊祭	中頓別神社 町民センター	教育長 教育長
6. 3	鍾乳洞まつり	中頓別鍾乳洞	教育長
6. 4	第 1 回中頓別町特別支援教育連携協議会	中頓別小学校	教育長
6. 6	東日本大震災被災地子ども支援プロジェクト実行委員会	役場会議室	教育長
6. 8	宗谷教育局職員来庁	役場 教育長席	教育長
6. 9	南宗谷中学校防犯球技大会	ふれあいスポーツ広場	教育長
6. 1 0	中頓別小学校運動会	中頓別小学校	石井委員長ほか
6. 1 2	宗谷管内コンプライアンス確立会議	宗谷教育局	教育長
6. 1 3	旧丹波屋旅館視察 定例教育委員会義	小頓別 丹波屋旅館 役場会議室	石井委員長ほか 石井委員長ほか
6. 1 4	学校経営訪問（教育局義務教育指導監）	中小・中中	教育長
6. 1 9	定例校長・教頭会	役場会議室	教育長
6. 2 0	町議会第 2 回定例会	町役場議場	教育長
6. 2 3	こども館運動会	こども館屋外運動場	教育長
6. 2 6	体育連盟総会	役場会議室	教育長
6. 2 8	学校給食会総会	役場会議室	教育長
7. 2	「社会を明るくする運動」街頭啓発(町長代理)	中頓別小学校前	教育長
7. 3	中頓別町教育基本方針検討委員会議	役場会議室	教育長
7. 4	宗谷教育局局長訪問	役場 教育長席	教育長
7. 5	学校教育指導訪問（教育局義務教育指導班）	中頓別小学校	教育長
7. 6	教育委員会訪問	役場会議室	教育長
7. 8	町民ソフトボール大会	中中グラウンド	教育長
7. 9	中頓別町教育委員会外部評価委員会議	役場会議室	教育長
7. 1 1	全道教育委員研修会	札幌市	石井委員長ほか
7. 1 7	宗谷管内教育委員会教育長会議 宗谷管内教職員人事推進会議 宗谷管内教育委員会連絡協議会教育長部会	宗谷教育局 宗谷教育局 宗谷教育局	教育長 教育長 教育長
7. 1 8	定例校長・教頭会 文化財保護委員会議	役場会議室 役場会議室	教育長 教育長
7. 2 0	東日本大震災被災地子どもプロジェクト会議	役場会議室	教育長

日付	活動内容	場所	委員名
7. 2 2	中頓別神社祭典・宵宮祭（町長代理）	中頓別神社	教育長
7. 2 3	中頓別神社祭典・大祭（町長代理）	中頓別神社	教育長
7. 2 5	宗谷管内いじめ・不登校等対策本部会議 教職員互助会レクレーション	宗谷教育局 中頓別小学校	教育長 教育長
7. 3 1	定例教育委員会議	役場会議室	教育長
8. 7	特別支援教育連携協議会視察研修	天北厚生園	教育次長
8. 8	第2回中頓別町教育基本方針検討委員会	役場会議室	教育次長
8. 2 1	楯原民乃助氏追悼慰霊祭 交通事故死亡者慰霊祭 無縁物故者法要	専念寺前 寿交通安全碑 中頓別墓地	教育長 教育長 教育長
8. 2 2	定例校長・教頭会	役場会議室	教育長
8. 2 4	町職員採用試験	役場会議室	教育長
8. 2 8	第3回中頓別町教育基本方針検討委員会	役場会議室	教育長
8. 2 9	町議会第4回臨時会 定例教育委員会議 町民駅伝競技大会・小学生マラソン大会運営委員会	町役場議場 役場会議室 役場会議室	教育長 教育長 教育長
8. 3 0	学校訪問	中頓別小学校	教育長
9. 4	管内教育委員研修	猿払村	内田職務代理ほか
9. 7	敬老会	町民センター	教育長
9. 8	南宗谷防犯球技大会（サッカー）新人戦	ふれあいスポーツ広場	教育長
9. 1 0	宗谷教育局管内特別支援連携協議会	宗谷教育局	教育長
9. 1 1	中頓別町子育て講演会	町民センター	内田職務代理ほか
9. 1 3	定例教育委員会議	役場会議室	石井委員長ほか
9. 1 9	定例校長・教頭会	役場会議室	教育長
9. 2 1	学校教育指導（教育局義務教育指導班）	中頓別中学校	教育長
9. 2 3	なかとんべつ「通学合宿」（9月27日まで）	町役場議場	教育長
9. 2 6	町議会第3回定例会	町役場議場	石井委員長ほか
9. 2 7	決算審査特別委員会	町役場議場	教育長
9. 2 8	臨時教育委員会議	役場会議室	石井委員長ほか
10. 2	第1回中頓別町民文化祭実行委員会議	役場会議室	教育長
10. 4	宗谷教職員組合中頓別支部来庁	役場 教育長席	教育長
10. 5	宗谷管内公立小中学校職員人事推進会議 宗谷管内市町村教育委員会教育長会議 宗谷管内教育委員会連絡協議会教育長部会 体育連盟ビールパーティ	宗谷教育局 宗谷教育局 宗谷教育局 町民センター	教育長 教育長 教育長 教育長
10. 6	第7回収穫祭 in 中頓別パークゴルフ大会	パークゴルフ場	内田職務代理
10. 7	第59回日本PTA北海道ブロック研究大会宗谷・稚内大会	稚内市	教育長
10. 9	第1回北海道学力向上推進協議会	札幌市	教育長
10. 1 0	町議会第5回臨時会	町役場議場	教委長
10. 1 1	中頓別町防災訓練	対象地区：あかね全域	教育長

日付	活動内容	場所	委員名
10.14	中頓別中学校学校祭	中頓別中学校	内田職務代理者ほか
10.16	定例校長・教頭会	役場会議室	教育長
10.17	宗谷管内臨時市町村教育委員会教育長会議	宗谷教育局	教育長
	第5回宗谷管内教育委員会連絡協議会教育長部会	宗谷教育局	教育長
	宗谷管内コンプライアンス確立会議	宗谷教育局	教育長
10.18	中頓別町仏教会戦没者慰霊祭	開禅寺	内田職務代理者
	平成24年度稚内税務署管内税務協議会	役場会議室	内田職務代理者
10.21	中頓別小学校学芸会	中頓別小学校	内田職務代理者ほか
	中頓別町職員採用試験	役場会議室	教育長
10.24	定例教育委員会議	役場会議室	石井委員長ほか
10.25	平成24年度教育長部会研修会	札幌市	教育長
10.30	臨時教育委員会議	役場会議室	石井委員長ほか
10.31	北教組中頓別支部来庁	役場 教育長席	教育長
11.2	町民文化祭～4日	町民センター	石井委員長ほか
11.5	地域懇談会(上駒自治会)	役場会議室	教育長
11.6	平成25年度当初人事協議	宗谷教育局	教育長
	地域懇談会(あかね自治会)	あかね会館	教育長
11.7	第2回北海道学力向上推進協議会	札幌市	教育長
	地域懇談会(松音知自治会)	松音知会館	教育次長
	地域懇談会(第2、3、4、5自治会)	役場会議室	教育次長
11.8	地域懇談会(第1自治会)	専念寺	教育長
11.9	地域懇談会(藤井自治会)	藤井会館	教育長
	地域懇談会(小頓別自治会)	多目的集会施設	教育長
11.10	地域懇談会(旭台、弥生、寿自治会)	旭台会館	教育長
11.12	定例教育委員会議	役場会議	石井委員長ほか
11.14	定例校長・教頭会	役場会議室	教育長
11.18	中頓別小学校親子ふれあい広場	中頓別小学校	教育長
11.19	浜頓別・中頓別合同学校経営研究会	町民センター	石井委員長ほか
11.20	中頓別町議会いきいきふるさと常任委員会事務調査	町役場議場	教育長
11.27	中頓別探検隊	中頓別小学校	教育長
	第2回町民文化祭実行委員会	役場会議室	教育長
	あいさつ子育て推進協議会役員会	中頓別中学校	教育長
12.3	中中総合的な学習の時間学習発表	中頓別中学校	教育長
	宗谷教職員組合中頓別支部来庁	役場 教育長席	教育長
12.4	教育委員による学校訪問	中小・中中	石井委員長ほか
12.5	第3回特別支援教育連携協議会情報交換会	役場会議室	内田職務代理者ほか
12.6	学校教育指導訪問(宗谷教育局指導主事)	中頓別中学校	教育長
12.12	定例教育委員会議	役場会議室	石井委員長ほか
12.13	中頓別小学校総合学習発表会	町民センター	内田職務代理者ほか
	義務教育指導監訪問	中小・中中・教委	教育長
12.15	中頓別地域異世代ふれあい交流事業	町民センター	教育長

日付	活動内容	場所	委員名
12.18	町議会第4回定例会（～19日）	町役場議場	教育長
12.21	寿スキー場安全祈願祭 定例校長・教頭会	寿スキー場 役場会議室	教育長 教育長
12.25	全国学力・学習状況調査に係る打合せ	浜頓別町	教育長
12.27	教育関連施設視察	スキー場、体育館ほか	石井委員長ほか
【平成25年】			
1.4	新年交礼会	役場町民ホール	石井委員長ほか
1.5	南宗谷消防組合中頓別消防団出初式	町民センター	教育長
1.9	ジュニアアルペン教室（～11日） カルタ教室（～11日）	寿スキー場 柔剣道場	教育次長 教育次長
1.10	宗谷公立学校教頭会勇退感謝激励会	稚内市	教育長
1.12	町民カルタ大会	柔剣道場	教育長
1.13	平成25年 成人式	町民センター	石井委員長ほか
1.14	第33回宗谷地区ジュニアアルペン競技大会	寿スキー場	教育長
1.16	定例教育委員会議	役場会議室	教育長
1.19	寿大学「カラオケサークル」総会及び新年会	町民センター	教育長
1.21	学力アップセミナー	役場会議室	教育長
1.23	中頓別町教育行政関係者連携会議 定例校長・教頭会	役場会議室 役場会議室	教育長 教育長
1.24	宗谷管内公立学校会計事務改善検討会議 宗谷管内市当村教育委員会教育長会議 宗谷管内教育委員会連絡協議会教育長部会会議	宗谷教育局 宗谷教育局 宗谷教育局	教育長 教育長 教育長
1.25	大崎上島町交流団歓迎会	ピンネシリ温泉	教育長
1.29	道徳教育講演会	中頓別小学校	内田職務代理者ほか
1.30	中頓別町防災会議	役場会議室	教育長
1.31	宗谷管内教育実践表彰に係る選考委員会 平成25年度当初校長・教頭人事協議	宗谷教育局 宗谷教育局	教育長 教育長
2.5	宗谷管内教育推進会議	宗谷教育局	教育長
2.6	第2回北海道町村教育委員会連合会役員会	札幌市	教育長
2.7	平成25年度町議会第1回臨時会	町役場議場	教育長
2.9	認定こども園生活発表会	こども館	内田職務代理者ほか
2.18	定例教育委員会議 宗谷教職員組合中頓別支部来庁	役場会議室 役場町民ホール	教育長 教育長
2.20	定例校長・教頭会	役場会議室	教育長
2.21	平成25年度当初人事に係る教育長協議 臨時校長会	宗谷教育局 役場会議室	教育長 教育長
2.23	退職校長感謝会	稚内市	教育長
2.26	第2回宗谷管内教育推進会議	宗谷教育局	教育長
2.27	文化財保護委員会	役場会議室	教育長
3.1	浜頓別高等学校卒業式	浜頓別高等学校	教育次長
3.5	平成25年度町議会第1回定例会	町役場議場	教育長

日付	活動内容	場所	委員名
3. 5	あいさつ子育て推進協議会役員会	中頓別中学校	教育長
3. 6	宗谷管内教育推進会議(中頓別教育関係者・宗谷教育局) 臨時教育委員会議	町民センター 役場会議室	教育長 石井委員長ほか
3. 8	学校教育指導(宗谷教育局指導主事) スクールバス運転手採用面接試験	中小・中中・こども館 役場会議室	教育長 石井委員長
3. 10	平成25年町議会第1回定例会(再開)	町役場議場	教育長
3. 13	中頓別中学校卒業式 予算審査特別委員会・本会議 議員、町幹部職員等懇親会	中頓別中学校 町役場議場 ピンネシリ温泉	石井委員長ほか 教育長 教育長
3. 15	スポーツ推進委員会	役場会議室	教育長
3. 17	中頓別小学校卒業式	中頓別小学校	内田職務代理者ほか
3. 18	寿大学卒業式及び終了式	町民センター	教育長
3. 19	定例校長・教頭会 臨時教育委員会議	役場会議室 役場会議室	教育長 石井委員長ほか
3. 20	スポーツ少年団本部解団式	町民センター	教育長
3. 29	平成25年度町議会第2回臨時会	町役場議場	教育長

3. 法規・規則等の制定、計画等の策定状況

平成24年度に改正または制定された教育関係条例の数は1本、規則の数は4本、規程等の数は4本です。

なお、法規・規則等の制定の状況は次のとおりです。

(1)教育関係条例

題 名	公布年月日	施行年月日
中頓別町寿スキー場設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例	H24.10.01	H24.10.01

(2)教育委員会規則

題 名	公布年月日	施行年月日
中頓別町学校管理規則の一部を改正する規則	H24.05.21	H24.05.21
中頓別町学校職員の自家用車の公用使用に関する規則の一部を改正する規則	H24.06.13	H24.06.13
中頓別町学校給食運営委員会規則の一部を改正する規則	H24.08.29	H24.08.29
中頓別町文化スポーツ表彰規則の一部を改正する規則	H24.10.24	H24.10.24

(3)教育委員会規程・要綱等

題 名	公布年月日	施行年月日
教職員住宅の使用に関する規程の一部を改正する規程	H24.12.12	H24.12.12
中頓別町文化スポーツ表彰規則取扱要綱の一部を改正する要綱	H24.10.24	H24.10.24
中頓別町学校・家庭・地域の連携による教育支援活動運営委員会設置要綱	H24.10.24	H24.10.24
中頓別町寿スキー場スキーパトロール員設置要綱	H24.12.12	H24.12.12

4. 付属機関の審議概要

中頓別町教育委員会に設置している主な付属（審議）機関は、次のとおりです。

平成24年度には各機関等において、諮問された次の審議事項について、答申等に向けた協議、検討が行われました。

名称・任期	委員数	月 日	審 議 事 項 等
社会教育委員会 23. 04. 01～25. 03. 31 ※定数10名以内	9名	24. 05. 10 7名出席	○各種社会教育施設使用料の見直しについて ○社会教育団体に対する補助金の交付に対する意見について
		24. 10. 11 8名出席	○中頓別町教育委員会の活動状況に関する点検評価報告について ○中頓別町教育基本方針（めざす姿）に係る提言書について ○寿スキー場使用料の改正及び点検整備について ○平成23年度第1回中頓別町文化スポーツ表彰選考委員会 ※文化スポーツ表彰候補者の適否について
		25. 03. 28 6名出席	○平成24年度社会教育事業・社会体育事業の課題と方向性について ○平成25年度社会教育・スポーツ推進事業計画について ○登録有形文化財「旧丹波屋旅館和館・洋館」に関する意見について ○社会教育委員設置条例に関する見直しの必要性について
スポーツ推進委員会 23. 04. 01～25. 03. 31 ※定数15名以内	11名	24. 04. 26 7名出席	○委員長、副委員長の選出 ○スポーツ基本法について ○スポーツ推進委員の委嘱について ○報告 ・町民パークゴルフ大会 ・スポーツ少年団結団式、体カテスト会 など ○協議 ・町民ソフトボール大会 ・夏休みラジオ体操会 ・町民パークゴルフ大会 ・社会体育施設の利用について

名称・任期	委員数	月 日	審 議 事 項 等
スポーツ推進委員会	11名	24.06.08 8名出席	○報告 ・町民パークゴルフ大会 ○協議 ・町民ソフトボール大会 ・夏休みラジオ体操会 ・町民体育館・学校施設利用のしおりについて
		24.08.06 8名出席	○報告 ・町民ソフトボール大会 など ○協議 ・町民駅伝協議大会・マラソン大会 など
		25.02.04 9名出席	○報告 ・ジュニアアルペン競技大会について ○協議 ・冬季スポーツ事業の取り組みについて ・歩くスキー遠足について ・総合型スポーツクラブ先進地視察について
		25.03.15 7名出席	○報告 ・平成24年度事業報告及び反省と総括 ○協議 ・平成25年度スポーツ推進事業計画について ・スポーツ推進委員設置規則の改正案について ・総合型スポーツクラブについて ・歩くスキー遠足について ・スポーツ推進委員役員改選について
		24.04.25 10名出席	○総会 ・平成23年度活動報告、決算報告 ・平成24年度事業計画、予算の承認
中頓別町特別支援教育 連携協議会 24.04.01～26.03.31 ※関係団体・機関等 から15名以内	14名	24.05.17 5名出席	○役員会 ・学習会について ・今後取り組みについて（視察研修・講演会）
		24.06.04 38名出席	○学習会 テーマ「発達障害に関する基礎理解と具体的対応 について」 宗谷教育局 千代指導主事
		24.06.21 7名出席	○役員会 ・学習会の総括 ・視察研修、講演会について
		24.08.07 11名出席	○視察研修 ・社会福祉法人宗谷福祉会 天北厚生園
		24.04.25 10名出席	○総会 ・平成23年度活動報告、決算報告 ・平成24年度事業計画、予算の承認

名称・任期	委員数	月 日	審 議 事 項 等
中頓別町特別支援教育 連携協議会	14名	24.09.06 7名出席	○役員会 ・視察研修の感想等 ・講演会の取り組みについて
		24.10.03 35名出席	○講演会 テーマ「ジョブコーチの基礎知識」
		24.11.15 8名出席	○役員会 ・講演会の感想等 ・今後の取り組みについて
		24.12.05 9名出席	○情報交換会 ・各関係機関の活動、事業内容等の情報交流
		25.02.21 8名出席	○役員会 ・平成24年度事業報告、決算状況等 ・平成25年度事業計画、予算案等 ・規約について ・組織再編について
中頓別小学校評議員会 24.04.01～25.03.31 ※定数5名以内	5名	25.02.07 2名出席	○「中小の教育を考える懇談会」として実施 参加者：PTA三役、学級代表、教育委員会 中学校教諭、子ども安全パトロール隊 ・各種行事等への意見
中頓別中学校評議員会 24.04.01～25.03.31 ※定数5名以内	5名	24.07.17 4名出席	○学校経営の方針及び重点等説明 ○1学期の学校経営の振り返り ○意見交流
		24.12.13 2名出席	○2学期の教育活動の振り返り ○学校評価・保護者アンケート集計結果 ○意見交流
中頓別町子どもの読書 活動推進会議 ※関係機関等のも で構成 ※担当者会議の設置	15名	推進会議	
		24.04.23 8名出席	○会長・副会長の選任について ○平成23年度の取り組みに対する評価について ○平成24年度の取り組みについて
		担当者会議	
		24.06.18 6名出席	○平成24年度の取り組み ○図書購入計画について

名称・任期	委員数	月 日	審 議 事 項 等
中頓別町文化財保護委員会 23. 04. 01～25. 03. 31 ※定数5名以内	5名	24. 07. 18 5名出席	○報告 ・平成23年度文化財保護委員会活動経過報告 ・中頓別町鍾乳洞塩パーク構想検討委員会報告 ○協議 ・登録有形文化財「旧丹波屋旅館和館・洋館」について ※今後の対応方針について ・北海道指定天然記念物「中頓別鍾乳洞」について ※新洞の登録に係る検討
		25. 02. 27 4名出席	○報告 ・平成24年度文化財保護委員会活動経過 ・中頓別鍾乳洞ジオパーク構想推進協議会報告 ※新洞の整備及び活用方法について ○協議 ・登録有形文化財「旧丹波屋旅館和館・洋館」について ※保存に係る支援の考え方について ・平成25年度活動計画
中頓別町育英会 23. 05. 13～25総会まで ※会長1・副会長1 理事若干名・監事 2名	11名	24. 05. 18 9名出席	○役員会及び総会 ・平成23年度育英会 貸付業務等の報告 ・平成23年度収支決算・監査報告 ・平成24年度の貸付者の選考審査・予算の決定
中頓別町学校給食運営委員会 24. 08. 31～26. 3. 31 ※定数8名以内	7名	なし	なし
中頓別町教育委員会 外部評価委員会 23. 08. 02～25. 08. 31 ※定数5名以内	5名	24. 07. 09 5名出席	○主要な施策に基づく点検評価・意見の取りまとめ ・中頓別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書関係

□中頓別町教育基本方針(めざす姿)検討委員会

◇構成員名簿

職場・団体等		主たる構成員	備考
教育関係	中頓別小学校	校長 内村 昌弘	※構成員は複数での出席を可とし、出席できない場合は代理の方が出席
	中頓別中学校	校長 榎 展宏	
	中頓別町こども館	園長 遠藤 美代子	
関係団体	町体育連盟	会長 三浦 陽一	
	町文化協会	副会長 荒木 謙蔵	
	スポーツ推進委員会	委員長 丸山 博光	
	スキー協会	会長 奥村 新一	
事務局	教育委員会事務局	教育グループ	
		教育次長 青木 彰	
		主査 千葉 靖宏	
		主査 永田 剛	
		主査 相馬 正志	
関係者	(有)中頓別振興公社	代表取締役 奥村 文男	

◇検討経過

月 日	検 討 事 項 等
24. 07. 03	1. 検討委員会設置要綱の確認と会長・副会長の互選 ○会長 三浦 陽一 (町体育連盟) ○副会長 荒木 謙蔵 (町文化協会) 2. 教育施設の現状と課題・問題点の把握 ※共通認識を持つ 3. 教育関連施設の緊急整備内容について
24. 08. 08	1. 教育関連施設の維持管理経費の確認 2. 教委k関連施設のめざす姿の検討 ○学校教育関連施設の現状とめざす姿 案 ○社会教育関連施設の現状とめざす姿 案 3. 教育関連施設の利用料金改定について ○寿スキー場のリフト料金の改定内容の検討 ○その他社会教育関連施設使用料金の改定の必要性の検討 4. 教育関連施設の緊急整備内容について ※次回詳細の検討をすることに
24. 08. 28	1. 中頓別町教育基本方針(めざす姿)に係る提言書 案について 2. 中頓別町教育基本方針(めざす姿)の実行に向けた意見交換
24. 08. 29	◇中頓別町教育基本方針(めざす姿)に係る提言書の提出 ※中頓別町教育委員会の席上、石井教育委員長へ三浦会長から提出

主な付属機関等の委員名簿

平成25年 3月 1日現在

	社会教育委員 ～25.3.31	スポーツ推進委員	就学指導委員会 ～25.3.31	特別支援連携協議会 ～26.3.31	中学評議員 ～25.3.31	小学評議員 ～25.3.31	文化財保護委員 ～25.3.31	学校給食運営委員 ～26.8.31	外部評価委員会 ～25.8.31
委員長 (会長)	水澤 清二	丸山 博光	榎 展宏	榎 展宏			大場 豊		
副委員長 (副会長)	川尻 洋	桜田 教昭	荒木 謙蔵	内村 昌弘			真鍋 勝司		
委員	石井 佳美	福島 靖弘 (副委員長)	伊藤 斉 (町国保病院)	小林 清一 (事務局長)	安積 明	丸山 博光	三浦 陽一	細谷 陽一	米津 英男
	福島 靖弘	伊藤 明美	高橋恵美子	小島 康秀	ポーセン仁美	細谷 陽一	川尻 洋	塚田 英志	佐藤 一彌
	米津 和美	小原 利春	内村 昌弘	大場 弘	平中 敏志	高橋恵美子	姉齒 和男	石川 章人	高橋恵美子
	角川 拓雄	丸田 史代	小林 清一 (中学校)	荒木 謙蔵	古谷 裕一	菅原 公司		西村 智広	高山 哲也
	門野レイ子	中嶋 稔幸	小島 康秀 (小学校)	千葉 辰雄	桑原 政美	中原 章子		榎 展宏	田辺 毅
	内村 昌弘 (小学校)	星川 慎吾	遠藤美代子 (こども館館長)	七海 敏勝				内村 昌弘	
	榎 展宏	石黒 良子	小林 生吉 (保健福祉課)	遠藤美代子 山田美緒子					
		渡辺 靖晃 (小学校)	山田美緒子 (保健福祉課)	米屋 彰一 青木 彰					
		長谷川智美 (小学校)		千葉 靖宏 相馬 正志					

5. 教育関係者の表彰等

平成24年度の主な教育関係者の表彰等は次のとおりです。

○ 中頓別町文化スポーツ表彰

☆表彰式：平成24年11月3日(土) 町民文化祭 ※町民センター

表 彰	個人・団体名	表 彰 理 由 の 概 要
文化奨励賞 (特別表彰)	小林奈々子	昭和49年日本詩吟学院岳風会中頓別支部から38年間活動され、昭和53年準師範、昭和60年師範、平成12年10段位、平成16年総伝の資格を取得しました。役員としては、昭和52年会計理事、昭和62年総轄理事、平成12年支部理事長を歴任、平成14年から支部事務局長、平成4年から日本詩吟学院宗谷支部審査員に就任し、ご活躍されています。詩吟の活動を通して、本町文化の活性化や発展に貢献されました。
文化優秀賞	中頓別中学校 森川雅也	J A 共済全道小・中学校交通安全ポスターコンクール最高賞の金賞受賞。札幌市地下遊歩道に拡大展示されました。
文化優良賞	中頓別中学校文化部 阿保深雪 日詰彩夏 松井加奈	第35回北海道アンサンブルコンクール稚内地区大会サクソフォン三重奏において金賞を受賞されました。
スポーツ奨励賞 (特別表彰)	佐々木至郎 (故人)	十数年にわたりゲートボール協会事務局として協会の活動等に寄与され、宗谷陸地町村ゲートボール競技の普及と発展に貢献されました。
スポーツ優秀賞	中原章子	第4回全日本都道府県対抗女子剣道大会北海道代表選考会45歳以上大将の部で優勝され、北海道代表として全国大会に出場されました。
スポーツ優良賞	中頓別中学校 森川亮太	宗谷地区卓球大会地区大会において、13位の成績でベスト16の開催管内枠として全道大会に出場されました。
	中頓別中学校 山田 海	宗谷地区卓球大会地区大会において、6位の成績でベスト8に入り、全道大会に出場されました。
	中頓別中学校 菅原佳紀	宗谷地区卓球大会地区大会において、11位の成績でベスト16の開催管内枠として全道大会に出場されました。
	中頓別中学校 小林優愛	宗谷地区春季陸上大会走り高跳びで優勝され、管内代表として全道大会に出場されました。

6. 平成24年度教育目標並びに施策の体系及び予算の状況

(1) 北海道の教育の理念・宗谷教育のめざす姿・中頓別町の教育

※別紙のとおり

(2) 第7期 中頓別町総合計画（抜粋）

※別紙「第4章 子育て支援、教育の充実」を参照

(3) 施策の体系及び予算状況

※別紙「平成24年度施策の体系及び予算の状況」を参照

北海道教育の基本理念

- 自立** 自然豊かな北の大地で、自立の精神にあふれ、
夢や希望の実現に挑戦し、これからの社会を担う人を育む
- 共生** 心豊かに、ともに支え合い、ふるさとに誇りを持つ人を育む

基本理念の実現に向けて

- 社会で生きる実践的な力を育成します
- 豊かな心と健やかな体を育成します
- 信頼される学校づくりを推進します
- 地域全体で子どもたちを守り育てる体制作りを推進します
- 北海道らしい生涯学習社会の実現をめざします

— 北海道教育委員会 —

宗谷教育のめざす姿

- 「**築きます**」 いつでも どこでも だれでも学べる社会を
- 「**育てます**」 みんなで 正しく 強く 温かい心を
- 「**育みます**」 しなやかに 主体的に 生きる人を
- 「**創ります**」 いきいきと 創意に満ちた ふるさとを

中頓別町の教育

○教育目標〔昭和26年制定〕

- 1 寒冷に適応する健康の増進
- 2 積極的な勤労意欲の育成
- 3 科学的な生産技術の形成
- 4 合理的な生活様式の創造
- 5 明朗で民主的な郷土の建設

○学校教育推進の重点

- 重点1 創意ある教育活動をめざし、研修の充実と意欲的参加を図る学校経営
- 重点2 基礎的・基本的内容を身につけさせ学ぶ意欲を育てる教科指導
- 重点3 豊かな道徳性を養い、望ましい習慣形成を図る道徳教育
- 重点4 自主性・社会性を培い、実践的態度を育てる特別活動
- 重点5 心の触れ合いを大切にし、意欲的に自己を高める生徒指導
- 重点6 運動の生活化をめざし、自らをたくましく鍛える健康・安全指導

第7期 中頓別町総合計画

□計画期間：平成24年4月1日～平成34年3月31日

※抜粋

第4章 子育て支援、教育の充実

1 健やかでこころ豊かな子どもを育てる環境づくり

<政策目標>

健やかでこころ豊かな子どもを育てる環境をつくります

<現状と課題>

子育て支援では、妊婦および乳幼児においてはそれぞれ必要な時期に健診等を受けることが出来ています。また相談や各種事業を通して、きめ細かな支援を行ってきており、子どもの健やかな成長につながっています。まちの将来を担う子ども達の健康と発達を保障するため、各種事業を継続、生活習慣形成の時期に支援することで生涯を通じた健康づくりにつなげていかなければなりません。

幼児教育では、就学前の教育・保育を一体として捉え、一貫して提供する「認定こども園」を本町における子育て支援の核施設として位置づけています。幼児教育から小学校教育の円滑な接続に向けてその役割はさらに重要となっており、今後も教育委員会を中心として、小学校はじめ関係機関との連携した事業の取り組みが求められています。また、保育（養護）の観点からも今まで同様、保健福祉事業との連携強化を図っていく必要があります。

こども館では、保護者一人ひとりの気持ちを受け止め、適切なアドバイスをしたり、保護者が最も良い選択ができるよう、いくつかの解決方法を提示するなど、サポートすることが大切です。保護者とより良い協力関係を築きながら、子どもの育ちや子育てを支えていけるよう、さらに職員の資質向上を図らなければなりません。保護者一人ひとりの意向を受け止めていく中でも、「子どもの一人ひとりの特性と、子育て家庭の背景をしっかりと捉えた上で、子どもの発達段階にあった幼児教育と保育」を最優先に考え、安心して快適に過ごせるような環境づくりを今後も進める必要があります。

このほか、子どもや子育て支援の取り組みとしてブックスタート、いきいきふるさと推進事業による絵本のプレゼント、そうや自然学校の活動で子どもの自然体験活動に取り組んできています。異世代のつながりも創りながら、そうや自然学校事業との連携を図りながら自然を大切に作る心、豊かな感性を育てていくための活動の充実をさらに図っていく必要があります。

学校教育では、国をあげて学力の向上、体力の向上に対する取り組みが強化されてきていますが、それらも含め本町ならではの「子どもの将来を生き抜く力」を育む取り組みが益々重要となってきました。今後においては、「学校・家庭・地域の連携による教育支援活動」としての活動を明確にし、学びを支える地域住民の関わりを充実させるなど、地域全体の教育力向上をめざしていく必要があります。

また、中頓別中学校は築後44年が経過し、途中大規模改修は行っているものの、老朽化は著しく、安心安全な教育環境対策が大きな課題となっています。幼・小・中の教育の一元化とあわせできるだけ早い時期にその方向性を見出す必要があります。

<基本方針>

小さな町の良さを活かし地域ぐるみで子どもを大切にする思いを共有し、子育て支援と

幼児教育、学校教育の充実を図り、健やかでこころ豊かな子どもを育てる環境をつくっていきます。

(1) 子育て支援と幼児教育の充実

小さな町の良さを活かして地域全体で子育てに取り組む町をめざし、こども館を核に、保護者とより良い関係のもと幼児の保育と教育の充実を図ります。

子どもたちがお年寄りから昔の知恵や経験を学んだり、豊かな自然にふれあうなど体験活動ができるようにしていきます。

こども館と保健福祉課が連携し、遊びの提供や各種講演や相談事業の推進、健康診断や各種予防接種を行い、児童の健全育成を図ります。

<取組事業>

- ・いきいきふるさと推進事業
- ・乳幼児医療給付事業
- ・子ども手当支給事業
- ・ひとり親家庭等医療給付事業
- ・母子健診事業
- ・認定こども園事業
- ・地域子育て支援事業（※そうや自然学校との連携事業）
- ・放課後児童健全育成事業
- ・学校・家庭・地域の連携による教育支援活動事業
- ・「未来を担うこどもの健全育成と教育基金」活用事業

(2) 学校教育の充実

地域全体で学校の取り組みを支援し、子どもたちの豊かな心を育むとともに、体力、学力の向上に取り組めます。

恵まれた自然と地域の伝統などを教材に、そうや自然学校との連携を図るとともに地域の方々のご支援をいただきながら環境学習や郷土学習、多様な体験活動学習などができるよう支援します。

<取組事業>

- ・小学校教育振興事業
- ・中学校教育振興事業
- ・学校給食事業
- ・へき地教員住宅建設事業

2 生きがいとまちづくりを支える社会教育の推進

<政策目標>

生きがいとまちづくりを支える社会教育を推進します

<現状と課題>

第6期総合計画に合わせて「まちづくり生涯学習推進計画」を策定し、あらゆる生涯学習の実践をとおしてまちづくりを推進していくことを位置づけています。

社会教育では、個人の要望に応じた学習支援だけのものにとどまらず、社会の要請に基づく学習支援の形成をめざし、地域住民として対処することが必要な課題についての学習、または地域の課題を解決する活動等に地域住民の参加を促しながら効果的に推進することが望まれています。このため、学校、家庭、地域が連携しながらさまざまな学習、体験活動の機会を充実させるなどの「学び」を支援する体制をつくり、その「学びの支援」から生まれる生きがいの気持ちをさらに充実させるよう努める必要があります。

社会体育では、各年代にあったスポーツ振興を考えたとき、その目的や必要性、支援の内容は一様ではないため、その取り組み内容をあらためて明確にしていく必要があります。また、高齢者における健康づくり・体力維持を支援する取り組みは保健福祉事業等、関係機関との連携を図りながら取り組みを行っていく必要があります。

社会体育施設においては、老朽化等により設備の更新の必要な施設も多くなってきており、その整備方針づくりが急務であります。また、各施設の有効活用、利用促進を考えたとき、スキー場やパークゴルフ場での町民、町外料金の一本化や各種大会の広域的な開催の促進をめざす必要があります。

地域文化の振興と文化財の保護では、小学校の総合学習を含めて地域の歴史や生活文化などを見直し、そこから学びながら地域の魅力を磨いていく取り組みが生まれてきています。すぐれた芸術や文化を鑑賞する機会や、文化祭への参加を含めて幅広く文化的な活動に参加できる機会を確保していくことも必要です。地域の貴重な文化財である鍾乳洞の保存を図りながら、多くの人が学んだり体験できるよう取り組んでいかなければなりません。

地域間交流では、姉妹町である広島県東野町が合併し大崎上島町となっています。合併後、青少年交流がなくなりましたが町民派遣と受け入れ事業は隔年で継続されています。今後も交流の火を消さないように、長く続けられる交流のあり方を考えながら、事業の継続を図っていく必要があります。

<基本方針>

子どもからお年寄りまでの生きがいづくりと町民主体のまちづくりを支えていくため、社会教育、社会体育の充実を図るとともに、地域文化の振興と文化財の保護、地域間交流と国際交流を推進します。

(1) 社会教育の充実

一生における幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期などの段階で、自ら積極的に取り組む意欲を啓発し、その学習機会の提供に努めます。

児童書や一般向け図書を購入し、蔵書の充実を図ります。

さまざまな体験を経て豊かな心と体を育む少年期、社会参加の機会も増えて自立を迎える青年期とどの時代においても重要な課題があります。成長過程において異なる体験によりこれからの社会生活に順応できるよう、交流活動の実施や学習機会を提供していきます。

<取組事業>

・高齢者教室「寿大学」運営事業

- ・ こども読書プラン事業
- ・ 子ども体験活動事業（※そうや自然学校との連携事業）

(2) 社会体育の充実

町民のスポーツ活性化に向けて、各種スポーツ教室・大会開催し、健全な心と体を培うとともに、スポーツ団体の育成を図ります。

<取組事業>

- ・ 社会体育推進事業
- ・ 町民各種スポーツ大会等運営事業
- ・ 冬季スポーツ教室等運営事業

(3) 地域文化の振興と文化財の保護

児童生徒及び町民に優れた芸術鑑賞機会を提供するとともに、文化団体・サークルの育成と発表機会の拡充を図ります。

<取組事業>

- ・ 町民文化推進事業
- ・ 巡回小劇場公演運営事業
- ・ 文化財保護利活用事業

(4) 地域間交流と国際交流

生活文化の異なる大崎上島町との親善、交流を深め、相互の活性化を高めるため交流を継続します。また、青少年の派遣交流事業など、国際化社会に対応した交流事業について取り組むことで検討していきます。

<取組事業>

- ・ 大崎上島町交流実行委員会助成事業
- ・ 青少年国際交流事業

平成24年度 施策の体系及び予算の状況

(単位:千円)

基本計画	予算科目(目)	施策項目(事務事業名)	H23年度 決算	H24年度 決算予定額	比較	事業概要				
第1項 子育て支援と幼児教育の充実	第1節 健やかでこころ豊かな子どもを育てる環境づくり	第4章 子育て支援、教育の充実	認定こども園費	13,374	13,422	48	子ども達一人ひとりの発達過程を踏まえ、小学校就学前の教育・保育を一体的に行う事業			
			地域子育て支援費	295	378	83	町内すべての子育て家庭に対する育児支援事業			
			放課後児童健全育成費	927	1,184	257	小学生を対象に子ども達の放課後の安全を守り、児童の健全育成を図る事業			
			社会教育総務費	少年教育推進事業	84	84	0	運営補助		
				生徒指導連絡協議会運営補助事業	150	150	0	運営補助		
			教育委員会費	事務局費	学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業	1,765	1,839	74	地域住民等による「学校支援地域本部」「放課後子ども教室」「家庭教育支援」の取り組みを有機的に組み合わせ、より充実した教育支援活動を支援する	
					各種少年教育事業	190	197	7	北緯45度ふれあい広場運営補助、カルタ教室・カルタ大会、こどもオセロ大会	
			第2項 学校教育の充実			教育委員会費	799	780	▲ 19	委員報酬、教育委員会議の開催、教育委員研修
						事務局費	65,106	64,999	▲ 107	教育委員会事務局職員給与、事務局運営経費
						公用車維持管理事業	1,481	3,881	2,400	公用車、スクーターバスの維持管理
外国青年招致事業	4,366	3,776				▲ 590	子ども達におけるコミュニケーション活動、小・中学校における外国語活動や英語指導助手、地域住民を対象とした英会話教室			
教育研究指定校委託事業	100	100				0	各学校における教育効果を高めるための調査研究、研究記要の作成			
学校等施設整備事業	923	741				▲ 182	学校施設の安全管理委託(消防設備点検業務、電気保安管理業務、危険物選任業務など)			
教職員健康診断事業(人間ドック)	24	12				▲ 12	公立学校共済組合が実施する教職員健診(人間ドック(54歳以下))への設置者負担			
学校体育連盟運営事業	273	273				0	運営補助 南谷谷中体連、赤谷地区中体連への参加			
中頓別町教育研究会運営事業	262	262				0	運営補助 教職員による研究協議、研究大会、講座・実技研修			
道内教育委員会協議会補助事業	20	20				0	赤谷管内教育委員会協議会負担金			
北海道学校保健研究大会運営補助事業	赤谷管内PTA研究大会(中頓別会場開催)補助金	中頓別町特別支援教育連携協議会運営事業	60	40	▲ 20	運営補助 協議会の開催、学習会、視察研修、講演会、関係機関相互の情報交流				
		北海道学校保健研究大会運営補助事業	20	0	▲ 20	※平成23年度の単年度事業				
		赤谷管内PTA研究大会(中頓別会場開催)補助金	80	0	▲ 80					

平成24年度 施策の体系及び予算の状況

(単位:千円)

基本計画	予算科目(目)	施策項目(事務事業名)	H23年度	H24年度	比較	事業概要
			決算	決算		
第4章 子育て支援、教育の充実	第2項 学校教育の充実	住宅管理費	526	669	143	教職員住宅維持管理
		へき地教職員住宅建設事業	0	24,287	24,287	教職員住宅建設事業(2件) ※平成23年度繰越事業
	学校管理費	小学校施設維持管理事業	12,877	11,434	▲ 1,443	小学校の施設維持管理経費
		中学校施設維持管理事業	8,337	8,934	597	中学校の施設維持管理経費
	教育振興費	中願別中学校体育館地震補強工事業	43,500	0	▲ 43,500	中願別中学校体育館地震補強工事 ※平成22年度繰越事業
		小学校教育振興事業	3,137	2,740	▲ 397	小学校児童に係る教材や図書を整備
	中学校教育振興事業	中学校教育振興事業	1,785	2,448	663	中学校生徒に係る教材や図書の整備
		児童生徒健康診断委託事業	613	551	▲ 62	内科検診、心臓検診(小1、小4、中1)、歯科検診、尿・ギョウチン・ウエウエ卵検診
	へき地児童生徒巡回検診事業	へき地児童生徒巡回検診事業	198	207	9	脊柱側弯症検診、耳鼻咽喉科検診
		教職員巡回健康診断委託事業	415	458	43	小・中学校における教職員関係職員の健康診断(公立学校共済組合が実施する教職員健診(人間ドック)受診者除く。)
	児童健康診断委託事業	児童健康診断委託事業	54	54	0	内科検診、歯科検診
		就学奨励事業	1,047	878	▲ 169	経済的理由により就学困難な児童生徒や特別支援学校に在籍する児童生徒に対する学用品や給食費などの扶助
	学校給食費	学校給食事業	9,824	10,136	312	給食の献立・調理・配送・収集、食品衛生、施設の維持管理・環境衛生

平成24年度 施策の体系及び予算の状況

(単位:千円)

基本計画	予算科目(目)	施策項目(事務事業名)		H23年度 決算	H24年度 決算予定額	比較	事業概要
		青年教育推進事業	成人式運営事業				
第1項 社会教育の充実	社会教育総務費	青年教育推進事業	成人式運営事業	33	23	▲ 10	成人式の開催
		高齢者教室推進事業	高齢者教室「寿大学」等運営事業	88	61	▲ 27	入学式及び卒業式、研修、ミニサークル活動～大正琴、パソコンといったミニサークルの開催
		社会教育推進事業	社会教育委員会運営事業	83	196	113	社会教育委員会、管内社会教育委員連絡協議会運営補助、八木祐四郎記念碑寄附金
			各種研修派遣事業	66	28	▲ 38	各種研修等旅費
			車両維持管理事業	110	71	▲ 39	社会教育事業に係る車両維持管理費
			管内生涯教育推進協議会運営負担事業	30	30	0	運営補助
		町民センター費	町民センター運営維持管理事業	8,072	7,970	▲ 102	維持管理経費
		社会教育施設費	郷土資料館及び青少年柔剣道場運営事業	3,384	3,519	135	維持管理経費
		社会教育施設費	読書活動推進事業	126	6	▲ 120	読書プラン推進事業、ブックスタート、絵本の読み聞かせ
		多目的集会所施設費	多目的集会所施設維持管理事業	697	686	▲ 11	維持管理経費
第2項 社会体育の充実	創作活動施設運営管理費	創作活動施設運営管理事業		388	402	14	維持管理経費
		社会体育推進事業	社会体育推進事業	281	464	183	スポーツ振興消耗品、スポーツ巡回車維持管理、レクリエーション保険加入
			スポーツ推進委員会運営事業	110	147	37	社会体育全般に関し、内容を検証し、スポーツの振興、指導及び助言を行う。管内スポーツ推進委員会運営負担金
			町民各種スポーツ大会等運営事業	162	157	▲ 5	町民駅伝大会、夏休みラジオ体操、ソフトボール大会、パークゴルフ大会等
			冬季スポーツ教室等運営事業	256	213	▲ 43	一般スキー教室、少年少女スキー教室、歩くスキー教室、町民スキー大会等
			スポーツ少年団本部運営補助事業	224	224	0	運営補助事業 卓球・野球・柔道・剣道
			各種スポーツ団体支援事業	31	5	▲ 26	各団体、サークル等が主催する大会において、教育委員会が後援し、スポーツ振興に寄与する。(町民ミニバレー大会、グートボール大会)
		社会体育施設運営事業		663	697	34	町民体育館の維持管理経費
		山村プール費	山村プール運営事業	5,198	1,292	▲ 3,906	山村水泳プールの維持管理経費
		寿野外レクリエーション施設費	寿野外レクリエーション施設事業	17,288	19,748	2,460	社会教育施設等(寿スキー場、野外レクリエーション施設、寿公園)の指背管理経費
第3項 文化財の振興	社会教育総務費	芸術文化推進事業	町民文化推進事業	547	544	▲ 3	芸術文化公演、文化スポーツ表彰
			巡回小劇場公演運営事業(児童生徒芸術鑑賞事業)	370	284	▲ 86	児童生徒対象に舞台芸術鑑賞の提供(音楽、人形劇、伝統・古典芸能、ミュージカル等)
		文化財保護事業	文化財保護委員会運営事業	24	21	▲ 3	文化財的資源の保全と活用の検討
		合計		210,843	191,722	▲ 19,121	

7. 施策項目(事務事業)ごとの取り組み 概要・成果や課題・今後の方向性

(1) 健やかでこころ豊かな子どもを育てる環境づくり

- ① 子育て支援と幼児教育の充実
- ② 学校教育の充実
 - ◇中頓別小学校の教育
 - 平成24年度中頓別小学校の校訓・教育目標・学校経営
 - 学校経営 取り組み概要・成果や課題・今後の方向性
 - ◇中頓別中学校の教育
 - 平成24年度中頓別中学校の校訓・教育目標
 - 学校経営 取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

(2) 生きがいとまちづくりを支える社会教育の推進

- ① 社会教育の充実
- ② 社会体育の充実
- ③ 地域文化の振興と文化財の保護

(3) 別紙資料

- 別紙1 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業実績
- 別紙2 平成24年認定こども園と中頓別小学校との連携方針実施状況の総括

7. 施策項目(事務事業)ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

(1) 健やかでこころ豊かな子どもを育てる環境づくり

①子育て支援と幼児教育の充実

施策項目	取り組み概要	平成23年度	平成24年度																								
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性																								
認定こども園事業	<p>急速な少子化の進行や家庭・地域を取り巻く環境の変化に伴い、小学校就学前の子どもに幼児教育・保育等総合的に提供する。</p> <p>【入所人員】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・0歳児</td> <td>3名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>・1・2歳児</td> <td>10名</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>・3歳児</td> <td>8名</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>・4歳児</td> <td>12名</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>・5歳児</td> <td>12名</td> <td>11名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>45名</td> <td>40名</td> </tr> <tr> <td>うち短時間利用児</td> <td>4名</td> <td>0名</td> </tr> </tbody> </table>		H23	H24	・0歳児	3名	3名	・1・2歳児	10名	8名	・3歳児	8名	10名	・4歳児	12名	8名	・5歳児	12名	11名	合計	45名	40名	うち短時間利用児	4名	0名	<p>○子どもの健やかな成長にとって大切な集団生活や異年齢交流の機会が確保できるメリットがある。また、小学校との連携を行うことにより、発達の連続性を保障することができた。</p> <p>●子どもの学びや発達の連続性を保障していくことが重要となり、さらに質の高い教育と保育が求められる。</p> <p>◇今後、さらに職員一人一人の人間性や専門性を高め、園全体の質の向上に努める。</p> <p>また、発達と学びの連続性を踏まえた幼児期の教育・保育と小学校教育の円滑な接続から、積極的な連携を図る</p>	<p>○主体的な活動や遊びを保障し、子どもの発達や学びの連続性を確保する観点から、小学校への円滑な接続に向け、創意工夫のある教育及び保育を展開することができた。</p> <p>●子どもの生活の連続性、遊びや学びの連続性と関連性を大切にしながら、子どもの育ちを保障し、さらに特性を生かした教育と保育が求められる。</p> <p>◇今後も専門性を高め、子どもの発達や学びの連続性を確保する観点から、小学校への円滑な接続に向けた教育及び保育の内容の工夫を図り、家庭・地域・学校との積極的な連携をすすめる。</p>
	H23	H24																									
・0歳児	3名	3名																									
・1・2歳児	10名	8名																									
・3歳児	8名	10名																									
・4歳児	12名	8名																									
・5歳児	12名	11名																									
合計	45名	40名																									
うち短時間利用児	4名	0名																									

施策項目	取り組み概要	平成23年度	平成24年度																					
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性																					
地域子育て支援事業	<p>すべての子育て家庭を対象に、子育ての不安に対応した相談や親子の集いの場の提供など実施。</p> <p>【取り組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あそびの広場 ・育児相談 ・文庫開放 ・子育て講演／講座 ・情報の提供 	<p>○核家族や少子化の影響で、育児不安の大きい保護者やその家庭支援の充実につなげることが出来た。</p> <p>●さらに親子・家族関係の支援など、幅広い子育て支援機能が求められている。</p> <p>◇園事態の支援能力を高め、地域の子育て力の向上を図る。こどもの最善の利益を重視することも考えた中、親中心の支援から、親子ともに支援していく展開が必要である。</p>	<p>○親同士の出会いと交流の場であり、子ども達が自由に遊び関わりあう場につながっています。</p> <p>●子育てのはじめの一步を踏み出した親子が、地域社会から温かく見守られながら、子育てしていると実感できるよう子育て環境を整えていく。</p> <p>◇今後も、利用者同士がお互い支えあい、育みあえる関係づくりに取り組むことが重要であり、他の専門職との連携やネットワークづくり、ボランティアとの交流など、積極的に地域交流の可能性の拡大をすすめます。</p>																					
放課後児童健全育成事業	<p>保護者の就労形態により、昼間家庭にいない子どもを対象として、保護者の代わりに家庭的機能の補完をしながら「遊び」及び「生活」を通してその子どもの健全育成を図る。</p> <p>【入所人員】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・1年生</td> <td>9名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>・2年生</td> <td>5名</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>・3年生</td> <td>3名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>・4年生</td> <td>2名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>・5年生</td> <td>1名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20名</td> <td>16名</td> </tr> </tbody> </table>		H23	H24	・1年生	9名	2名	・2年生	5名	9名	・3年生	3名	3名	・4年生	2名	2名	・5年生	1名	0名	合計	20名	16名	<p>○こどもの情緒や気分に配慮し、一人一人が安心して楽しく過ごせるようになるよう工夫できた。</p> <p>●こどもの生活状況を把握しながら、情緒の安定や子ども同士の関係にも配慮することが求められる。</p> <p>◇保護者との連携や児童クラブの運営を円滑に進めるため、学校や地域との連携・情報の共有が必要である。</p>	<p>○子ども達一人ひとりの情緒の安定に配慮し、安心して過ごせるよう工夫ができた。</p> <p>●子ども同士の関係にも十分配慮し、さらに子ども達一人ひとりが安心して楽しく過ごせる環境づくりに取り組む。</p> <p>◇今後も、家庭・地域と連携を図った活動の充実や学校等との情報を共有しながら、きめ細かな子どもとの関わりをすすめる。</p>
	H23	H24																						
・1年生	9名	2名																						
・2年生	5名	9名																						
・3年生	3名	3名																						
・4年生	2名	2名																						
・5年生	1名	0名																						
合計	20名	16名																						

施策項目	取り組み概要	平成23年度	平成24年度
あいさつ子育て推進協議会運営補助事業	<p>子どもの健全育成を願い、学校・父母・地域住民が協同して活動をする。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て看板の設置 ・商工会街頭放送 ・祭典パレードでの参加協力 ・三行詩の取組み（町P連と連携） ・教育講演会への支援協力 <p>【補助金】</p> <p><平成23年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金 84,000円 <p><平成24年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金 84,000円 	<p>○成果●課題◇今後の方向性</p> <p>○活動の継続により、あいさつ運動が定着化してきている。</p> <p>●こども館、小学校の新入生に対し、子育て提言の配布ができなかった。</p> <p>◇町ぐるみで子どもたちの健やかな成長育むため継続した取り組みを進める。</p>	<p>○成果●課題◇今後の方向性</p> <p>○関係機関との連携によりさまざまな取り組みが継続されている。特に三行詩では豊かな創造力の育みとなる機会となっている。</p> <p>●子どもたちと地域の関わる機会が少ない。</p> <p>◇時代に合わせた取り組みの検討と、組織の整理統合を進める。</p>
生徒指導連絡協議会運営補助事業	<p>幼児・児童生徒の健全育成、安全指導を関係機関との連携調整を持って、総合的に行う。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会定例会の開催 ・長期休業中の過ごし方の作成と配布 ・祭典巡視 ・教育講演会への支援協力 <p>【補助金】</p> <p><平成23年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金 150,000円 <p><平成24年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金 150,000円 	<p>○「夏・冬・春休みの過ごし方」の配付や、神社祭典の巡視等行い、幼児・児童・生徒の健全育成につなげることができた。</p> <p>●あいさつ子育て推進協議会との関連も強く、統合等の意見も出ている。</p> <p>◇不審者対策も含めた今後の取り組みを継続していく。 あいさつ子育て推進協議会等との統合等についても具体的に検討を深める。</p>	<p>○各種啓発活動の実施により地域の共通認識がとれ、幼児・児童・生徒の健全育成が図られている。</p> <p>●組織の整理統合に向けて平成24年度から検討を進めている。</p> <p>◇新しい組織体制に移行できるよう取り組みを構築する。</p>

施策項目	取り組み概要	平成23年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性
学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業	<p>地域住民等の参画による「学校支援地域本部」「放課後子ども教室」「家庭教育支援」の取り組みを有機的に組み合わせ、より充実した教育支援活動を推進する。</p> <p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校支援地域本部事業 <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習への支援 ○放課後子どもプラン事業 <ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室の実施 ○家庭教育支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講演会の開催 <p>別紙「事業実績」を参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ○通学合宿 9月23～27日 11月8～10日 	<p>○生活職人として地域住民の方々が積極的に学校の授業等を支援し、関わりを持つことにより、地域ぐるみで子どもを育てる環境が広がりを見せている。</p> <p>●家庭における子育てが重要であるが、取り組みの難しさもあり、不十分である。</p> <p>◇健やかな子どもを育てるために、できることから家庭・地域・学校が手を取りあって取り組みを進めていきたいと思いますという「子育て提言」を具現化するため、今後もさらに工夫をして取り組むこととする。</p>	<p>○地域住民の方々が、学校の授業等を支援し、積極的に関わりを持つことによって、学校と地域の垣根をこえて、地域ぐるみで子どもを育てる環境に繋がっている。</p> <p>●家庭における子育ての実態を踏まえ、子育ての不安や悩みを考える取り組みや事業が必要である。</p> <p>◇新制度に移行してから3年目となるため、より効果的な内容の実施に向けて学校、家庭、地域の連携を深め、協力できる体制を整えていく。</p>
各種少年教育事業	<p>教育活動の一環として、小中学生に広く親子、地域住民とのふれあいの機会を提供し、地域全体で子どもの健全育成を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p><平成23年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ○北緯45度ふれあい広場 9月11日ものづくり 中小(50名) 11月3日ものづくり 中中(71名) ○カルタ教室・大会 1月12～14日 日大会 (15チーム45名) ○こどもオセロ大会 12月10日(14名) <p><平成24年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ○北緯45度ふれあい広場 11月8日ものづくり 中小(99名) ○カルタ教室・大会 1月9～11日、12日大会 (小中17チーム70名、一般2チーム6名 計76名) ○こどもオセロ大会 異世代(寿大学など)交流 12月15日(27名) 	<p>○各種教室や大会等を通し、青少年の健全育成に繋がっている。</p> <p>●地域ボランティアの方々の理解と確保が難しい面がある。</p> <p>◇健やかな子どもを育てるために、できることから家庭・地域・学校が手を取りあって取り組みを進めていきたいと思いますという「子育て提言」を具現化するため、今後もさらに工夫をして取り組むこととする。</p>	<p>○親子でものづくりやカルタ教室・大会を通して地域の高齢者の方々とふれあいを通して、青少年の健全育成に繋がっている。</p> <p>●地域の方々の理解をさらに深めていただき、活動に広がりをもてるように工夫する必要がある。</p> <p>◇事業内容の見直しを行い、新たな取り組みを検討する。</p>
子ども会育成会連絡協議会	<p>補助金が廃止されてから、活動を休止している。</p>	<p>●現状と実態を把握しながら、再構築の必要性を見出す必要がある。</p> <p>◇再構築の必要性も含めて方向性を見出す。</p>	<p>●小学校PTA活動や、町内会子ども会活動、分団活動の実態を確認し、再構築の可能性を見出す必要がある。</p> <p>◇再構築の必要性も含めて方向性を見出す。</p>

②学校教育の充実

施策項目	取り組み概要	平成23年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性												
教育委員会事業	<p>教育委員会会議開催などの事務に関すること。</p> <p>【定例教育委員会会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度 12回 ・平成24年度 12回 <p>【臨時教育委員会会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度 4回 ・平成24年度 4回 	<p>○毎月の定例教育委員会会議のほか、臨時の教育委員会会議を開催し、教育行政に係る当面する課題解決を進めることが出来た。</p> <p>●本町における今日的な教育的課題と対策に向けた議論の時間を取ることが難しい。</p> <p>◇教育委員会として、本町の教育のあり方を見出し、今後においても学校等の現場と一体となった教育推進がさらに図られるように努める。</p>	<p>○毎月1回の教育委員会会議の中で、委員からの活発な意見を頂戴し、事務局との活発な意見交換が行われた。</p> <p>●教育委員会会議の情報公開を行う上で、町民に周知する方法を検討していく必要がある。</p> <p>◇教育現場への応援支援をするためにも、引き続き現場に訪問し、教育推進がさらに図られるように努める</p>												
教育委員会事務局事業	<p>教育委員会規則の定めにより、教育、文化、スポーツ等に関する事務事業を遂行する。</p>	<p>○教育行政を取り巻く様々な機関、団体と連携協力し、教育行政が抱えている当面する課題解決に向けた取り組みを前進させることが出来た。</p> <p>●事務局と学校現場等との関係をさらに密にして子育て環境の更なる充実に努める必要がある。</p> <p>◇学校教育、社会教育領域の境を無くすとともに、学校現場等を含めた一体感を醸成し、本町ならではの教育推進をさらに力強く進める。</p>	<p>○教育関係者や各関係団体との協力のもと、教育行政が抱えている課題問題の解決に向けた提言書である教育基本方針を策定することが出来た。</p> <p>●当面する課題問題に対する方向性を見出すためのも教育基本方針を基本として教育行政を進めていく。</p> <p>◇教育推進の更なる向上のためにも、学校教育、社会教育領域の境を無くし、学校現場等を含めた一体感を醸成していく必要がある。</p>												
公用車両維持管理事業	<p>教育行政に必要な公用車の維持管理及び遠方の児童生徒の通学の足として、スクールバスの安全運行を図る。</p> <p>【車両台数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局用車両 1台 ・スクールバス 3台 <p>【利用者数】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・こども館</td> <td>3名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>・小学校</td> <td>8名</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>・中学校</td> <td>3名</td> <td>3名</td> </tr> </tbody> </table>		H23	H24	・こども館	3名	3名	・小学校	8名	8名	・中学校	3名	3名	<p>○学校の統廃合に伴い遠方からの通学を余儀なくされた児童生徒の送迎と合せ、認定こども園利用児の送迎も対応するなど効率的な運用がされた。</p> <p>●安全安心なスクールバスの運行に向け、運転手の継続的な適任者を確保することが課題である。</p> <p>◇安全安心なスクールバスの運行と、学校行事等に対応した運行を図るため、さらに、車両の整備点検を確実に実施するとともに、適任な運転手の確保に努める。</p>	<p>○児童生徒の送迎と合せ、認定こども園利用児の送迎にも対応し、事故も無く安全に運行が図られた。また、事務局用車両で燃費の良い車両を購入することが出来た。</p> <p>●スクールバスの老朽化により多額な修理費用が懸念されるため、更新の検討も必要である。</p> <p>◇スクールバスが老朽化しているため、児童生徒の安全安心なスクールバスの運行のためにも、車両の整備点検を確実に実施し、整備不良による事故が起きないように努める。</p>
	H23	H24													
・こども館	3名	3名													
・小学校	8名	8名													
・中学校	3名	3名													

施策項目	取り組み概要	平成23年度	平成24年度
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性
外国青年招致事業	<p>外国語教育の充実や外国の文化にふれることによる国際交流の推進を図るため、外国語指導助手を招致する事業である。</p> <p>【外国語活動】</p> <p>○こども館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本読み聞かせ ・コミュニケーション <p>○小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェルカム教室(国際理解) ・コミュニケーション英語 <p>○中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語授業 <p>【英会話教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火曜日 13:30~15:00 ・金曜日 10:30~12:00 	<p>○多くの児童・生徒、及び一部の町民が英語の直接指導を受けたことにより外国語と外国人とのふれあいが生まれ、相互理解を深めることに繋がった。</p> <p>●町民対象の英会話教室への参加者は少なく、固定化されているため、幅広い参加者の呼びかけが必要である。</p> <p>◇ALT 本人の意欲向上が図れるよう、学校教育現場はもちろん、社会教育との連携のもと、サポート体制をさらに充実させていく。</p>	<p>○外国語指導助手と話したり、英語を聞いたりする機会を得て、外国語学習への意欲を高めた。また、外国人とのふれあいが生まれ、相互理解を深めることに繋がった。</p> <p>●町民対象の英会話教室への参加者は少なく、固定化されているため、幅広い参加者の呼びかけが必要である。</p> <p>◇現在のALTが、平成25年7月で任用期間が終了となるため、新たなALTを任用していく必要がある。</p>
教育研究指定校委託事業	<p>各学校における教育効果をより高めるため、特徴ある学校経営の活動について、研究を委託する事業である。</p> <p>【研究報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究紀要 <p>【委託料】</p> <p><平成23年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 50,000円 ・中学校 50,000円 <p><平成24年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 50,000円 ・中学校 50,000円 	<p>○年間の研修計画を立て、学習指導のあり方等を研究することで学校全体での共有化と、指導力向上の一助になった。</p> <p>◇校内研修への積極的な参加が図られ、児童生徒の生きる力を育む教育のあり方を常に考えた取り組みが推進されるよう情報交換に努めるとともに支援をする。</p>	<p>○各学校の教育効果を高めるために学習指導のあり方等を研究することで学校全体での指導力向上に繋がった。</p> <p>◇今後も引き続き、校内研修への積極的な参加と、児童生徒の生きる力を育む教育のあり方を常に考えた取り組みが推進されるよう情報交換に努めるとともに支援をする。</p>
学校等施設整備事業	<p>安全安心な学校づくりため、信頼のおける専門業者による学校の施設管理を委託する。</p> <p>【委託業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社ベルックス 	<p>○各学校との連携を密にした、学校施設の管理運営が図られた。</p> <p>●町内での人材確保に難しい面がある。</p> <p>◇安全安心な学校づくりのため、今後も継続した人材の確保と、地元雇用について要請をしていく。</p>	<p>○各学校との連携を密にし、学校等の施設修繕や管理運営を図ることができた。また、安全安心な学校施設の管理運営が図られた。</p> <p>●前年と同様</p> <p>◇前年と同様</p>

施策項目	取り組み概要	平成23年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向
教職員健康診断事業（人間ドック）	<p>学校における職員の健康の保持増進を図り、病気の早期発見に資するため、職員の健康診断を実施する事業である。</p> <p>【受診者数】</p> <p>＜平成23年度＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・55歳以上ドック受診者 中学校 1名 ・54歳までのドック受診者 小学校 2名 <p>＜平成24年度＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・55歳以上ドック受診者 中学校 2名 ・54歳までのドック受診者 中学校 1名 	<p>○教職員の健康の保持増進に資する事業であり疾病の予防・早期発見に寄与した。</p> <p>●公立学校共済としての枠があるため、ドックを希望しても必ず決定されるとは限らない。</p> <p>◇教職員の健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者に義務付けられているものであり、今後も教職員の健康の保持増進に努める。</p>	<p>○前年と同様</p> <p>●前年と同様</p> <p>◇前年と同様</p>
学校体育連盟運営事業	<p>町内中学校生徒の身体並びにスポーツ技術の向上、管内中学生との交流と親睦を図ることを目的として、中頓別町学校体育連盟に補助金を交付する事業である。</p> <p>【補助金】</p> <p>＜平成23年度＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金 273,000円 <p>＜平成24年度＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金 273,000円 	<p>○大会に参加することで、管内中学生との交流や親睦が図られ、また、スポーツ技術の向上、体力向上に繋がった。</p> <p>●生徒数の減少に伴い、参加できる大会や種目が限られてきている。</p> <p>◇生徒の体力、スポーツ技術の向上に向けた部活動等の活性化が図られるよう支援する。</p>	<p>○管内生徒とのスポーツを通して交流を深め、技能の向上が図られた。また、卓球大会に3名、陸上大会では1名の生徒が全道大会に出場することができた。</p> <p>●前年と同様</p> <p>◇前年と同様</p>
中頓別町教育研究会運営事業	<p>中頓別町学校教育の重点及び町内各学校の学校教育目標・経営計画に則り、各校教育課程の改善、充実を図るため、町教育研究会に補助する事業である。</p> <p>【補助金】</p> <p>＜平成23年度＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金 262,000円 <p>＜平成24年度＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金 262,000円 <p>【平成24年度活動状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育研究会教育講座の開催 ・浜頓別町・中頓別町合同教育研究大会 ・サークル活動の開催 ・小中連携委員会の開催 	<p>○質の高い学校教育を目指して、研究大会やサークル部会、小中連携委員会などの活動を行っており、教職員の資質向上や学校教育の充実に繋がった。特に小中連携の推進では「家庭学習の手引き」を作成し全家庭に配布することが出来た。</p> <p>●今年度始めて浜頓別町教育研究会との合同研究を開催したが、次年度以降さらに充実した内容にしていくことが期待されている。</p> <p>◇今後においても、学校や子ども達の実態と本町の地域特性を踏まえた教育活動の推進に努め、また、小中それぞれの主体性を発揮しつつ、接続・連携を意識した実践の交流や研究を通じて、教職員個々及び学校としての教育力向上が常に図られるよう支援する。</p>	<p>○「地域に根ざし、人間性豊かな児童・生徒を育てる教育を創造する」を研修主題として、学校や子ども達の実態や地域性を踏まえた教育活動の研究により学校教育の充実に繋がった。</p> <p>●昨年度に引続き浜頓別町教育研究会との合同研究を開催し、今後もさらに充実した内容にしていくことが期待されている。</p> <p>◇今後においても、学校や子ども達の実態と本町の地域特性を踏まえた教育活動の推進に努め、また、小中それぞれの主体性を発揮しつつ、接続・連携を意識した実践の交流や研究を通じて、教職員個々及び学校としての教育力向上が常に図られるよう支援する。</p>

施策項目	取り組み概要	平成23年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向
道内教育委員会協議会補助事業	<p>北海道教育委員会連絡協議会及び宗谷管内教育委員会連絡協議会があり、負担金は管内教連に執行している。</p> <p>目的は、各市町村教育委員会相互の連絡連携を図り教育振興と充実を図る。</p> <p>【補助金】</p> <p><平成23年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金 30,000円 <p><平成24年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金 30,000円 	<p>○北海道教育委員研修や宗谷管内教育委員研修会に参加することで、教育委員としての資質向上に繋がった。</p> <p>●協議会総会の出席については、教育委員の多忙さから調整が難しい面が多い。</p> <p>◇管内教育委員会等との情報交換は、本町の教育行政の推進に向け大変有用と考え、できるだけ出席できるように努めていく。</p>	<p>○北海道教育委員研修や宗谷管内教育委員研修会に参加することで、教育委員としての資質向上に繋がった。</p> <p>●協議会総会の出席については、教育委員の多忙さから調整が難しい面が多い。</p> <p>◇管内教育委員会等との情報交換は、本町の教育行政の推進に向け大変有用と考え、できるだけ出席できるように努めていく。</p>
中頓別町特別支援教育連携協議会運営事業	<p>発達障害を含めた障害のある子どものよりよい生活を築くため、関係機関が横断的に連携し、就学前から就学後及び卒業後の就労を含めた継続的、総合的な支援体制のあり方等を検討することを目的に補助金を交付する事業である。</p> <p>【平成24年度活動状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○連携協議会総会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・年1回 ○連携協議会役員会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・年5回 ○学習会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・「発達障害に関する基礎理解と具体的対応」について ○視察研修 <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人宗谷福祉会 天北厚生園 ○講演会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・「ジョブコーチの基礎知識」 <p>【補助金】</p> <p><平成23年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金 40,000円 <p><平成24年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金 40,000円 	<p>○障がい者に対する対応や支援のあり方を関係者で共有するとともに深めることができた。</p> <p>●役員や関係者だけでなく、広く町民にも障がいに対する理解を深めていけるような取り組みをしていくことが求められている。</p> <p>◇就学前から就学後及び卒業後の就労を含めた継続的、総合的な支援を行うことができるよう、特別支援教育に対する認識を深め、町内関係機関の取り組みや情報を共有するなど、連携をさらに図るため、今後も支援を継続していく。</p>	<p>○初めて障がい者の就労支援に係る教育講座を開催することができ、障がい者に対する理解を更に深めることができた。</p> <p>●個人情報の観点から教育現場からの意見が出しづらい面もあり、役員体制や総会等やり方の検討が必要である。</p> <p>◇教育支援だけでなく総合的な支援体制からも福祉を中心とした障がい者福祉の在り方を検討していく必要があり、さらに町内関係機関の取り組みや情報を共有するなど、連携を図っていく。</p>

施策項目	取り組み概要	平成23年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性
教職員住宅管理事業	教職員等の住宅の確保及び維持管理を実施し、居住環境の保持と改善を図る。	<p>○緊急を要する修理修繕については、迅速な対応をした。</p> <p>●教職員住宅の老朽化対策(特に寒さ対策とユニットバス化)及び戸数不足の解消が急がれる。</p> <p>◇教職員住宅の現状を正確に把握し、今後の教職員住宅の必要戸数を想定した整備計画を策定し、年次計画的な整備に努める。</p>	<p>○緊急を要する修理修繕については迅速に対応し、居住環境の保持と改善に努めた。</p> <p>●個々の住宅における修理修繕の要望が多々あるが、予算的な問題もあり対応できていないところもある。</p> <p>◇教職員住宅の整備計画を策定したので、年次計画に沿って整備に努めていく。 ※平成25年度整備予定 ・ユニットバス化 3件 ・屋根塗装 3件</p>
小学校施設維持管理事業	<p>安全安心な学校運営に向けた、教育環境の維持及び学校運営に必要な消耗品・備品等の充実。</p> <p>【備品購入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DVDライター 1台 ・加湿器 8台 	<p>○必要最低限の安全安心な教育環境に必要な維持と物品等の調達ができる。</p> <p>●学校本体において年数の経過による維持修繕が必要となってきた。</p> <p>◇校舎は建設後約22年が経過しており、校舎本体や設備において大きな修繕等が必要となってきたことから、整備計画を策定し、年次計画的な整備に努める。</p>	<p>○必要最低限の安全安心な教育環境に必要な維持と物品等の調達ができる。</p> <p>●学校校舎の老朽化に伴い、外壁塗装、屋根改修等の修繕が必要となってきた。</p> <p>◇校舎本体や設備において大きな修繕等が必要になってきていることから、中学校校舎の整備計画と合わせて整備計画を策定し整備に努める。</p>
中学校施設維持管理事業	<p>安全安心な学校運営に向けた、教育環境の維持及び学校運営に必要な消耗品・備品等の充実。</p> <p>【備品購入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルカメラ 3台 ・加湿器 1台 	<p>○必要最低限の安全安心な教育環境に必要な維持と物品等の調達ができる。</p> <p>体育館については耐震工事を実施した。</p> <p>●校舎については、老朽化と耐震化不足のため、根本的な解決が必要となっている。</p> <p>◇安全安心な学校づくりのため、今後中学校をどうすべきか、できるだけ早く方向性を見出し、整備計画を樹立するとともに、年次計画的な整備に努める。</p>	<p>○教育基本方針(めざす姿)の中に中学校の整備計画の内容を盛り込み、耐震化の問題が急務であることを関係者間で共通理解に立つことができた。</p> <p>●校舎については老朽化と耐震化不足のため根本的な解決が必要となっている。</p> <p>◇今後中学校をどうすべきか、できるだけ早く方向性を見出し、整備計画を樹立し具現化に向けて進めていく。</p>

施策項目	取り組み概要	平成23年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性																																				
小学校教育振興事業	<p>教育効果の向上にむけた必要な教育教材等の整備。</p> <p>【備品購入】</p> <p><平成23年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・手回し発電機 1台 ・解剖器 1台 <p><平成24年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・CDプレーヤー 2台 ・ビブラフォン 1台 ・ミシン 2台 ・踏切板 1台 	<p>○必要な教材等の整備が図られ、教育効果の向上に繋がった。</p> <p>●更なる教育備品の要望があるが、予算的な問題があり対応できていない。</p> <p>◇学校との連携を密にして、教育効果の向上が図られるよう、必要な教材等の充実を図る。</p>	<p>○教育効果の向上に向けて必要最低限な教材等の整備が図られ、教育効果の向上に繋がった。</p> <p>●前年と同様</p> <p>◇今後においても学校との連携を密にして、教育効果の向上が図られるよう、優先順位の高い教材等の充実を図る。</p>																																				
中学校教育振興事業	<p>教育効果の向上にむけた必要な教育教材等の整備。</p> <p>【備品購入】</p> <p><平成23年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・顕微鏡 1台 ・クルックス管 1台 ・小型誘導コイル 1台 <p><平成24年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・柔道着 40着 ・ジョイントメジャーマット ・長座体前屈測定器 ・握力計グリップ 	<p>○必要な教材等の整備が図られ、教育効果の向上に繋がった。</p> <p>●更なる教育備品の要望があるが、予算的な問題があり対応できていない。</p> <p>◇学校との連携を密にして、教育効果の向上が図られるよう、必要な教材等の充実を図る。</p>	<p>○教育効果の向上に向けて必要最低限な教材等の整備が図られ、教育効果の向上に繋がった。</p> <p>●前年と同様</p> <p>◇今後においても学校との連携を密にして、教育効果の向上が図られるよう、優先順位の高い教材等の充実を図る。</p>																																				
児童生徒健康診断委託事業	<p>児童生徒の健康の保持増進及び病気の早期発見につなげていくことを目的として、児童生徒の健康診断を実施する事業である。</p> <table border="1" data-bbox="295 1388 662 1836"> <thead> <tr> <th>【小学生】</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科検診（全学年）</td> <td>92名</td> <td>83名</td> </tr> <tr> <td>結核検診（全学年）</td> <td>92名</td> <td>83名</td> </tr> <tr> <td>心臓検診（小1年）</td> <td>12名</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>心臓検診（小4年）</td> <td>16名</td> <td>16名</td> </tr> <tr> <td>歯科検診（全学年）</td> <td>92名</td> <td>83名</td> </tr> <tr> <td>尿ぎょう虫卵検診</td> <td>92名</td> <td>83名</td> </tr> <tr> <th>【中学生】</th> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>内科検診（全学年）</td> <td>44名</td> <td>38名</td> </tr> <tr> <td>結核検診（全学年）</td> <td>44名</td> <td>38名</td> </tr> <tr> <td>心臓検診（中1年）</td> <td>15名</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>尿ぎょう虫卵検診</td> <td>44名</td> <td>38名</td> </tr> </tbody> </table>	【小学生】	H23	H24	内科検診（全学年）	92名	83名	結核検診（全学年）	92名	83名	心臓検診（小1年）	12名	12名	心臓検診（小4年）	16名	16名	歯科検診（全学年）	92名	83名	尿ぎょう虫卵検診	92名	83名	【中学生】			内科検診（全学年）	44名	38名	結核検診（全学年）	44名	38名	心臓検診（中1年）	15名	14名	尿ぎょう虫卵検診	44名	38名	<p>○児童生徒に係る健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者に義務付けられており、健康診断の実施により、疾病の予防や早期発見に寄与した。</p> <p>◇児童生徒が健康で安心な学校生活を送ることができるよう、今後も継続していく。</p>	<p>○前年と同様</p> <p>◇各学校から児童生徒に配付されている健康カード「はぐくみ」について、何年も同じ様式で使用されているため、レイアウトや内容等も含めて改善に向けて検討していく。</p>
【小学生】	H23	H24																																					
内科検診（全学年）	92名	83名																																					
結核検診（全学年）	92名	83名																																					
心臓検診（小1年）	12名	12名																																					
心臓検診（小4年）	16名	16名																																					
歯科検診（全学年）	92名	83名																																					
尿ぎょう虫卵検診	92名	83名																																					
【中学生】																																							
内科検診（全学年）	44名	38名																																					
結核検診（全学年）	44名	38名																																					
心臓検診（中1年）	15名	14名																																					
尿ぎょう虫卵検診	44名	38名																																					

施策項目	取り組み概要	平成23年度	平成24年度									
へき地児童生徒巡回検診事業	<p>児童生徒の健康の保持増進及び病気の早期発見につなげていくことを目的として、児童生徒の健康診断を実施する事業である。</p> <p>【検診内容】</p> <p><平成23年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・脊柱側弯症検診 ・眼科検診 ・耳鼻科検診 <p><平成24年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・脊柱側弯症検診 ・耳鼻科検診 <p>【関係町村】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脊柱側弯症検診～稚内市、猿払村、浜頓別町、中頓別町、枝幸町、豊富町 ・耳鼻科検診～中頓別町、枝幸町、豊富町 	<p>○成果●課題◇今後の方向性</p> <p>○児童生徒に係る健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者に義務付けられており、毎年度定期に行う健康診断とは別に3年に1度、専門医による健康診断を実施し、疾病及び異常の早期発見に努めた。</p> <p>●3町（枝幸町、豊富町、中頓別町）との連携を図りながら、事務局を担う町村に負担をかけないよう協力していく。</p> <p>◇専門医の確保が困難なへき地であるため、3年に1度ではあるが専門医による検診が必要であり、今後も継続していく。</p>	<p>○成果●課題◇今後の方向性</p> <p>○今年度は脊柱側弯症検診と耳鼻科検診を行った。他町との連携を図りながら、事務局を担う町村に負担をかけないよう協力して行うことができた。</p> <p>●他町との連携を図りながら、事務局を担う町村に負担をかけないよう協力していく</p> <p>◇専門医の確保が困難なへき地であるため、3年に1度ではあるが専門医による検診が必要であり、今後も継続していく。</p> <p>※今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度 眼科検診 ・平成27年度 耳鼻科検診 									
教職員巡回健康診断委託事業	<p>学校における職員の健康の保持増進を図り、病気の早期発見に資するため、職員の健康診断を実施する事業である。</p> <p>【受診者数】</p> <table border="1" data-bbox="300 1227 651 1339"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・小学校</td> <td>12名</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>・中学校</td> <td>11名</td> <td>10名</td> </tr> </tbody> </table>		H23	H24	・小学校	12名	14名	・中学校	11名	10名	<p>○教職員の減少に伴う受診者の減により、民間での巡回検診による実施が困難となり、平成23年度から町国保病院で検診を行うこととなった。</p> <p>◇教職員の健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者に義務付けられているものであり、教職員の健康の保持増進のためにも継続していく。</p>	<p>○人間ドック受診者以外の教職員全員が検診を受診することができた。</p> <p>◇前年と同様</p>
	H23	H24										
・小学校	12名	14名										
・中学校	11名	10名										
就学児健康診断委託事業	<p>就学予定者の状況を把握し、保健上必要な助言や適正な就学についての指導等を行うため、健康診断を行う事業である。</p> <p>【検診内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内科検診 ・歯科検診 <p>【受診者数】</p> <table border="1" data-bbox="300 1821 651 1899"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・受診者</td> <td>11名</td> <td>11名</td> </tr> </tbody> </table>		H23	H24	・受診者	11名	11名	<p>○学校保健安全法に基づく健康診断であり、内科検診と歯科検診を実施した。</p> <p>◇就学予定者の心身の健康状態を把握することで個々に応じた適正な就学が図れるため、今後も継続していく。</p>	<p>○前年と同様</p> <p>◇前年と同様</p>			
	H23	H24										
・受診者	11名	11名										

施策項目	取り組み概要	平成23年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性									
就学奨励事業	<p>経済的な理由等によって就学が困難と認められる児童又は生徒の保護者に対して、義務教育の円滑な実施に資することを目的とし、必要な援助を行う事業である。</p> <p>【対象者数】</p> <table border="1" data-bbox="300 504 614 616"> <tr> <td></td> <td>H23</td> <td>H24</td> </tr> <tr> <td>・新規者</td> <td>3名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>・継続者</td> <td>4名</td> <td>5名</td> </tr> </table>		H23	H24	・新規者	3名	1名	・継続者	4名	5名	<p>○経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒に援助を行うことで、平等な就学機会を確保することに繋げることができた。</p> <p>◇必要な援助を行うことで児童生徒の平等な就学機会の確保に寄与しており、今後も継続していく。</p>	<p>○継続者5名と新規者1名が就学援助制度を利用され、就学に必要な経費の負担を軽減し、必要な援助を行うことができた。</p> <p>●この制度を理解し利用していただくためにも、制度の周知方法に工夫が必要である。</p> <p>◇申請方法も含め、所得基準や就学援助費の内容をわかりやすく周知する必要がある。また、教育委員会が窓口となり、申請者の相談にも対応できる体制づくりも必要である。</p>
	H23	H24										
・新規者	3名	1名										
・継続者	4名	5名										
学校給食事業	<p>給食は、児童・生徒に望ましい食事に関する経験をかさねさせ、心身の健全な発達に寄与することを目的に、児童・生徒に給食を一日一回提供する。</p>	<p>○児童生徒へ栄養バランスのとれた学校給食の実施ができた。</p> <p>●安全でおいしい給食を提供するためにも、学校給食センターの老朽化に伴う施設改修が必要となってきた。</p> <p>◇一部改修は行ってきてはいるものの、建物本体の老朽化及び設備の老朽化もあり、整備計画を樹立するとともに、年次計画的な整備に努める。</p>	<p>○児童生徒へ栄養バランスのとれた学校給食の実施と老朽化していた冷凍庫を新規に入れ替えることができた。</p> <p>●前年と同様</p> <p>◇建物本体の老朽化及び設備の老朽化もあり、整備計画を樹立するとともに、年次計画的な整備に努める。</p>									
全国学力学習状況調査事業	<p>全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立するとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的として調査を実施する。</p> <p>【調査対象者】</p> <table border="1" data-bbox="300 1724 662 1836"> <tr> <td></td> <td>H23</td> <td>H24</td> </tr> <tr> <td>小学校6年生</td> <td>15人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>中学校3年生</td> <td>16人</td> <td>11人</td> </tr> </table>		H23	H24	小学校6年生	15人	16人	中学校3年生	16人	11人	<p>○児童生徒の学力及び生活習慣との関連性も把握ができ、今後の学習指導に役立てることができた。</p> <p>●なぜ学力向上が必要なのか、児童生徒個々の思いや、保護者の思いを共通にしていくことが望まれる。</p> <p>◇教育委員会の分析結果や各学校独自の分析結果による現状の共通理解と今後の取り組みに向けた方向性について、さらに相互理解を深める。また、保護者に対してはその取り組みが理解されるよう教育委員会、学校がさらに工夫することとする。</p>	<p>○前年と同様</p> <p>●生徒数が少ないと平均値もその年ごとに大きな幅や波が見られ、継続的なデータとしては分析しづらい面もあるが、データ分析を行うことでどんな設問につまづいているか洗い出し児童生徒一人一人の学力の底上を目指していく。</p> <p>◇地域家庭と連携し、生活全般における望ましい生活の在り方や家庭での学習習慣を定着させ、具体的な数値目標を設定するなどして、連携協働しながら取り組んでいく。</p>
	H23	H24										
小学校6年生	15人	16人										
中学校3年生	16人	11人										

施策項目	取り組み概要	平成23年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性
就学指導委員会事務事業	心身に障害のある児童生徒等の就学の適正を図るため、就学指導委員会を開催し、教育長の指定する事項について審議を行うものである。	○教育支援を必要とする幼児、児童、生徒に対し適切な就学機会の確保に繋げる活動ができた。 ◇今後においても、保護者の意向を最大限尊重し、一人一人にあった支援の在り方を関係者が共有していく。	○今年度については、教育支援を必要とする幼児、児童、生徒がいなかったため、就学指導委員会は開催していない。 ◇今後においても、保護者の意向を最大限尊重し、一人一人にあった支援の在り方を関係者が共有していく。
中頓別町育英会事務事業	経済的事由により就学が困難な学生、生徒に対して学資を貸与する事業である。 ＜平成23年度＞ ・新規貸与者 3名 ＜平成24年度＞ ・継続貸与者 2名	○経済的な不安が軽減され、就学機会の確保が図られた。 ●長期滞納者もいるが、督促状の送付等により償還の確約が取れている状況にある。 ◇役員・総会において、貸与額について変更の必要性がないかどうかの声もあり、次年度に向け検討をすることとしている	○経済的な不安が軽減され、就学機会の確保が図られた。また、長期滞納者で償還の確約が取れている者については、償還して頂くことができました。 ●長期滞納者については、督促状等の送付や訪問により対応したが償還まで至らなかった。 ◇長期滞納者が少しでも償還していただくためにも、償還計画を提出してもらい、確約がとれるよう進めていく。
表彰及び儀式典礼に関する事務事業	公立学校職員、教育行政職員として学校教育の振興に貢献し、特に功績が顕著であると認められた者が対象となる。	○教育振興に功績があった職員を表彰することにより、一層の教育推進に繋げることができた。 ◇死亡叙勲については遅延が許されないことから、差しさわりのない範囲で、受賞希望者の把握と申請に必要な事前準備に心がける。	○前年と同様 ◇前年と同様
規則規程等に関する事務事業	規定に基づき教育委員会条例及び規則の改廃、告示及びその他の規程を定め、公表する。 【条例規則等改正】 H23 H24 ・条例改正 1本 1本 ・規則改正 6本 4本 ・規程改正 3本 4本	○教育行政に支障を来たさない様、教育に関連する法律等の改正等に伴う事務処理を遅滞なく処理した。 ●教育局との連携を図りながら、事務処理を進めていくことが寛容である。 ◇今後も遅滞なく改正等の事務処理を行うとともに、随時見直しも行うようにする	○前年と同様 ●前年と同様 ◇前年と同様

平成24年度中頓別小学校の教育

□校訓「誠 愛 勤」

「誠」「愛」「勤」の校訓は、開校間もない頃に設定されたものであるが、人間として生きる大切なものを極めて端的に表現している。今日のような人間性の重視が叫ばれている社会の状況下において一層その価値が輝くものとなっている。

□学校教育目標

「明日を拓く 心豊かで たくましい子どもの育成」

- ◎ 進んで学び やりぬく子 (知)
- ◎ 思いやりがあり 助け合う子 (徳)
- ◎ 体をきたえ 元気な子 (体) (平成24年度改訂)

◇職員構成

○校長 1名 ○教頭 1名 ○教諭 9名 ○栄養教諭 1名 ○養護教諭 1名
○事務職員 1名 ○初任者研修講師 1名 ○教育支援員 1名 ○公務補 1名
合計 17名

◇学級編成(4月10日現在)

学年	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
人数	6	6	10	2	7	6	4	12	6	8	7	9
計	12		12		13		16		14		16	
学級数	6学級 (全校児童 男子40名 女子43名 計83名)											

□平成24年度の学校経営

1 学校経営の基本方針

- (1) 憲法・教育基本法にうたわれている人間尊重の精神と人格の完成を基調として、児童一人一人の成長を目指し、組織的・計画的な教育活動を推進する。
- (2) 教職員個々の特性を生かしつつ、全教職員の経営参加と協働体制で中頓別小ならではの特色ある教育活動を推進し、教育目標の達成を図る。
- (3) 「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」の知・徳・体をバランスよく育てると共に、家庭や地域社会と連携・協力して開かれた「信頼される学校づくり」に努める。

2 本年度の重点目標

豊かな自然と人材を活し、仲間と高め合い、学び合う子

～元気よく 助け合い やりぬく～

- (1) 確かな学力の向上
- (2) 豊かな心の育成
- (3) 健やかな身体づくり
- (4) 個の課題に応じた発達を支援する教育
- (5) 信頼される学校づくりの推進
- (6) 実践的指導力を高める教職員研修の充実

中頓別小学校

学校経営 取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

項目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
<p>確かな学力の向上</p>	<p>☆主体的に学習に取り組み、ねばり強く立ち向かう子ども【学習の自立】</p> <p>(1) 基礎・基本の確実な定着を目指す学びの充実</p> <p>①子どもの学習意欲を高める</p> <p>②基礎・基本を確実に身に付けさせる指導</p> <p>③全ての教育活動で言語活動を意識し、日常的に活用できる力をつける。(学習の自立と連動)</p> <p>④コミュニケーション能力を育む外国語活動の充実</p> <p>(2) 指導力向上を図る授業研究等の充実</p> <p>①「楽しく・わかる」授業の追求</p> <p>②これまで取り組んできた校内研究の成果を土台に、言語活動を意識し、日常的に活用できる力をつける。(全ての教育活動で)</p> <p>(3) 保護者と協力して、各学年の発達段階に応じた学習習慣を身につけさせる</p> <p>①授業との関連を明確にした家庭学習の取り組み</p> <p>②家庭との連携を強め、家庭学習を習慣化させる取組を進める。</p> <p>(4) キャリア教育の充実</p> <p>①夢や希望、憧れる自己イメージの獲得</p> <p>②勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の育成</p>	<p>○学校研究の中にある「自分の考えを伝える授業づくり」を重点に、言語活動を重視した授業づくりに取り組んできた。</p> <p>○「中頓別探検隊」の取組等も含め、全国学力状況調査では国語B問題の正答率が他に比べて高い。</p> <p>●基礎的な学習内容の定着率と学習意欲が他と比べると低い。</p> <p>●家庭学習の取組が全校のものにならず、家庭での学習習慣が定着していない。</p>	<p>・「チャレンジテスト」による傾向分析、少人数指導やTT指導による個々の状況に応じた指導に心がけ、「のびろタイム」による基礎的な学習内容の習熟を行い、どの子にも基礎的な学習内容を定着させる。</p> <p>・保護者との連携の中で「家庭での学習習慣の定着」をめざす。</p>

項目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
豊かな心の育成	<p>☆文化的で感性豊かな子ども【表現の自立】</p> <p>(1) 集団活動や体験活動を通して仲間同士の良さを認め合い、協力し合う人間関係づくりを進める</p> <p>① 児童理解を進め、子ども同士、子どもと教師の信頼関係を築く。</p> <p>② 一人一人の良さを認め、共に成長できる学級集団づくりを進める。</p> <p>③ 縦割り班活動を通して、仲間と共に自立する力と社会性の基礎を育てる。</p> <p>④ 「あいさつ」「元気」「仲が良い」「歌声」「和太鼓」等の伝統を、活動を通して根付かせる。</p> <p>⑤ 「みんな仲良く」「いじめ根絶」「きれいな言葉」「笑顔いっぱい」「の学校を目指し、児童会が主体となった創意ある取り組みを行う。</p> <p>(2) 児童の実態や育てたい力に即した、本校の道徳教育の充実を図る</p> <p>《本校の道徳教育の目標》</p> <p>* かかわりあいの中で、よりよい生き方を求める児童の育成</p> <p>《重点目標》</p> <p>* 自分の考えで行動し、ねばり強く最後までやりとげる</p> <p>* 思いやりの心を持ち、みんなと仲良く協力し助け合う</p> <p>* 自然の命の尊さを感じ、よりよく生きようとする</p> <p>* 自分の役割を自覚し、進んでみんなのために働く</p> <p>① 「心のノート」や読み物資料等を効果的に活用しながら、心に響く道徳の時間を展開する。</p> <p>② 道徳の授業を積極的に公開する。(参観日等)</p>	<p>○ 日常的な縦割り班活動を通して、それぞれの学年が意識的に行動するようになった。特に高学年はリーダーとしての役割を果たそうと努力してきた。</p> <p>○ 児童会が主体となって「あいさつ」「言葉遣い」「仲良く遊ぶ」活動に取り組んできた。</p> <p>● 関わり方の未熟さから友だちを仲間はずれにしたり、素直な関わり方が出来ずに孤立する児童が見られた。(その都度家庭とも連絡を取りながら指導をしてきた。)</p>	<p>・ 教師間で縦割り班活動のねらいや具体的な取組について交流し、児童の状況を共有していく中で、全教職員で育てていく。</p> <p>・ 定期的に学級集団交流を行い、全教職員が学級の状況や児童同士の関わり方の課題を共有化し、「いつでも」「どこでも」「だれでも」必要な指導が出来るような体制を整える。</p> <p>・ 児童同士の関わり方を体験的に学ばせる。</p> <p>・ これまでの取組を継続する。</p>

項目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
豊かな心の育成	<p>③学級学年の生活問題等を取り上げ、解決方法を考えさせるなど、実態に即した指導を行う。</p> <p>④全教育活動を通して、道徳的実践力を高める</p> <p>(3)心を耕し想像力を広げる読書活動の充実を図る</p> <p>①多くの本と出合わせる</p> <p>②自分に合った本を見つける</p> <p>(4)地域の自然や人材など多様な教育資源を活用し、豊かな体験活動を進める</p> <p>(5)ボランティアなどの社会体験を積極的に行い、命を大切にする心や思いやりの心を育てる</p> <p>(6)“子どもたちの元気で地域を励まし、明るくする”活動を進める</p>	<p>○朝読書の取組や読書ボランティアの活動のお陰で、本に親しむ心情が育っている。</p> <p>○寿大学や生活職人、地域の方々の支援により、幅広く、有意義な活動が出来た。(中頓別探検隊、社会科見学、昔の遊び体験など)</p> <p>○鼓笛／みこしパレードの頑張りが地域から評価されている。</p>	<p>・今後もこれまでの取組をお願いしたい。</p> <p>・取組を継続する。</p>

項目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
健やかな身体づくり	<p>☆たくましい生活力のある子ども【生活の自立】</p> <p>☆体力の向上に喜びをもち、立ち向かう子ども【健康の自立】</p> <p>(1) 基本的な生活習慣を確立し、自分自身の生活を自己管理できる力を身につけさせる</p> <p>① 日常的な健康観察の継続により、自分の生活を見つめる観点を意識させる。</p> <p>② 各学年の発達段階に応じた「生活のめやす」づくりと自己点検により、生活リズムの確立を図る。</p> <p>(2) 自分自身の体力や運動能力の実態に関心を持ち、校内外の体力づくり活動に意欲的に取り組む</p> <p>① 遊びの体験を豊かに展開し、基礎体力づくりを推進する。</p> <p>② 課題である「柔軟性」と「持久力」向上のため、体育の時間の指導内容を工夫する。</p> <p>③ 駅伝・マラソンの取り組みを通して、運動に主体的に取り組む姿勢や持久力向上と達成感・充実感を味わわせる。</p> <p>④ 体力テストを実施し、一人一人の実態を把握して指導に生かす。</p> <p>(3) 食に関する指導を進め、望ましい食習慣や食の自己管理能力を身に付けさせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 21年度～22年度の「食育推進事業」の成果や実践を踏まえ、栄養教諭を中心とした学校における食育を充実させる。 ・ 全体計画及び各学年の指導目標、年間指導計画に基づき、適切な指導を進める。 ・ 給食の時間や各教科・各学年の活動等を通して、食事の重要性、自己管理能力、好ましい人間関係等の育成を図る。 	<p>○ 毎日の健康調べを行うことで自分の体調について気にかけるようになってきた。</p> <p>○ 体育の授業の導入に柔軟運動を取り入れた。</p> <p>○ 駅伝、マラソンの取組を通し、自分の目標に向かって取り組む児童が増えた。</p> <p>● 大会が終わると取組が停滞する。</p> <p>● 外に出て遊ぶ子が少ない。</p> <p>○ 食育の指導計画に沿って授業や給食前の指導を行ってきた。</p> <p>○ 栄養教諭による食育授業で栄養素に対する知識やそのバランスなどについて意識を持つ児童が増えてきた。</p>	<p>・ 家庭とも連絡を取りながら、児童を心身の両面から見守っていく。</p> <p>・ 外遊びを推奨する。</p> <p>・ 冬の体力づくりを検討する。</p> <p>・ 継続指導</p> <p>・ 継続実施</p>

項目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
健やかな身体づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭・地域と連携・協力しながら、食育推進のための実践的な取り組みを行う。(PTA専門部と連携した親子料理教室など) ◆起床・・・6時半までに起床し、余裕を持って行動する ◆就寝・・・低は午後9時までに、中は9時半までに、高は10時までに寝る ◆睡眠時間の確保 ◆家庭学習・・・(学年+1)×10分※家庭学習の手引き(H23) ◆テレビ・ゲーム・・・家庭で約束を決める(2時間以内に) ※テレビゲーム～4つの約束 <ul style="list-style-type: none"> ①30分以上続けてやらない ②画面に近づきすぎない ③画面は目の位置より低く ④部屋は明るくしておく (4)性教育、情報モラル教育や薬物乱用防止教育など、子どもの健全な心身を育てる教育を進める <ul style="list-style-type: none"> ・性教育の実施と授業公開(参観日) ・喫煙防止教育 ・薬物乱用防止教育 ・情報モラル教育・・・メールやインターネットにかかわるマナーやルールを教える ※家庭でのルールづくりの啓発 	○栄養教諭によるPTA専門部と連携した親子料理教室を開催し、大変好評だった。 ●家庭での生活リズムは課題 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での学習時間が短い。 ・テレビ、ゲーム等の時間が長い。 ・就寝時間が長い。 ○指導計画に沿って授業を行ってきた。	・懇談会などで生活リズムの重要性を啓蒙する。

項目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
<p>個の課題に応じた発達を支援する教育の推進</p>	<p>☆支援を必要とする児童に対して、生活や学習上の困難を改善または克服できるように、適切な指導・支援を行う</p> <p>①校内支援委員会を機能させ、ニーズに応じた対応を進める。</p> <p>②関係機関と連携した支援の取組を進める。</p> <p>③個別の指導計画を作成し、効果的な指導や支援を行う。</p> <p>④子どもや保護者のニーズに応えるため、必要な研修を計画的に進める。</p> <p>⑤保護者との連携</p>	<p>○節ごとに一人一人の児童の状況を交流し、必要な指導体制を整えてきた。</p> <p>○関係機関と連携を取りながら最適と思われる支援の方法に取り組んできた。</p> <p>○保護者との信頼関係を築けるよう、話し合いを進めてきた。</p>	<p>・支援を必要とする児童の状況を把握し、適切な指導体制を整える。</p>

項目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
信頼される学校づくりの推進	<p>(1) 保護者・地域社会と連携・協力して、期待に応える信頼される学校づくりを進める</p> <p>①家庭や地域社会と連携・協力して開かれた学校経営を推進する</p> <p>○保護者や地域住民の学校経営への積極的な参画を進める。</p> <p>○教職員の地域行事などへの積極的な参加・協力を進める。</p> <p>②「学校だより」の全戸配布や、「学級通信」「ほけんだより」の内容を充実し、情報の共有を図る。</p> <p>③子どもたちの健やかな成長を願って親と教師が共に学び合うなど、PTAとの連携を深める。</p> <p>(2) 学校の安全管理の徹底に努める</p> <p>①教職員の危機管理意識の高揚を図るとともに、学校内外の定期的な安全点検を実施する。</p> <p>②防犯訓練や防災訓練を実施し、子どもたちの安全確保に努める。また、安全に係る活動を通して、自他の危険予測・危険回避の能力を身につける。</p> <p>③地域ぐるみの安全確保の取組の推進</p> <p>※「こどもの安全・安心の町」宣言(22年3月の第1回定例議会で決議)</p> <p>(3) こども園・中学校との継続性のある指導に努める</p> <p>①こども園と小学校の連携</p> <p>②こども園と小学校の接続を進めるための具体策</p> <p>○職員同士の交流</p> <p>○子ども同士の交流</p> <p>③こども園と中学校との情報交流を深める</p> <p>④小学校と中学校の連携</p>	<p>○学級でのトラブルには早急に対応し、必要に応じて管理職と一緒に保護者への説明や話し合いを進めてきた。</p> <p>○学校の取組の意図と活動の様子が見えるような「学校だより」づくりに心がけた。</p> <p>○計画に沿って防犯、防災訓練を行ってきた。また、児童が自分で危険を回避できる指導に心がけた。</p> <p>○安全パトロールの協力で登下校時の児童の安全が確保されてきた。</p> <p>○2年生と5年生がこども園を訪問し、園児への読み聞かせやクイズ等の交流を行った。</p> <p>○教職員がこども園を参観し、保育状況を参観した。</p> <p>○児童クラブの児童の様子について指導者と懇談を行った。</p> <p>○2回の小中交流会で授業や生活の様子、学習状況について交流を行った。</p>	<p>・学級での出来事を気軽に話せる職員室の雰囲気作り</p> <p>・学校や学級の活動の様子が見える学校だよりをめざす。</p> <p>・実際の災害を想定した避難訓練をめざす。</p> <p>・こども園の職員との連携を深める。</p> <p>・学力向上を中心とした中学校との連携を進める。</p>

項目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
実践的 指導力 を高め る教職 員研修 の充実	<p>【研究主題】 学ぶことの楽しさを感じ、意欲的に取り組む子どもの育成 ～楽しく、わかる算数科の授業づくり～</p> <p>(1) 教職員の資質能力の向上に努める</p> <p>○授業研究を中心とした校内研修の推進に努める。</p> <p>○外部の研修や研究会などに積極的に参加し、校内研修に積極的に生かす。</p> <p>○教職員一人一人の特性やライフステージなどに応じた研修活動に主体的に参加する。</p> <p>○研修計画や研修体制の改善に生かす評価の工夫を進める。</p> <p>(2) 教職員一人一人がその使命感と公務員としての自覚を持ち、服務規律の厳正な保持に努める</p> <p>○教職員の危機管理意識を高め、的確な危機管理体制を確立する。</p> <p>○服務規律の厳正な保持に努め、信頼関係を損なうことがないようにする。 (交通違反・事故、個人情報紛失、体罰、わいせつ事故 等)</p> <p>○仕事の環境づくりに努め、教職員の心身両面からの健康管理に配慮する。</p>	<p>○1つの学級が2回の授業公開を行い、相互に学び合う場を設けた。</p> <p>○研修部が積極的に校外研究会等を紹介し、のべ8人が参加した。</p> <p>○必要に応じて、服務規律に関する資料を配付したり、職員朝会等で指導を行った。</p> <p>●定時退勤日を設定出来ない月があった。</p>	<p>・研修計画に則り、学校研究を実践的に進めるようにする。</p> <p>・安心して研修に出られるよう補欠体制を組めるようにする。</p> <p>・緊急時の対応について具体的事例を挙げながら協議・検討していく。</p>

中頓別小学校

学校経営 取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

□教育課程編成の方針と指導の重点

【教育課程編成の基本方針】

○ 諸法規、学習指導要領及び北海道・宗谷管内・中頓別町の教育方針等を踏まえ、子どもの実態と地域の現状を、保護者の願いや期待等を把握し、物的・人的環境を有効に活用する教育課程の実施・改善を行う。とりわけ、学校の教育目標をより具現化し、本校の目指す子ども像を明確にして、自ら学び自ら考える力の育成、基礎・基本の確実な定着を図り、個性を伸ばす教育を推進し、特色ある教育活動を展開していく。

1. 主体的に学習に取り組み、ねばり強く立ち向かう子どもの育成
2. 基礎・基本の確実な定着と、個に応じた指導の重視
3. たくましい生活力のある子どもの育成
4. 思いやりのある、心豊かな子どもの育成
5. 体力の向上に喜びを持ち、ねばり強く取り組む子どもの育成
6. 文化的で感性豊かな子どもの育成
7. 道徳的実践力を高め、豊かな道徳性を培う道徳教育の推進
8. 地域の自然・施設・人材を生かした創意ある教育活動の推進

項目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
教科指導	<p>自ら学ぶ意欲や学び方を育て、基礎基本の定着を図る</p> <p>①授業時数を確保する。</p> <p>②体験的な学習を取り入れる。</p> <p>③児童理解のもとに、個に応じたきめ細かな指導方法を工夫する。</p> <p>④学習訓練の指導を徹底し、自ら学ぶ力を育成する。</p> <p>⑤言語活動の充実を図る。</p> <p>⑥地域の素材を教材化して、学習効果を高める。</p> <p>⑦自己評価や授業評価の工夫、改善を進める。</p>	<p>○年度末の学年閉鎖もあったが、授業時数は確保した。</p> <p>○少人数指導やTT指導を活用し、個に応じた指導に心がけた。</p> <p>○児童の学習意欲の点からも体験的学習や地域学習の効果は非常に高かった。</p> <p>●言われたことはするが自ら学ぼうとする意欲が乏しい。</p> <p>●授業評価を具体的な改善策につなげられなかった。</p>	<p>・教育効果が高まる体験的な学習に取り組む。</p> <p>・より効果的な少人数指導やTT指導を行う。</p> <p>・具体的な改善策につながる授業評価を行う。</p>

項目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
道徳教育	<p>全教育活動を通して道徳的实践力を高める</p> <p>①「心のノート」や視聴覚教材、魅力的な教材を活用し、道徳の時間を充実する。</p> <p>②発達の段階に応じて指導内容を重点化し、体験活動を推進する。</p> <p>③教育活動を通して、思いやりの心を育てる指導を進める。</p> <p>④基本的な生活習慣の指導を徹底する。</p>	<p>○指導計画に沿って道徳の授業を行ってきた。</p>	
特別活動	<p>めあてをもって生き生きとした実践的態度を育てる</p> <p>①一人一人が高まり、互いに認めあって協力・助け合いができる楽しい学級づくりを進める。</p> <p>②将来の自分の姿を思い描いたり、目標を持つことを通して、できることをやりぬこうとする態度を育てる。</p> <p>③異年齢集団(縦割り班)活動を充実する。</p> <p>○清掃活動、児童会活動、学校行事(運動会)など、学年を超えた縦割り班活動を通して、望ましい人間関係の醸成に努める。</p> <p>○4年生以上の全児童による鼓笛隊や、和太鼓(3年生以上・総合学習)等の学習の成果を、学校行事はもとより地域行事などで積極的に発表し、地域づくりに貢献する。</p> <p>④主体的に計画・活動ができる児童会づくりを進める。</p> <p>⑤集団行動を通して、協力・協調性を育てる。</p>	<p>○縦割り班活動を通して、異年齢集団が協力したり、教え合ったりしながら活動することができた。</p> <p>また、これまでの積み重ねから、それが自然に行えるようになってきた。</p> <p>○活動目標がはっきりしているので、児童は意欲的に活動することができた。</p> <p>●活動内容に変化がなく、新しいアイデアが生まれてこない。</p>	<p>・達成感、自己肯定感、自己有用感を感じられる評価活動をめざす。</p>

項目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
総合的な学習の時間	<p>自ら課題を持ち、解決しようとする意欲を育てる</p> <p>①弾力的な時間配分により、ゆとりある学習を工夫する。</p> <p>②興味・関心を重視した課題学習や調べ学習を重視する。</p> <p>③地域の自然・社会・人々などのかかわりを積極的に取り入れる。</p> <p>④学び方や調べ方についての指導・助言を徹底する。</p> <p>⑤まとめ方や交流の場を工夫して、表現力を育てる。</p>	<p>○中頼別探検隊は3年生から行っているため、これまでの様子を見ながら活動し、更に工夫改善も生まれている。</p>	<p>・テーマの工夫</p>
外国語活動	<p>コミュニケーション能力の素地を養う</p> <p>①児童や地域の実態に応じて目標を設定する。</p> <p>②外国語(英語)を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験する。</p> <p>③指導方法・内容等について、ALTの活用・連携を図る。</p> <p>④中学校との接続・連携を重視する。</p>	<p>○低学年からALTと関わってきたことで、抵抗感なく会話をすることが出来る。</p> <p>○楽しみながらコミュニケーションを図っている。</p>	
生徒指導	<p>全教職員の共通理解をもとに、自主的・実践的な態度を育てる</p> <p>①子ども一人一人の個性を理解し、共感的な態度で接する。</p> <p>②子ども同士の好ましい人間関係や、子どもと教師との信頼関係を育てる。</p> <p>③「いじめ」「不登校」のない楽しい学校をめざす。</p> <p>○一人一人の「思い」や「心のあり方」に触れた指導</p> <p>○励ましあい、助け合い、認め合う土壌づくり</p> <p>○子どもの人間関係の把握・教育相談の活用</p> <p>○保護者との連携</p> <p>④学校・家庭・関係諸機関との連携を図る。</p>	<p>○児童の実態交流を通して、一人一人の課題などを共有してきた。</p> <p>●「いじめ」に類する言動が何件か見られたが、その都度時間をおかずに指導をしてきた。</p> <p>○児童の発達段階を考慮に入れ、表面的な現象のみに捕らわれることのないよう心がけた。</p>	<p>・人間関係づくりを重点にした指導方針を立てる。</p> <p>【教えるべき事】</p> <p>・何が不適切な行動(いじめ)か。</p> <p>・どう対応すればよいか。</p> <p>【求める集団】</p> <p>・自他の違いを認め合える集団</p> <p>・いじめなんかしなくても良い関係。</p>

項目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
健康 安全 教育	健康安全に関わる基本的な生活態度を育てる ①自他の命を大切にすることを指導を進める。 ②日常の学習や生活場面での危険防止について指導する。 ③登下校の交通安全指導を進める。(危険を予知する能力の育成) ④集団遊びの指導、体力づくりの生活化を進める。 ⑤保健学習指導を進める。 ⑥きめ細かな給食指導を進める。 ⑦食に関する指導を進める。(家庭との連携・学校栄養教諭の活用)	○交通安全を中心に自分の命を守る指導を行ってきた。 ●遊びを通じた体力づくりには取り組めなかった。 ○食育指導計画に沿って栄養教諭による指導が行われた。	・遊びを通じた人間関係づくりを行う。
個の 課題 に応 じた 教育	社会的な自立を支え、一人一人のニーズを大切にする ①子どもたちの障がいの状態や程度を理解し、一人一人のニーズに合った支援計画を作成する。 ②校内委員会の役割を確立し、コーディネーターの機能を高める。 ③保護者と学校(担任)の話し合いを大切に、子どもの成長を確かめ合いながら連携を進めていく。 ④教育委員会、稚内養護学校(支援学校)、医療や福祉などの関係諸機関との連携を図る。	○関係機関との連携を取りながら、適切な指導体制を取ることが出来た。 ●全教職員で確認することが、校内指導委員会は行われなかった。	・保護者との連携を密に取りながら、一人一人のニーズにあった指導に心がける。
学校 行事	全校(縦割りを含む)または学年を単位として、学校生活の充実を図る ①日常の学習や経験を効果的に展開させる指導を工夫する。 ②発達段階にあった「めあて」をもたせ、生き生きと活動させ、成就感・達成感を醸成する。 ③児童の積極的な参加による体験的な活動を取り入れる。 ④係活動や手伝いなど自分でできることを見つけて進んで実践しようとする態度を育てる。	○行事の取組を始めるに当たり、教職員間で取組のねらいとその行事を通して児童をどう育てるかを確認し合った。 ○ねらいに沿った取組と反省が行われてきた。	・ねらいを確認し、学年に応じた取組を計画する。 ・求める児童の姿をイメージして取り組む。

項目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
教室 環境 整備	<p>安全で落ち着いたある整った教育環境づくり</p> <p>①身の回りの整理・整頓、豊かな教育環境整備を図る。</p> <p>②学習環境の整備を計画的に行う。(教室内の整理・整頓、教材・教具の整理・活用、学習の足跡が見える掲示等)</p> <p>③教室外の環境整備を行う。(校舎周りのゴミや小枝拾い、グラウンドの石拾い、学級花壇・畑の草取り等)</p>	<p>○教室環境に留意していた。</p> <p>○教室環境に学習履歴が活かされている。</p>	<p>・生徒指導部や校務補と連携を取りながら、校舎周辺の環境整備に留意する。</p>

中頓別小学校の教育の特徴

取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

項目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
学校づくりで大事にしていること	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域の「名人」(学校支援ボランティア、生活職人)から学ぶ活動 ◆地域に対する誇りや愛情を育む「中頓別探検隊」 ◆望ましい食習慣の形成を図る食育 ◆人間関係づくりを学ぶ「縦割り班活動」「地域分団活動」 ◆学校力を発揮する職員の協力・協働体制 ◆(子どもに対して)質の向上、継続、あきらめない指導(教師の姿勢) ◆元気のよい「返事」 	<p>○調べ学習を通して地域の多くの方と関わることが出来た。</p> <p>○中頓別探検隊で考えた発表物を製品にしてもらった。</p> <p>○縦割り班活動でそれぞれが役割を自覚した行動が出来るようになった。</p> <p>○教職員が互いに声を掛け合い、協力・協働体制の中で教育活動を進めてこられた。</p> <p>●子ども達の活動に対してどこまで求めるかは検討を要する。</p> <p>●高学年の挨拶や返事は継続指導が必要。</p>	<p>・地域分団活動は改変を含めた検討の場を設ける。</p>
伝統として継続している活動	<ul style="list-style-type: none"> ◆和太鼓 ◆鼓笛 ◆みこしづくり(祭典に参加) ◆運動会の組体操・応援合戦 ◆学芸会(民舞・器楽合奏・全校合唱) 	<p>○内容を検討しながらそれぞれの活動を続ける事が出来た。</p> <p>○学芸会の発表演目については保護者からの意見も十分検討し、一定の結論を出すことが出来た。</p> <p>●発表の完成度をどこまで求めるかを担当者任せにってしまった。</p>	<p>・「より高いものを追求すること」と「児童の実態からどこまで出来るかを判断すること」は大変難しく、十分な検討が必要。</p>

中頓別町立
中頓別小学校
平成24年 11月号
第322号

中頓別

校訓
誠愛勤

中小の学力状況は

ずれの教科においても全国平均より低いという状況が続き、今年度新たに実施された理科についても同様の傾向が見られます。そのため北海道教育委員会では現在「オール北海道でめざす目標」として示し、関係機関と連携しながら総合的な学力向上の取組をしているところです。
本校においても、下記の「結果」や「傾向」とおり基礎・基本的な学力を確実に身につけて参りたいと考えています。

学力状況

【A問題】(基礎的な内容)
国語では漢字や言葉の意味など。
算数では計算問題や図形、割合など
【B問題】(応用・発展問題)
国語では文章を読み取り、その内容に適したものを選択したり、指定された文字数で記述するなど。
算数では条件に合うように組合せを考えたり、式を考えるなど。
(例：段ごとに高さの違う跳び箱を積み上げた時の高さを求める式の出し方等)

【結果】
①国語A問題、算数A問題の正答率は全道全国と比べて低い。
②国語B問題は全道全国の平均正答率と比べて高い。
③算数B問題は全国平均よりはやや低いものの、全道平均と比べるといくらか上回っている。
④理科の正答率は全道・全国の平均と比べても低く、差も他の教科よりは大きい。

中小の児童の傾向

- 国語や算数、理科の勉強は嫌いな児童が多い。
- 基礎的な学習内容(A問題)の理解度はあまり高くはないが、発展問題にもあきらめずに取り組みとうとする意欲が見られる。
- 出された宿題はきちんとするが、家での勉強時間が少なく、テレビやゲームをしている事が多い。
- 適度な睡眠(7～9時間)の児童が少なく、長時間睡眠の児童が多い。
- 読書好きな児童が多い。

平成24年度「全国学力・学習状況調査」における本校の結果と今後の取組についてお知らせいたします。
新聞等でも報道されているとおり、北海道は、小・中学校いながら今年度新たに実施された理科についても同様の傾向が見ながら「オール北海道でめざす目標」として示し、関係機関と連携しながら総合的な学力を確実に身につけて参りたいと考えています。

学習状況

【学習状況調査】
生活の様子(起床、朝食、テレビ視聴等)や、学習への関心意欲、読書や学習時間などの他、学校での生活態度、他者との関わりなど。

【結果】
①国語、算数、理科共に「好き」という児童の割合は全道や全国の平均に比べ少なく、「嫌い」という児童の割合が多い。
②1日に1時間以上勉強する児童は約10%ほど少ない。
③家で宿題をする児童の割合は、各平均に比べ非常に高い。
④1日に3時間以上テレビやビデオ・DVDを見る児童がとても多く、60%を超える。
⑤適度な睡眠をとる児童の割合は平均よりも20%程度低い。(たくさん寝ている児童が多い。)

今後の取り組み(学力面)

- 「オール北海道でめざす目標」第2期
・算数：数と計算、数量関係(四則混合した式や割合)
・国語：目的に添って読む。内容の太筋を理解する。
- 基礎的な内容の徹底
・課題解決的な学習により、関心意欲を高める授業づくり
・少人数(TT)指導、のびるタイムの活用
- チャレンジテストの活用
・キャリア教育の意義を意識した教育活動の推進
・将来の自分の意識
・家庭との連携
- 家庭での学習習慣の定着
・「決められた学習」から「進んで取り組む学習」へ

12月の行事予定

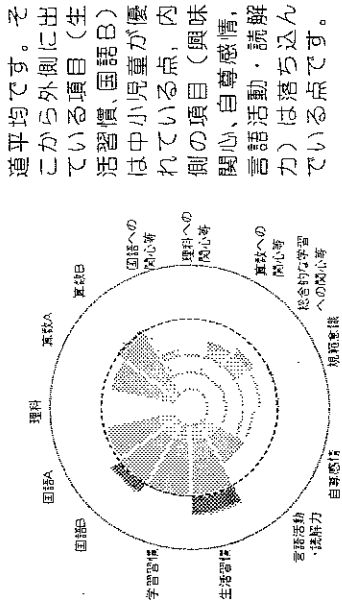
- 3日(月) 安全点検の日
- 4日(火) 毛筆大会(高学年)
- 5日(水) 毛筆大会(中学年)
- 6日(木) 外国語活動、シャッフル給食
- 10日(月) 委員会
- 12日(水) 全校朝会、外国語活動
- 14日(金) 総合発表会(～14日・金)
- 14日(金) 職員会議
- 21日(金) 終業式



冬休み 12月22日(土)
～1月15日(火)

1月16日(水) 3学期始業式

児童質問紙(北海道基準)



内側の点線は全道平均です。そこから外側に出ている項目(生活習慣、国語B)は中小児童が優れている点、内側の項目(興味関心、自尊感情、言語活動・読解力)は落ち込んでいる点です。

平成24年度中頓別中学校の教育

□校訓「至誠協和」

□学校教育目標

「創造する力 豊かな心 健康でたくましい身体」

(平成16年度より)

◇目指す学校像

- 生徒一人ひとりが成就感や達成感を感じ、安全で楽しい居場所のある学校
- 教職員一人ひとり良さや持ち味が活かされ、働きがいのある学校
- 保護者や地域住民に広く開かれ、信頼される学校

◇目指す生徒像

- 自ら学び・考え、自らの課題を解決する意欲や行動力・表現力のある生徒 (知)
- 思いやりや感謝の気持ちを持って、
互いに認め合い・励まし合い・高め合う生徒 (徳)
- 途中で屈しない精神力とたくましい身体で粘り強く努力する生徒 (体)

◇目指す教師像

- 生徒の確かな変容を促す実践的指導力を培うため、日々研修に努める教師
- 生徒の視点に立ち、生徒・保護者・地域住民・仲間から信頼される教師
- 社会の変化を的確に把握し、将来を見据えた教育に対応できる教師

◇職員構成

- 校長 1名 ○教頭 1名 ○教諭 8名 ○養護教諭 1名 ○時間講師 1名
- 事務職員 1名 ○公務補 1名
- 合計 14名

◇学級編成(4月現在)

学年	1年		2年		3年		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
人数	5	9	6	7	4	7	15	23
計	14		13		11		38	

中頓別中学校

学校経営 取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

1 学校経営の基本方針・経営の重点

【学校経営基本方針】

『仲間と共に歩む心豊かでたくましい中中生を育てるための、組織的な中中の教育の推進』

項目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
経営の重点	<p>(1)「確かな学力」「生きる力」を身に付けさせる特色ある教育課程の実施</p> <p>①新学習指導要領を踏まえた、中中らしさのある教育課程を実践する。</p> <p>○少人数指導やチャレンジタイム等を活かし、確かな学力の定着を図る。</p> <p>○個に応じた指導を充実させ、生徒一人ひとりの良さを伸ばす教育活動を進める。</p> <p>○全校活動等の中中らしさを活かした、中中の実践を深める。</p> <p>2)地域に根ざし地域と共に育つ学校教育の創造</p> <p>①地域の中での役割を發揮し、地域から激励してもらえる教育活動を推進する。</p> <p>○「よさこい」等の全校活動を通し、地域の一員としての役割發揮を積極的に行い、地域から激励される学校を創る。</p> <p>○総合的な学習の時間を活用し、地域を知り、地域に役立つ取り組みを展開し、地域をより愛する心を育てる。</p> <p>②義務教育9ヵ年のスパンで育つ中頓別の子どもを意識した小中の連携を推進する。</p> <p>○小中連携委員会の機能をより活発化し、小中の系統性を充実させる。</p> <p>○小中交流の機会をより多く広げ、子どもたちを多角的に捉える努力を進める。</p>	<p>○学力づくりでは、各教科で個に応じた支援の方法を考えながら実施し、つまづきの改善が少しずつではあるが進んでいる</p> <p>●生徒は支援に頼り気味でまだ自ら意欲的に学ぶという意識が十分に高まっていない</p> <p>○中中の伝統としてすすめられている「よさこい」は、地域からの要請や激励もあり、全校生徒がそれぞれの役割を發揮しながら全校集団を高める活動として位置づけられ、総合的な学習の「なかとん学」とともに、地域を愛する活動として位置付いている。</p> <p>●小中連携委員会の活動が定着してきているが、課題の明確化と具体的な連携の方策が求められている</p>	<p>※チャレンジタイムやプランシート等の改善を図り、生徒や家庭との対話をもりこみながら、粘り強い取り組みができるような支援を構築していく</p> <p>※今後も集団づくりの大切な要素として取り組みを進める</p> <p>※連携委員会の定例化を図り、課題を全体に提起するシステムづくりを進める</p>

項目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
	<p>(3)心豊かな生徒の育成を進める生徒指導の充実</p> <p>①共感的生徒理解と心に響く生徒指導を充実させる。</p> <p>○中中生の健やかな成長を願い、子どもと同じ目線に立ち、共感的生徒理解を進める。</p> <p>○生徒との対話を重視し、心の中の思いを探り、心に響く生徒指導を展開する。そのために、組織として、部会や教職員が連携して、適材適所で指導に当たる。</p> <p>○生徒同士の心のつながりを大切にした活動や取り組みを展開させ、仲間と共に育つ中中生を実感させる。</p> <p>②自己の将来に大きな夢と希望を抱かせる進路指導を展開する。</p> <p>○自己の将来を見つめ、確かな見通しや夢と希望を持てる進路指導を展開する。</p> <p>(4)豊かな心とたくましい体を育む教育活動の推進</p> <p>①豊かな心と体を育てる保健指導・安全教育・性教育等の充実を図る。</p> <p>○地域の力をも活用した性教育や安全教育、心を育てる教育などを進め、豊かな心や自他を大切に思う心を育てる。</p> <p>○日常的な給食・歯磨き指導、清掃指導などを通し、互いを大切にすることや習慣を育てる。</p> <p>②部活動を通し、たくましい体と豊かな心を育てる。</p> <p>○日常の部活動に取り組みながら、しなやかなでたくましい体を育てたり、集団生活での譲り合う心や周りを大切に思う心を育てる。</p>	<p>○生活アンケートの活用や教育相談を効果的に実施し、生徒の思いに寄り添い、生活の向上を図る取り組みを進めた</p> <p>○あやまった行為やつまづいた行動についても組織的に支援を与えることで改善を促し仲間との関係づくりも進み活躍場所や居場所を持てる生徒が増えてきている</p> <p>●将来を見つめながら、そのために今を頑張るという意識では弱さが見られた</p> <p>○日常の体育の授業はもとより、部活動や武道での校外からの支援、よさこいでの応援などもあり、健康な体づくりがすすめられている</p> <p>○日常的な健康・安全指導や委員会活動が定着し、効果が見られ、指導が充実している</p> <p>●食育や基本的な生活習慣については家庭との連携も不可欠でありすべての場面にまではゆきとどいていない</p>	<p>※今後も共感的理解と共通理解にたった指導を進め、子どもたちの豊かな成長につなげていきたい</p> <p>※進路を見すえ、今やるべきことに粘り強く取り組めるような意識付けを継続的に支援していきたい</p> <p>※現在行っている指導を継続しつつ、集団との関わりを大切にしながら、自他共に大事に出来る心を育てるよう家庭や校外の支援も得ながら指導を強めていく</p>

項目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
	<p>(5)内・外に開かれた学校づくりの推進</p> <p>①主体的な経営参加や教職員間の連携と協力・協働による学校づくりを進める。</p> <p>○教職員一人ひとりの気づきを大切に、集団的な連携で改善につなげていく。</p> <p>○分掌や学年、部活動指導など、組織としての連携と調和を強化し、集団的に指導に当たる。</p> <p>○各係の連携を全校の連携に広げる運営会議の役割を活性化させる。</p> <p>②保護者や地域との積極的な連携を推進する。</p> <p>○P T A活動の活発化をめざし、P T A役員や学級P T A等の連携をより強化する。</p> <p>○学校評価・関係者評価を、学校づくりにより役立てていく工夫を進める。</p> <p>○地域の色々な活動との関わりを深めながら、地域に認められる学校づくりを進める。</p>	<p>○分掌部会、学年部会、時には部会をこえた連携や教科担任との協力体制をつくりながら状況に応じた指導をすすめることができた</p> <p>○家庭訪問や学級だより等で家庭とのむすびつきづくりを進めることができた</p> <p>●教師中心に活動するP T A活動の改善と校外から人を集めるだけではなく、教師自らが地域に入り発信していけるような結びつきが求められている</p>	<p>※学年会議の定例化により、より気づきが共有化されやすい体制づくりを進めていく</p> <p>教職員集団のコミュニケーションを高めることで、生徒への指導や家庭や地域への発信をより豊かなものへとしていきたい</p>

2 領域・分野別の指導の重点

目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
	<p>■教育課程の適切な「編成(P)－実施(D)－評価(C)－改善(A)」に努める。</p> <p>○新学習指導要領の趣旨やねらいを踏まえた教育課程を編成し、教育内容の改善事項を意識した的確な実践に努める。</p> <p>○地域との関わりを重視した特色のある教育活動を推進する。</p> <p>○「食育」「キャリア教育」「情報モラル教育」の充実など、今日的な教育課題に対応する実践を進める。</p> <p>■言語環境の整備と言語活動の充実を図る。</p> <p>○「朝読書」を日課に位置づけ、読書活動の充実を図る。</p> <p>○話し合いや発表の場面を意図的に設定するなど、コミュニケーション能力の育成に努める。</p> <p>■週時程を適切に管理するとともに、諸活動の整理統合を進め、授業時数を確保する。</p>	<p>○成果 ●課題</p> <p>○新学習指導要領実施年度にあたり、計画的に教育課程が推進され、教務中心に適切に時数管理も行われた</p> <p>○朝読書も定着し、総合的な学習と連動した言語活動の推進により、表現活動では一定の力を高めることができた</p>	<p>※今後も子どもたちに確かな学力をつけるため、検証・分析等をすすめて、PDCAサイクルに則った教育課程の編成、実施に努める</p>
学習指導	<p>①「確かな学力」を確実に身に付けさせる教科指導を推進する。</p> <p>○個に応じたきめ細やかな学習指導で、学習意欲の喚起ならびに学習習慣の定着に努めるとともに、基礎・基本の確実な定着を図る。</p> <p>○学習内容を活用する活動の充実を図る。</p> <p>○学習支援を必要とする生徒への対応を、適切かつ組織的に行う。</p> <p>②生徒が「わかる・楽しい」と実感できる授業実践を推進する。</p> <p>○習熟度別学習、TT指導、問題解決学習、外部からの人材活用などを効果的に取り入れた実践に努める。</p> <p>○ねらいが共通理解され、日常の授業実践に生きる校内研修を推進する。</p> <p>③多様な評価により生徒の変容を的確に把握し、個に応じた指導に生かす。</p> <p>④「総合的な学習の時間」を活用し、地域に根ざした教育活動を推進する。</p> <p>○地域及び関係機関との連携を深め、ふ</p>	<p>○校内研修としての授業公開がほとんどの教科で行われ、各教科工夫を凝らし、基礎基本の定着に努めた</p> <p>○生徒アンケートからも「わかる・楽しい」という声が増え、よりよい授業づくりの取り組みがすすんでいる</p> <p>○基礎基本の定着を目指し、各教科で工夫を凝らした指導を展開したり、TT指導を取り入れながら進めた</p> <p>○町長さんはじめ地域の方々温かい支援により、「なかとん学」がより豊</p>	<p>※今後も子どもたちに確かな学力を身につけさせるため、授業改善に努める</p> <p>※基礎・基本の定着のためには家庭学習も重要な取り組みであり、家庭との連携を深めながら、粘り強く取り組む姿勢を育成していきたい</p>

項目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
	<p>るさと学習「なかとん学」としての学習活動を展開する。</p>	<p>かに進められている</p>	
<p>道徳指導</p>	<p>①「道徳の時間」を要とし、教育活動全体を通じた計画的な道徳指導を推進する。 ○道徳教育推進教諭を中心としつつも、全教師が共通の課題意識をもって取り組む。</p> <p>②豊かな体験を通して、また魅力的な教材開発と活用を通じて、道徳的価値の内面化と道徳的実践力を引き出す。 ○地域におけるボランティア活動等を具現化するとともに、体験活動を通して気づいたことを振り返らせたり、まとめさせたり、発表させるなどの言語活動の充実を図る。 ○自他を大切に思う心、規範意識などを育む実践に努める。</p>	<p>○推進教師を中心に、全教職員が共通理解を図りながら、道徳指導の推進に努力した</p> <p>○様々な場面を活用し、書いたり討論したりする機会を設定しながら、道徳観を育てる取り組みを進めた</p> <p>●道徳的課題意識を持ちながら指導に当たるが、すぐに子どもたちに響きわたるものとなっていない面がある</p>	<p>※今後も学校教育全般にわたり、道徳指導・実践を進めながら、子どもたちの道徳意識を高めていくよう努める</p> <p>※体験学習や社会的な活動を保障しつつ、人とのふれあいを増やす中で、心に響く、心に残る道徳指導を進める</p>
<p>特別活動</p>	<p>①学級活動、生徒会活動、学校行事の内容を充実させ、互いに認め合う望ましい人間関係を形成するとともに、心のつながりを大切に生徒活動を展開する。 ○活動の結果だけでなくその過程における生徒の努力や意欲を積極的に認め、活動意欲を高める。 ○全校活動の工夫充実を図り、リーダーの育成に努めるとともに、協力して活動を進める自主的・自律的態度の育成に努める。</p> <p>②生徒が学校生活に積極的に取り組む意欲が持てるようガイダンス機能を充実させる。</p> <p>③保護者・地域と連携しつつ、しなやかでたくましい身体及び互いに認め合い高め合う部活動運営を推進する。 ○部活動保護者会の組織化を図り、生徒の頑張りの激励につなげる。</p>	<p>○各種行事や生徒会活動を通じて、全校集団の関わりを深め、豊かな人間関係づくりを進めた</p> <p>○総合的な学習の時間を活用し、体験活動に取り組み、その成果や課題を発表することから、言語活動の充実に努めた</p> <p>○取り組みの節目ふしめでの評価や、年間の教育活動の節目ごとに評価を行い、成果や課題を確かめた</p>	<p>※今後も全校集団づくりの観点から、全校でのよきこい等の取り組みを充実させながら、豊かな人間関係づくりを進めていく</p> <p>※体験活動を今後も進めながら、言語活動の充実を図っていく</p> <p>※部活動指導の重要性をおさえながら、より充実させることで、豊かな人間性の構築に努める</p>

項目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
		○部活動の取り組みも、勝利を目指すことが第一義にならず、活動を通して豊かな人間性の成長を目指しながら、保護者と連携して取り組んだ	
生徒指導	<p>①共感的な生徒理解を基盤とし、温かくも厳しく、信頼に基づく人間関係を確立する。</p> <p>○教育相談を適宜実施し、共感的・受容的な生徒理解に努める。</p> <p>②教師間で情報を共有化し、問題行動や不登校の兆しなどの早期発見と未然防止に努めるなど、積極的な生徒指導体制を確立する。</p> <p>○基本的生活習慣や基本的行動様式の定着に努める。</p> <p>○「生活状況把握アンケート」の実施や日常的な情報交流を通じて、生徒の状況の的確な把握に努める。</p> <p>○いじめ、非行、防犯等の問題や課題には、関係機関との連携を図りながら組織的に迅速かつ誠意ある適切な対応に努める。</p>	<p>○生徒に寄り添い、生徒の声をよく聞きながら、その情報を共有化し、集団的に役割を持ちながら指導にあたった</p> <p>○アンケートや教育相談により、生徒の思いをすいあげ学校が楽しいものになるように支援することができた</p> <p>●長期休業中の生活習慣づくりに丁寧に取り組んでいるが、なかなか確立したものにはなっていない</p>	<p>※家庭とも連携しながら、よりよい生活習慣づくりができるよう指導を進める</p> <p>※ひとりひとりにとって居場所があり、活躍ができるような学校になるよう、生徒指導の充実を図る</p> <p>※生指連や家庭との連携を深め地域とともに生活をみつめていく指導を展開したい</p>
進路指導	<p>①各学年段階に応じた重点化を図りながら、計画的な指導を推進する</p> <p>②キャリア教育等を通じて、望ましい勤労観・職業観を形成する</p> <p>○職場訪問などの体験活動や保護者や地域の職業人などの体験談などを取り入れながら、学ぶことや働くことの意義を理解させる。</p> <p>③進路適正の吟味と進路情報の有効活用を図る。</p>	<p>○各学年の発達段階に応じた進路指導計画を作成し、キャリア教育などを取り入れた実践を展開した</p> <p>●将来の生き方を考えさせながらの指導を進めるが、中学卒業後の進路との結びつきが不十分な面がある</p>	<p>※自己の将来を見つめ、自ら中学生期の生活の仕方が考えられる進路指導を進める</p> <p>※地元高校への進学と学習の見通しをうまく結び付けていける進路指導を進めていく</p>

項目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
体育・健康安全指導	①運動の喜び、楽しさを味わわせ、運動能力および体力の向上を図る。 ②家庭や地域の関係機関との連携を強め、基本的な生活習慣を定着させるとともに、健康および安全指導の充実を図る。 ○手洗い、うがい、歯磨き等を、生徒活動と連動させながら進める。 ○心の健康、性に関する指導、薬物乱用防止、喫煙防止などの指導の充実を図る。 ③清潔で安全な校内外の環境づくりを推進する。	○日常的な体育の授業や、部活動を通じて運動の楽しさを体得できるように進めている ○給食指導・歯磨き指導・清掃活動等を通して、健康安全に関する教育を進めたり、性教育や薬物乱用防止教室など、校外からの支援を受けながら指導をすすめている ○登下校時の安全指導も街頭指導なども含めて進めてきた	※地域や関係機関とさらに連携しながら、健康・安全に関する指導を進めていく ※登下校の安全指導の充実や、事件・事故・災害なども含めた危機的な状況が起こった際の対応や指導についてさらなる充実を図る
学年・学級経営	①生徒一人ひとりの良さや可能性を伸ばす計画的・効果的な学年・学級経営を推進する。 ○リーダーの育成に努めるとともに、望ましい人間関係を築かせ、集団の中での自己存在感や帰属意識を実感させる。 ○生徒同士のつながりを意識した学年・学級活動の具体化を図る。 ②見やすい学級便り、適切な家庭訪問、まめな電話連絡そして学級PTAとの連携強化を通して保護者との信頼関係を積極的に築く。 ③学年部会内の連携を密にし、学年間及び教科担任との連携を強化する。	○学年部会の機能を生かし、チームとして連携しながら生徒一人一人の良さを発見し、伸ばすように学級経営を進めた ●学級の課題を全体で考え改善するよう指導をすすめた が、学級の全員員の帰属意識の充実までにはいかなかった ○各学年が協力し、家庭との連携強化に努めた。また学級だよりなども定期的に発行し、保護者との連携に努めた	※一人一人に居場所や活躍の場面のある学校を目指しながら、教職員集団連携を深めながら指導を進める ※思春期の子ども達の心の成長を促す指導を強めていく

項目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
		○学年部会が協力することはもちろん、教科担任との連携をとりながら、学習習慣づくりや生徒指導に努めた	※家庭との連携をより強めていくために、学級PTAのありかたなど、さらに工夫をしていく また、計画的な家庭学習の習慣を構築するため、連携を強化し進める
教育環境整備	<p>①校舎保全を図りつつ、内外の環境整備を充実させ、明るくさわやかな環境づくりを推進する。</p> <p>②図書室およびコンピューター室の利用促進、視聴覚機器の点検・整備と情報教育の充実を図る。</p> <p>③人的環境の充実(教師の服装や言動など)と各教室・職員室内の整理整頓に努める。</p>	<p>○校務補さんや、養護教諭・事務職員等が中心となり、安全点検日を設定し常に校舎内外の環境整備に努めた</p> <p>○町の図書ボランティアのがんばりで図書室の環境整備が進んだ</p>	<p>※子どもたちが過ごしやすい環境整備に努めていく</p> <p>※図書室の整備が進んでいるので、利用の機会がより多くなるように働きかける</p>
特別支援教室	<p>①全教職員の理解と協力により社会的自立に向けた特別支援教育を実施する。</p> <p>②子どもや保護者のニーズを踏まえ、個別支援計画を作成する。</p> <p>③社会性や好ましい人間関係を育む交流学习・共同学習を推進する。</p> <p>④保護者及び関係機関と密接に連携し、信頼に基づく協力体制を確立する。</p>	<p>○特別支援学級の設置はないが、こまり感のある子どもの指導を全教職員が連携しあいながら進めている</p> <p>○特支連と連携しながら、研修に努めている</p>	※今後もこまり感のある子どもの指導を、全教職員が連携しながら、急な状況や場面にも応じることができるよう研修を進めていく

中頼別中学校

学校経営 取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

【教務部の運営計画】

項目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
運営の基本方針	(1)平成24年度学校経営方針を受け、全体的な視点から各分掌・係との連携を図る。 (2)地域の特色や生徒の実態に即した教育計画の策定・推進に努め、本校教育目標の具現化に迫る。	○教育活動全般にわたり、目標達成をめざして、各種提起や運営の調整をすすめた	※より効果的で実りある教育課程の推進に向けて充実を図っていく
運営の重点	(1)新学習指導要領実施にあたり、地域や生徒の実態を見極め、適切な教育課程を編成・実施する。 (2)生徒の実態を把握し、実践的に小学校との連携を強める。 (3)確かな学力の定着に向け、学習支援を実施する。	○小中連携委員会の定例化やチャレンジタイム・プランシートなど、学習支援の取り組みについて推進した	※さらなる学力向上にむけて、具体的な取り組みを推し進める

【生徒指導部の運営計画】

項目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
運営の基本方針	本校「学校教育目標」の具現化を目指し、学校が生徒にとって成就感や達成感を持ち、安全で楽しく過ごせるようにする。また、様々な教育活動を通じて主体性や創造力を育むとともに、感性豊かで思いやりの心の伸長を目指したい。 その達成に向け、あらゆる教育活動の中で主体的な諸活動への支援を進め、生徒との人間的なふれ合いを通し信頼関係を深め、より良い人間関係や自己実現を図る生徒指導の実践を目指す。	○子どもたちの成長を願い、共感的理解を土台に、生徒との信頼関係を育み、教職員集団が互いに連携しあうことで、さまざまな教育活動や生活場面で効果的な指導をすすめることができた	※今年度の財産を次年度へつなげ、さらに教師個人としても組織としても教師力が向上するように働きかけていく
運営の重点	(1)指導体制の確立・充実 迅速な対応ができる指導体制を確立し、全教職員の共通理解を図りながら、より効果的な生徒指導を推進する。 (2)積極的な生徒理解の展開 日々の活動の中で生徒との心のふれ合いを大切にし信頼関係を深めるとともに、受容的・共感的対話を通して、「問題行動」「いじめ」等の早期発見・指導に努める。	○日常的な情報交流や共通理解の場を設定し、全体が指導事項を周知しつつ、全職員が一致した指導ができるように努めた。 ○共感的理解のもと信頼関係の構築がなされた	※チームとしての教職員集団の力量向上と、それを支える個々の教職員の力量向上のため語り合いや研修の場を大事にしていく

項目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
	<p>(3)基本的な生活習慣の育成 日常生活全般にわたって基本的な生活習慣の定着を目指し、他者への思いやりや感謝の気持ちをもたせながら、礼儀やマナーの指導を行う。</p> <p>(4)生徒会活動の充実 生徒会活動の充実を図り自主性・自律性を育て、学校生活をよりよくする態度の育成を図る。</p> <p>(5)家庭・地域との連携 家庭・地域との情報交換を積極的に行うとともに、個に応じたきめ細かな指導の実践に努める。</p>	<p>○自治活動を高めるために、生徒会活動を重視し、住みよい学校づくりに取り組めるよう指導をすすめた</p> <p>○課題が生まれた場合には家庭との連携を大切にし、個や集団に応じた指導をすすめることができた</p>	<p>※生徒会の自治能力を生かした指導を推進し、学級や部活動でも生きる力へと高める</p> <p>※課題だけではなく、よりよく生活するための家庭との更なる連携も重視していく</p>

【事務部の運営計画】

項目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
運営の基本方針	<p>(1)教育目標達成、学校課題解決に向けて、教育条件整備を行う。</p> <p>(2)校内の各担当部署と密接な連携をとり、迅速かつ適正な業務遂行に努める。</p>	<p>○教職員のひとりとして適正な業務のもと、教育条件整備にあたった</p>	<p>※関係者との連携を重視し、継続した取り組みを行う</p>
運営の重点	<p>(1)教育目標の達成のために、全職員の相互理解と協力に基づいた学校事務運営に努める。</p> <p>(2)学校財政の現状を把握し、各担当の要望を十分に考慮しながら財務を行い、学校財政状況の「みえる化」を進める。</p> <p>(3)生徒や保護者・地域・町教委との接点を大切にし、教育・学校事務関係の情報伝達・収集・活用に努める。</p> <p>(4)小学校や町教委と連携をとり、課題解決や学校事務の更なる発展を目指す。</p>	<p>○都度つど予算執行状況等を全体に明らかにしながら、全体への周知や適正な執行に向けて努力した</p> <p>○学納金未納家庭とも連携を密にしながら、納入完了を目指した</p>	<p>※今後も折にふれた情報提供を行い、全体で共有する</p> <p>※今後も学納金未納家庭とは丁寧な連携に努めていく</p>
本年度の重点	<p>(1)町の厳しい財政をふまえながら、教育活動に有効な予算要望に努める。</p> <p>(2)校内の安全点検を推進し、教育環境整備に努める。</p> <p>(3)学校事務に関する情報伝達に努める。 (職員・生徒・保護者など)</p>	<p>○安全点検の実施と環境整備に努めた</p> <p>○厳しい財政ではあるが、教育委員会の努力や予算繰りについても周知し、財源の有効活用のための働きかけや情報伝達を進めた</p>	<p>※安全点検の充実と環境整備の充実に努める</p>

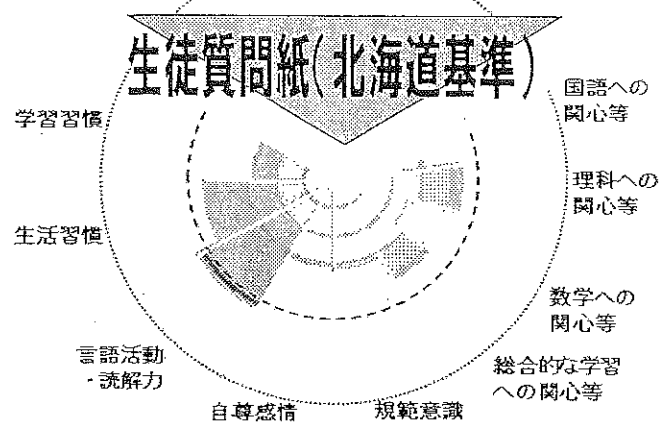
中中生徒の学力を高めていくために ～全国学力・学習状況調査の結果を分析して～

◇平成24年度「全国学力・学習状況調査」における結果の分析と今後の方策について紹介します。

◇すでに新聞などに掲載されているように、今年実施された「国・数・理」の教科において、北海道は、小中ともに、全国平均より低い状況となりました。

◇低い状況ではあっても、先日の日刊宗谷では、礼文中中・高別の児童・生徒が作文コンクールなどで優秀な成績を獲得していることを例にあげ、「学ぶ力は低くはない。学習の積み重ねが大切になる」という社説を載せていました。

◎中中では、この「結果」や「傾向」を分析し、今後も生徒達に基礎・基本となる力を身につけさせながら、自ら学力を高めていけるような「学力向上の対策」に力を入れていきます。今後も家庭や地域のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



◇上のグラフは、生徒への生活質問紙の解答から読み取られた傾向をグラフにしたものです。内側の点線が全道平均を表しています。

◇言語活動・読解力に関わる意識は高いのですが、自尊感情等に対する意識が低く、中でも、学習習慣が特に身につけていないという傾向がうかがえます。



◇国語では、会話などで聞いたことがあるような言葉に関する知識では定着度が高く、実際に文章を読み取ったり、思いが伝わるように書くという点では弱さが見られた。

※この傾向から「日常的な文章を読んだり、書いたりする力」をつけるための学習支援が必要であり、「意見発表会」や今回の「総合学習発表会」のようなものを今後も大事にし、教科でもこのことについて意識的に取り組む学習内容を検討する必要がある。

◇数学では、基本的事項のつまずきが見られ、「関数」では、学習内容の関連や構造を理解させつつ個別にグラフなどの読み取りを支援するなどの指導の充実が求められている。「論証」についても顕著なつまずきがあり、ある程度のパターン学習も必要であることを踏まえ、教師が支援しつつも自ら解き明かしていくような経験を大切にさせたい。また、類似問題に繰り返し取り組ませることで論理的な筋道をたてることに慣れさせることも必要と感じる。

※今後も本校で継続して行っているTT指導や習熟度指導をさらに丁寧に実施し、チャレンジタイムや放課後学習会などを活用して、個別学習や繰り返し学習を取り入れ、基礎的な計算力を高めるなど、ひとりひとりのつまずきの解消を目指していきたい。

◇生活質問紙の分析を文章で表すと、「家庭での会話はあがるが、寝るのが遅く、テレビやインターネットの時間が長い。読書習慣はあり、いじめに対する意識も高く年齢関係なく交流を図れるが、携帯やメールへの依存が大きい。復習など学習をする意識は低く、取り組む時間も1日30分以上学習する生徒が少ない。学校の授業では、話し合いや実験などは意欲を見せるが、苦手意識も高く、できるようになりたいという向上心がなかなかもてない傾向がある。」子ども達のようにすにあてはまっていますか？

◇理科では、比較や説明といった設問は、論理的な考え方に未熟が見られ、答えることが難しかった。また選択問題でも、学習した時期が1年時の場合は、復習不足から理解の定着度がうすれてきている。

※このことから、今一度論理的に検証するような学習を深めることと、復習を中心とした反復的な学習が効果的であると思われる。そのために、個別による指導や集団での討議形式などをとりいれた学習形態を工夫し、チャレンジタイムや学習会、家庭学習等を積極的に活用し、定着力を高めていきたい。

(2) 生きがいとまちづくりを支える社会教育の推進

①社会教育の充実

施策項目	取り組み概要	平成23年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性
成人式運営事業	<p>成人を迎える若人が郷土愛や仲間意識を高め、成人となることの意義を考え、社会人としての責務や役割を十分認識し、更なる飛躍を期待する。</p> <p>【事業内容】</p> <p><平成23年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人式 1月8日 該当者14名、出席者12名 本を1冊贈呈 ※「20歳の20冊」事業 父母への感謝の言葉 父母からのお祝いの言葉 <p><平成24年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人式 1月13日 該当者11名、出席者5名 本を1冊贈呈 ※「20歳の20冊」事業 父母への感謝の言葉 父母からのお祝いの言葉 放課後子ども教室から絵手紙プレゼント 	<p>○成人となることの意義を考え、社会人としての責務や役割を認識するよい機会になった。</p> <p>●地域全体で成人を祝う機運の醸成が望まれる。</p> <p>◇地域全体で成人を祝う機運の醸成に向け、式典の内容についてはさらに工夫をする。</p>	<p>○父母からの感謝の言葉、お祝いの言葉では直接言葉で伝えられなかった想いが綴られていた。</p> <p>平成24年度には放課後子ども教室での協力によりメッセージ入り絵手紙を贈呈でき、祝う気持ちの込められた式典となった。</p> <p>●これまでの実施日では、該当者の学校や仕事の都合で欠席される方が多い。</p> <p>◇実施日の見直しと、地域の関わりを検討する。</p>
青年講座運営事業	<p>地域の青年（個人・グループ）が、青年同士の交流を図り、地域活動の活性化を目的とするが、事業の実施には至っていない。</p>	<p>●青年層が少なくなってきたため、対象者も含め事業内容の検討が必要である。農業青年や商工会青年部同志の交流や連携など、地域づくりにつながる事業の工夫が必要である。</p> <p>◇本町の未来を担う若者の連携協調の必要性や具体的な行動に向け、各青年団体との連携を模索する。</p>	<p>●具体的な取り組みができていない。</p> <p>◇実態把握を行い青年活動の組織化に向け、関係機関と連携して取り組み方法を検討する。</p>

施策項目	取り組み概要	平成23年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性
女性教育 運営事業	<p>女性として豊かな人生を過ごすため、自主的な学習を高めると共に、地域社会における住民相互の交流を深め、住みよい環境づくりを目指す。</p> <p>【事業内容】</p> <p><平成23年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町外視察研修 7月5日(名寄方面) ・新年会(芸術鑑賞) 1月24日 <p><平成24年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町外視察研修 6月27日 ・中1総合学習思い出マップ ・中小親子ふれあい広場 11月18日 ・異世代交流 12月15日 ・放課後子ども教室 12月26日 ・新年会 1月29日 	<p>○上駒女性学級を開催し情報交換等を行った。また、町外視察を行い参加者同士の交流が深まった。</p> <p>●現在、女性学級は1学級のみであり、今後の女性教育の取り組みのあり方を検討する必要がある。</p> <p>◇女性の自主的な学習を高めることと、住民相互の交流を深めるためにも引き続き事業を継続していきたい。</p>	<p>○教育支援活動の一環として放課後子ども教室などで児童とおやつ作りや餅つきといった活動を広めている。</p> <p>●1学級の取り組みに止まっており幅広い年代の活動となる取り組みになっていない。新しい取り組みのあり方について引き続き検討する必要がある。</p> <p>◇女性教育の在り方について調査検討し、ニーズに合わせた取り組みを検討していく。</p>
高齢者教室「寿大学」運営事業	<p>学習と思考を重ね、能力や健康増進に自信を深めるとともに、共同学習による交流を深め、趣味や娯楽などのサークル活動を通じて、自ら活動する。</p> <p>【事業内容】</p> <p><平成23年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学式(4月15日) ・道内研修(6月23・29日) 下川町 ・修学旅行(9月29日～30日) 当麻町・天人峡・旭川市 ・卒業式(3月28日) <p><平成24年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学式(4月13日) ・町外研修(6月28日、7月12日) 名寄市 ・修学旅行(8月22日～23日) 網走市、斜里町 ・教養講座(12月15日、2月15日) ・異世代交流(12月15日、2月20日) ・卒業式(3月18日) ・各種サークル活動 	<p>○共同学習による交流を深め、趣味や娯楽などのサークル活動を通じて仲間意識を高め、高齢者の生きがいづくりの一つとなっている。</p> <p>●多くの高齢者が参加しやすい環境をつくっていく必要がある。</p> <p>◇高齢化が進む本町において、寿大学が行う学習会活動や交流活動は、高齢者の方がいきがいをもって暮らすための活力となるよう継続していく。</p>	<p>○従来の活動に加えて、児童との異世代交流に参加し、昔のあそび、オセロなど行った。</p> <p>●学び、交流の場として多くの高齢者が参加できるための内容充実が必要である。</p> <p>◇活動内容を提案し、内容の充実を図るほか、成果の発表する場の確保、地域との関わりを考えた取り組みを進める。</p>

施策項目	取り組み概要	平成23年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性
社会教育委員会運営事業	<p>社会教育委員は、社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言するための職務を行う。</p> <p>【事業内容】</p> <p>＜平成23年度＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員会会議 第1回 5月13日 第2回 10月7日 ・管内社会教育委員会会議の参加 5月11日 1名 ・文化スポーツ表彰選考委員会 10月29日 (2個人、2団体の表彰) <p>＜平成24年度＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員会会議 第1回 5月10日 第2回 10月11日 第3回 3月28日 ・文化スポーツ表彰選考委員会 10月11日 (8個人、1団体の表彰) 	<p>○地域住民の自発的な生涯学習活動事業内容や実施方法等について協議検討し、効果的に指導や支援を行う環境整備を図ることに繋がった。</p> <p>●住民ニーズをよりの確に把握し、社会教育行政に反映していく。</p> <p>◇社会教育委員は社会教育法の規定に基づくものであり、委員と行政さらには委員間の情報交換の場として、充実させる。</p>	<p>○社会教育事業の節目ごとに会議を開催し、事業内容の審議を行ってきた。</p> <p>●会議の進め方を検討する必要がある。</p> <p>条例の見直しをする必要がある。</p> <p>◇委員からの助言をいただけるよう会議進行の再考するとともに、学習機会を提供していく。</p>
各種研修派遣事業	<p>団体やサークルが自主的に活躍するため、各種研修会や会議に派遣し団体やサークルの指導者を養成し、継続的な活動を推進する。また、自主的な生涯学習活動やまちづくり活動を図れるよう個人指導者や団体やサークルの育成を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管内社会教育主事研修 5月16日～17日 1名 ・全道社会教育主事等研修 6月1日～3日 1名 	<p>●各種研修会や会議への派遣ができていないこともあり、更なる指導者発掘と養成に至っていない。</p> <p>◇団体・サークルの自主的な活動推進のため、各種研修会や会議に派遣し、指導者の発掘と養成を図っていく。</p>	<p>●各団体やサークルの指導者育成の研修に派遣できておらず、指導者発掘と養成に至っていない。</p> <p>◇前年と同様</p>
車両維持管理事業	<p>社会教育事業推進のため使用する車両の維持管理を行う。</p> <p>＜平成23年度＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両購入 スポーツ巡回ワゴン車 	<p>○社会教育領域及び学校教育において有効に活用された。</p> <p>◇今後も有効活用に支障をきたさないように車両の適切な維持管理に努めていく。</p>	<p>○前年と同様</p> <p>◇前年と同様</p>

施策項目	取り組み概要	平成23年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性
管内生涯教育推進協議会運営負担事業	<p>管内の生涯学習推進関係者や社会教育関係者等がその実践や研究協議を開催し、管内の生涯学習情報の収集と生涯学習関係者の資質の向上を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 管内会議及び研修会の開催推進協議会 第1回4月12日第2回7月14日 <p>【負担金】</p> <p><平成23年度></p> <ul style="list-style-type: none"> 負担金 30,000円 <p><平成24年度></p> <ul style="list-style-type: none"> 負担金 30,000円 	<p>○成果●課題◇今後の方向性</p> <p>●専門的な視点から管内の情報交換を行う機会が減少しているため、情報交換を行う場としてさらに連携を深める必要がある。</p> <p>◇管内の生涯学習状況の把握と連携及び生涯学習関係者の資質の向上を図るため情報交換に努める。</p>	<p>○成果●課題◇今後の方向性</p> <p>●前年と同様</p> <p>◇管内の生涯学習状況の把握と連携、情報交換を通し、生涯学習関係者の相互の情報共有によって資質向上に努める。</p>
町民センター運営維持管理事業	<p>地域住民のコミュニティ活動の拠点として施設の維持管理運営を行い、地域活動や生涯学習・まちづくり活動、各種団体サークル等の活動支援を図る。</p> <p>別紙「利用状況」を参照</p>	<p>●公共施設の中で、さらに有効な施設運営のあり方を検証するが必要である。多額な経費がかかっている施設であり、今後の維持管理も含めて協議が必要である。</p> <p>◇今後も地域コミュニティの活動拠点として機能していく施設であり、管理運営のあり方を検討する。</p>	<p>●施設の老朽化が進み、修繕の必要な個所が確認されている。また、冬期間の暖房費を始め電気料などのコストが高額となっている。</p> <p>◇前年と同様</p>
郷土資料館及び青少年柔剣道場運営事業	<p>本町開拓の歴史的経過と先人の事業を知り後世に伝えるため、郷土に関する資料の保存と展示をしている。</p> <p>健康で文化的生活を築くために柔剣道場及び図書室、研修室を活用し、青少年の健全育成を図る。</p> <p>○柔剣道場利用団体 剣道少年団、柔道少年団、カンフー教室</p> <p>○研修室利用団体 絵手紙サークル等</p> <p>別紙「利用状況」を参照</p>	<p>○郷土資料館及び青少年柔剣道場の維持と図書室管理運営を行い、図書ボランティアとの連携により、絵本の読み聞かせ事業を行うなど、図書室の利用促進を図った。</p> <p>●郷土資料館の本町の紹介ビデオは開設当時のままであり、改善が必要である。</p> <p>◇適切な維持管理に努め、それぞれの施設の利用促進に努める。</p> <p>柔剣道場は軽スポーツでも活用できるため、利用促進を進めていく。</p>	<p>○施設の運営管理のほか、図書室の運営では図書ボランティアの協力で、購入図書の見直しや図書まつりなど活用促進のための活動を実施した。</p> <p>●郷土資料館の展示方法などを改善する必要がある。</p> <p>◇利用しやすい学びの場として充実を図っていく。</p> <p>柔剣道場の利用促進を進める。</p>

施策項目	取り組み概要	平成23年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性
なかとんべつ子ども読書プラン事業	<p>子どもがたくさんの本と出会う機会を保障し、そのために必要な環境を計画的に整備することを目的に平成22年に「中頓別町子ども読書プラン」を策定し、絵本の読み聞かせなどの活動を推進している。</p> <p>【事業内容】</p> <p><平成23年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進会議 4月26日 ・担当者会議 4月21日 7月12日、11月30日 ・絵本読み聞かせ講習会の開催 3月13日 7名 ・オーサービジット講演会 1月25日 小学1・2年生、図書ボランティア ・ブックスタート事業（いきいきふるさと推進事業）での読み聞かせ 5月、8月、11月、2月（年4回） ・図書室での読み聞かせ <p><平成24年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進会議 4月23日 ・担当者会議 6月18日 ・としまつりの開催（年4回） ・ブックスタート事業での読み聞かせ 5月24日、8月23日、11月15日、2月21日（8名） ・図書室での読み聞かせ 	<p>○子どもたちがたくさんの本に出合える環境を整えてきており、豊かな心を育み、成長を地域全体で見守る取り組みが図られた。</p> <p>●読書活動が定着するよう各機関の連携をさらに深め実施する必要がある。</p> <p>◇幼児期からの健やかな子ども達の成長を育むため、関係者及び町民が共通理解をして取り組めるようにする。</p>	<p>○図書ボランティアの協力により、小・中学校図書室の整理が行われるほか、従前の取り組みにも協力が得られた取り組みとなっている。</p> <p>●ブックスタート事業でのプレゼント本の在庫種類が少なかった。</p> <p>◇プレゼント本の提供方法を見直しと工夫を行う。 絵本を通して、幼児期からの親子のコミュニケーションの一つとして役立てていただけるよう、関係者及び町民が共通理解により取り組めるようにする。</p>
多目的集会施設維持管理事業	<p>小頓別地区住民のコミュニティー活動の場として活用され、施設の維持管理を地域自治会に委託している。</p> <p><平成23年度> 委託料 120,000円</p> <p><平成24年度> 委託料 120,000円 別紙「利用状況」を参照</p>	<p>●地域の衰退と高齢化が進み、利用頻度も少なくなっている。</p> <p>◇当面の間は地域コミュニティ活動の拠点として存続し施設の維持管理を行っていくが、今後の施設のあり方も含め検討していく。</p>	<p>●前年度と同様</p> <p>◇前年度と同様</p>

施策項目	取り組み概要	平成23年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性
創作活動 施設運営 管理事業	中頓別町らしい個性豊かな芸術文化の発展のため、地域や職場、団体サークルの創作活動の拠点として積極的な活用を図る 別紙「利用状況」を参照	○団体サークルによる創作活動の拠点として活用された。 ●活用する団体が減少傾向にある。 ◇各団体及び町民のニーズ把握をするなど今後の活用に向けた利用促進の検討をしていく。	○前年度と同様 ●定期的な利用団体があるものの全体を通して利用団体が減少している ◇各団体及び町民のニーズ把握をするなど今後の活用に向けた利用促進の検討をしていく。個別利用の促進も視野にニーズ把握を行う
英会話教室運営事業	ALT（英語指導助手）による英会話教室を開催し、英会話力の向上及び異文化交流を深める。 毎週 火曜日 13:30～15:00 金曜日 10:30～12:00 英会話教室登録者数 5名	○外国の文化に関心をもつことより異文化交流につながっている。 ●参加者が少ない。広報等を活用し、町民の参加を促す必要がある。 ◇その他の事業と関連付けるなどのアプローチを考え、異文化や英会話に関心を持たせる取り組みを検討する。	○参加者は少ないが、外国の文化に関心をもつことより異文化交流につながっている。 ●興味関心が持てるような内容の工夫や広報等を活用し、町民の参加を促す必要がある。 ◇異文化交流や英会話とその他の事業と関連付けるなどアプローチを工夫し、異文化や英会話への関心を高める取り組みを検討する。

②社会体育の充実

施策項目	取り組み概要	平成23年度	平成24年度
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性
社会体育 推進事業	各スポーツ団体等の活動を支援し、スポーツ振興と活性化、健康づくりを図ることを目指す。 【事業内容】 ・スポーツ巡回車(26人乗り)の維持管理 ・スポーツ安全保険レクリエーション保険の手続き等	○スポーツ巡回車は学校教育領域も含め有効に活用された。 ●スポーツ用具等が老朽化しており、更新していく必要がある。(歩くスキーなど) ◇町民の体力づくり、健康づくりの視点からスポーツ推進を図っていく。	○スキー利用増の一端として各家庭で使用しなくなったスキー用品のリサイクルを実施し、多数の用品を確保できた。 ●子供用品の提供が少なかった。 貸し出し用の用具が老朽しているので、更新計画をまとめる必要がある。 ◇スポーツを通じた取組みを行なう
スポーツ 推進委員 会運営 事業	スポーツの推進のため、住民に対しスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行う。 【事業内容】 スポーツ推進委員会の開催 <平成23年度> 第1回 5月27日 第2回 8月30日 第3回 12月16日 第4回 2月24日 <平成24年度> 第1回 4月26日 第2回 6月8日 第3回 8月6日 第4回 2月4日 第5回 3月15日	○各種スポーツ大会への協力や町民のスポーツ推進のため、定期的にスポーツ推進員会議を開催するなど協調関係が図られた。 ●スポーツ推進に向けさらに委員会活動を活性化する。 ◇町民の体力づくり、健康づくりに向けた推進役としての機能を発揮するような機運を醸成する。	○定期的なスポーツ推進員会議での意見交換により、工夫した事業を展開することができた。 ●スポーツ推進に向け、事業展開の反省を踏まえ、実践に向けて活動を活性化する。 ◇スポーツ実技の指導や助言をおして、町民の健康づくりや体力づくりの推進役として活動を継続する。

施策項目	取り組み概要	平成23年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性
町民各種スポーツ大会等運営事業	<p>各種スポーツ大会等を通して、本町のスポーツの推進を図り、町民の健康増進と体力向上を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p><平成23年度> (主催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民ソフトボール大会 7月17日 8チーム 94名 ・町長杯パークゴルフ大会 5月7日 一般男子 39名、一般女子 8名 計 47名 ・教育長杯室内ゲートボール大会 3月27日 3チーム 15名 (後援) ・町民ミニバレー大会 2月29日 6チーム 30名 ・夏休みラジオ体操会 7月25日～8月3日 <p><平成24年度> (主催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町長杯パークゴルフ大会 5月12日 一般男子 31名、一般女子 13名 計 44名 ・町民ソフトボール大会 7月8日 7チーム 90名 (後援) ・夏休みラジオ体操会 7月26日～8月4日 延べ約 800名 ・町民ミニバレー大会 3月27、29日 7チーム 32名 	<p>○各種スポーツ大会を開催し、本町のスポーツ推進と町民の健康増進、体力向上に寄与した。</p> <p>●日常的な体力向上や健康づくりの視点からのスポーツ推進が望まれる。</p> <p>◇大会の運営については、関係者及び参加者の協力が不可欠であり、今後も協力協調関係を大切にして取り組むこととする。 また、保健福祉領域との連携を検討する。</p>	<p>○各種スポーツ大会等の開催をとおして、町民の健康・体力づくり、仲間づくりに成果があった。</p> <p>●生涯スポーツの視点から、日常的な体力向上や健康づくりにつながるような新しいスポーツ種目を取り入れるなどスポーツ推進が望まれる。 種目によって参加者の固定化が見られ幅広い参加にならなかった。 ◇だれもが参加できるように大会運営となるよう関係団体と協議し、一人でも多い参加となる工夫をする。 また、健康づくりの視点から保健福祉領域との連携を検討する。</p>

施策項目	取り組み概要	平成23年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性
冬季スポーツ教室等運営事業	<p>冬季スポーツを通して、運動不足の解消、健康増進と体力向上を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p><平成23年度> (主催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般スキー教室 1月28日、29日 2月4日、18日、19日、25日 初心者コース2名、検定を目指すコース9名 計11名 ・少年少女スキー教室 1月12～14日 45名 ・歩くスキー教室 1月25日、2月1日、8日、14日、22日 16名 ・町民スノーフェスティバル 3月4日 59名 ・キッズスキー教室 2月18日、19日 就学前4名 ・スノーボード教室 5名 2月4日、12日 <p>(後援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアアルペンスキー大会 1月9日 22名 <p><平成24年度> (主催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアアルペン教室 1月19日、20日、27日 2月9日、17日、19日 初心者コース5名、検定を目指すコース2名 計7名 ・少年少女スキー教室 1月9～11日 56名 ・歩くスキー教室 9名 2月6日、12日、19日、26日、3月5日 ・キッズスキー教室 2月16日、17日 就学前5名 ・スノーボード教室 3名 2月16日、17日 ・町民スノーフェスティバル 3月3日 悪天候のため3月10日に延期するも悪天候とインフルエンザ流行のため中止 <p>(後援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアアルペンスキー大会 1月14日 18名 	<p>○参加者少なかったが、幼児向けのスキー教室やスノーボード教室など新たな取り組みも実践できた。</p> <p>●小中学生のスキー場の利用は少ない状況が続いており、取り組み方や料金体系等総合的な見直しを図る必要がある。</p> <p>◇幼児期からスキーをはじめ、雪に親しみ、体力・健康づくりに生かすことができるよう取り組みの工夫を関係者の協力で行う。</p>	<p>○幼児向けのスキー教室とスノーボード教室の取り組みは、2年目となり、初心者が参加しやすい実践ができた。</p> <p>●キッズスキーやスノーボード教室の取り組みが定着するように指導者の確保や参加者の広がりを持つようにさらに工夫する必要がある。</p> <p>◇幼児期から高齢者までがスキーや雪に親しみ、スキー技術の向上や健康体力づくりにつながる事業になるよう関係者相互の協力と連携により、工夫した事業の取り組みを行う。</p>

施策項目	取り組み概要	平成23年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性
スポーツ少年団本部運営補助事業	<p>町内のスポーツ少年団の円滑な運営を図るとともに団員のスポーツ技術の向上と青少年の健全育成、各団体相互の親睦を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p><平成23年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・団員47名（野球7名、剣道8名、柔道10名、卓球23名） ・結団式（5月7日）40名、解団式（10月15日）35名 ・体力テスト会の開催 <p><平成24年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・団員45名（野球5名、剣道10名、柔道8名、卓球22名） ・結団式（5月12日）45名、解団式（3月20日）52名 ・体力テスト会の開催 	<p>○スポーツを通じて、団員の心身ともに成長する支援に繋がった。</p> <p>●児童数の減少や、競技性スポーツへの取り組みの弱さからか、活動の継続が難しい団体も出てきている。</p> <p>◇子ども達の健やかな成長に欠かせないスポーツの取り組みが継続して行えるよう、新たな指導者の発掘や、保護者との協力関係を密にしている。</p>	<p>○スポーツを通じて、団員の精神、技術、体力の向上と成長への支援に繋がった。</p> <p>新たな少年団活動となるよう関係者と打ち合わせをし、フットサル少年団が活動することになった。</p> <p>●児童数の減少によって、町外との連携によって団体を存続させるなど、活動の継続が難しい団体があり、さらに支援協力を図る必要がある。</p> <p>◇各少年団の連携を深くし、健やかな成長に欠かせないスポーツの取り組みが継続して行う。</p> <p>新たな指導者の発掘や育成、保護者との協力関係を引き続き密にしている。</p>
学校開放事業	<p>学校体育館を開放し、町民のスポーツ活動を支援する。</p> <p>主な利用団体</p> <p>サッカー協会、バスケットボール協会、スポーツしない会、卓球スポーツ少年団</p> <p>別紙「利用状況」を参照</p>	<p>○スポーツ活動での利用が高まってきている。</p> <p>●個人利用を含め柔軟な利用拡大が求められている。学校との協力関係をもちながら、さらに利用希望者のニーズに答えていく。</p> <p>◇学校との協力関係をもちながら、さらに利用者希望者のニーズに答えていく。</p>	<p>○多種目のスポーツを取り組む団体活動を通して、利用が高まり、活動が活性化してきている。</p> <p>●個人や団体の利用者が利用しやすい環境になるよう、柔軟な施設利用に繋がる工夫が求められている。</p> <p>◇学校の理解と協力を得ながら、学校体育館の利用を継続させていただき、スポーツをとおして、町民の健康・体力づくりに寄与していく。</p>

施策項目	取り組み概要	平成23年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性
各種スポーツ団体支援事業	<p>各団体、サークル等が主催する大会において、教育委員会が後援し、スポーツ振興に寄与する。</p> <p>【事業内容】</p> <p><平成23年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5回中頓別町長杯争奪宗谷陸地町村ゲートボール大会 6月23日 参加チーム95名 ・宗谷地区ジュニアアルペン競技大会 1月9日 22名 ・第5回寿アルペンカップ競技大会 2月5日 49名 <p><平成24年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・宗谷地区ジュニアアルペン競技大会 1月14日 18名 ・第5回寿アルペンカップ競技大会 2月3日 37名 	<p>○各スポーツ団体やサークルが主催する大会の後援と合わせ、人的支援も行いスムーズな大会運営に寄与することができた。</p> <p>◇全体のスポーツ推進につながることから、教育委員会が町体育連盟やスポーツ推進委員などの関係機関を含めた調整を図りながら支援をしていく。</p>	<p>○各スポーツ団体やサークルが主催する大会の後援だけでなく、大会運営に人的支援を行なうことができた。</p> <p>◇全体のスポーツ推進につながることから、教育委員会が町体育連盟やスポーツ推進委員など、関係機関を含めた連絡調整を図り、引き続き支援をしていく。各団体の大会充実に向けて、連携を図り効果的な運営につなげていく。</p>
社会体育施設運営事業	<p>町民体育館は、町内で活躍しているスポーツ団体やサークル、愛好団体のスポーツ活動の拠点として提供している。また、学校の部活動としても活用され、多くの団体やサークルに利用されている。</p> <p>別紙「利用状況」を参照</p>	<p>○スポーツ団体やサークル、スポーツ愛好会の活動に活用されスポーツ推進につながった。</p> <p>●施設の老朽化に伴い冬季間の利用における暖房が課題である。</p> <p>◇町民のスポーツを通して健康体力づくりに欠かせない施設であり、今後の整備計画が急がれる。</p>	<p>○スポーツ団体、サークル、愛好会などスポーツ活動を通して、町民の健康・体力づくりに寄与している。</p> <p>●前年と同様</p> <p>◇前年と同様</p>

施策項目	取り組み概要	平成23年度 ○成果●課題◇今後の方向性	
山村プール運営事業	<p>学校授業や子どもから大人までの水泳技能や水中運動による健康体力づくり、子どもたちの活動の場となっている。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山村プール内外の環境整備 ・施設の維持管理 ・水質管理と利用者への安全確保 ・夜間開放 <p>別紙「利用状況」を参照</p>	<p>○夏期間に限られるが、学校授業や一般町民の利用が図られ、健康体力づくりにつながった。</p> <p>●施設が老朽化してきており、屋根シート・機器・備品の改修が急務である。</p> <p>◇上屋シートの改修や機器維持管理など必要となる整備計画を樹立し、整備することが急務となっている。</p>	<p>○新しい事業の取り組みとして、親子水泳教室を開催し、初心者が参加しやすい事業展開ができた。学校授業や一般町民の利用が図られ、健康体力づくりにつながった。</p> <p>●施設が老朽化してきており、温水シャワー（ボイラーの改修）・機器・備品の改修が急務である。</p> <p>◇施設の改修や機器の維持管理など整備計画を樹立することが必要である。</p>
寿野外レクリエーション施設事業	<p>町の社会教育施設の管理を平成18年度から指定管理として中頓別振興公社に管理委託している。利用者の意見や意向、ニーズを把握しながら、有益で地域住民の憩いの場として、円滑・効率的な運営管理を図っている。</p> <p>【指定管理施設】</p> <p><平成23年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中頓別町寿スキー場 リフト輸送人員 12月 3,400人、1月 23,956人、2月 12,889人、3月 4,167人 計 44,412人 ・ふれあいスポーツ広場 ・寿パークゴルフ場 町内 342人、町外 532人 シーズン券 76件 <p><平成24年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中頓別町寿スキー場 リフト輸送人員 12月 5,648人、1月 2,772人、2月 13,793人、3月 2,287人 計 24,500人 ・ふれあいスポーツ広場 ・寿パークゴルフ場 町内 342人、町外 532人 シーズン券 75件 	<p>○公共的な事業の利益追求ではなく、民間的手法を実施することでコストの低減が図られている。</p> <p>●スキー場をはじめ施設の老朽化に伴う維持修繕計画が急がれる。</p> <p>町内町外料金の撤廃など全体的な見直しが急がれる。</p> <p>◇施設整備計画の樹立が急務である。</p> <p>利用拡大に向けた取り組みとあわせ、将来的な見通しを立てて方針を明確にしている。</p>	<p>○民間的手法を実施することでコストの低減が図られている。</p> <p>●冬季スポーツ推進の拠点となる寿スキー場の町内外の利用者拡大に向けて、事業の取り組みや展開の工夫が必要である。</p> <p>◇前年と同様</p>

③地域文化の振興と文化財の保護

施策項目	取り組み概要	平成23年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性
町民文化推進事業	<p>地域の個人・団体サークルや、町内各学校における日頃の文化活動や学習成果の発表を通じ、それぞれの活動を知ることや、お互いの交流を深める。また、地域的に優れた芸術文化に接する機会が少ないため、優れた芸術作品に接する鑑賞機会を設ける。</p> <p>中頓別町の文化及びスポーツの振興発展に寄与し、特に実績の顕著な方の表彰に関する必要な事項を定め、中頓別町の文化及びスポーツの普及振興に資することを目的とする。</p> <p>【事業内容】</p> <p><平成23年度></p> <p>○町民文化祭 10月28日～30日</p> <p>○芸術文化公演 10月29日 柴田三兄妹「三味線」</p> <p>○文化スポーツ表彰 10月29日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化功労賞～荒木謙蔵氏 陶芸サークル ・スポーツ功労賞～佐藤寿美夫氏 ・スポーツ優良賞～中頓別町パークゴルフ協会女子チーム <p><平成24年度></p> <p>○町民文化祭 11月2日～4日</p> <p>○芸術文化公演 11月4日 劇団さっぽろ「五感で楽しむ短編演劇集」</p> <p>○文化スポーツ表彰 11月3日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化奨励賞特別表彰 小林奈々子氏 ・文化優秀賞 森川雅也氏 ・文化優良賞 中学校文化部 ・スポーツ奨励賞特別表彰 中頓別町ゲートボール協会 佐々木至郎氏 ・スポーツ優秀賞 中原章子氏 ・スポーツ優良賞 森川亮太氏 山田海氏 菅原佳紀氏 	<p>○町民文化祭では、日頃実践している文化活動の成果を一堂に会し発表し、本事業を通して文化に親しみ、活動への理解を深めている。</p> <p>●毎年の参加者がほとんど変わらない状況となっている。今後、新しい取組についても発表できる機会となるよう、さらに工夫が必要と思われる。</p> <p>◇少子高齢化もあり、文化活動の継承が難しくなってきたり、団体も増える傾向にある。町民の日常的な文化活動の推進に向けた取り組みを検討する。</p>	<p>○町民文化祭実行委員会としての2年目の取り組みとなり、芸術鑑賞事業では、子どもから高齢者まで楽しめる人形劇やマジックショー、大人向けの演劇公演など内容を工夫。また、従来の展示のみだけでなく、図書ボランティアによる人形劇など内容を工夫し、だれもが文化に親しみをもてるような活動への理解を深めている。</p> <p>●参加者の固定化につながらないよう、新しいサークルへの参加呼びかけや文化祭での催しの内容を見直すなど、だれもが、参加しやすい取り組みになるようさらに工夫が必要である。</p> <p>◇伝統文化の継承につながるよう文化祭の取り組みを通して、団体やサークル化を図るきっかけとなるような事業や、教室を開催するなど、取り組み方法の工夫が必要である。</p>

施策項目	取り組み概要	平成23年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性
巡回小劇場公演運営事業(児童生徒芸術鑑賞事業)	<p>日頃、舞台芸術を鑑賞する機会が少ない地域の児童・生徒を対象に学校体育館等の身近な会場で舞台芸術を鑑賞する場を提供し、次代を担う児童・生徒の豊かな感性や個性を育むとともに、芸術文化を理解し、大切にする心を養うため、北海道巡回小劇場と共催して事業を実施する。</p> <p>【事業内容】 <平成23年度> ・10月5日 マテリアルカルテット(5重奏団)</p> <p><平成24年度> ・8月30日 ミュージカル「セロ弾きのゴーシュ」</p>	<p>○巡回小劇場公演を開催することで、次代を担う児童・生徒の豊かな感性や個性を育むとともに、芸術文化を理解し、大切にする心を養うことにつながった。</p> <p>●町民にとって、本物の芸術文化に接することは大変有意義なため、より多くの参加者を対象としたい。</p> <p>◇北海道巡回小劇場との連携を図りながら、小中学生を中心としながらも、多くの町民が鑑賞できるよう周知等に工夫する。</p>	<p>○巡回小劇場の公演をとおして、芸術文化への興味関心を高め、学芸会や学校祭への取り組みに意識を高める機会となった。</p> <p>●町民の方々の興味関心のある演目となるよう、事業実施に向けた取り組み方法の工夫が必要。</p> <p>◇小中学生を中心としながらも、引き続き多くの町民の方々の参加に向けて、周知等の工夫をする。</p>
各種文化団体支援事業	<p>各団体、サークル等が主催する大会において、教育委員会が支援し、文化スポーツ振興に寄与する。</p> <p>【事業内容】 <平成23年度> ・道民芸術際(詩吟)大会 9月25日 54名</p> <p><平成24年度> ・道民芸術祭「絵画展」の開催 12月11~16日 絵手紙サークル 45作品、 枝幸町から6作品</p>	<p>●各文化団体やサークル活動の活性化に向け、検討していく必要がある。</p> <p>◇各文化団体やサークル団体の活動の活性化を図るために活動実態や課題を把握し、本町における文化活動の継承が図られるような取り組みを検討する。</p>	<p>●伝統文化の継承につながるよう事業の展開に工夫が必要である。</p> <p>◇各文化団体やサークル団体の活動活性化を図るため、文化活動の継承とサークル化が図られるような取り組みを検討する。</p>
文化財保護委員会運営事業	<p>本町の区域内に所在する文化財(国又は道の指定するものを含む)の、保全及び活用のため必要な措置を講じ、文化財の保全保護と活用に資する。</p> <p>【事業内容】 文化財保護委員会 <平成23年度> ・第1回 10月13日 4名 ・第2回 3月5日 5名</p> <p><平成24年度> ・第1回 7月18日 4名 ・第2回 2月27日 4名</p>	<p>○本町の文化財的資源の保全や活用を協議検討することにより、文化財的資源の保全保護及び活用の推進につながった。</p> <p>●国の登録有形文化財「旧丹波屋旅館」の将来的な保全が課題となっている。</p> <p>●鍾乳洞については新たな洞窟の保存に向けた取扱いが課題となっている。</p> <p>◇国の登録有形文化財「旧丹波屋旅館」については、国に登録申請した関係から、所有者の理解と全町的な合意形成を図る。 鍾乳洞の新洞については、ジオパーク構想との連携調整を図りながら、方向性を見出す。</p>	<p>○本町の文化財的資源の保存や活用について、検討と協議により、前年と同様、文化財的資源の保存と保護、活用推進につながった。</p> <p>●前年と同様</p> <p>●前年と同様</p> <p>◇前年と同様</p>

平成23年度学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業実績

【学校支援地域本部事業】

1. 学校活動への支援活動

①中頓別小学校

事業	開催日	場 所	内 容	人数	
総合学習 「中頓別探 検隊」	5月27日	敏音知	敏音知の山の木と花に学ぶ 敏音知の山菜に学ぶ	65	
	6月14日	敏音知	敏音知の温泉施設に学ぶ 敏音知の化石に学ぶ		65
	9月20日	敏音知	「中頓別探検隊」追体験	65	
			敏音知の山と木と花に学ぶ		
敏音知の山菜に学ぶ					
敏音知の温泉施設に学ぶ 敏音知の化石に学ぶ					
1年生 生活科学 習	2月7日	小学校	伝承遊びを教えてください、一緒に遊ぼう ①お手玉 ②あやとり ③けんだま ④紙でっぼう	12	
1・2年生 絵画授業	9月30日	小学校	町民文化祭にむけての絵画授業 (動物の支援・・・ウサギ、ヤギ)	27	
2年生 社会見学	12月2日	敏音知道の駅 そうや自然学校	社会科で公共施設の見学	15	
3年生 社会見学	9月13日	中頓別農協スー パー・セイコーマート 中頓別店	「買い物くらべ」の学習で中頓別農協スー パーとセイコーマート中頓別店の見学支援	15	
	9月21日				
	12月9日	石橋牧場	「酪農の仕事調べ」の学習で石橋牧場の 見学支援	15	
4年生 社会見学	2月10日	郷土資料館	「さぐってみよう昔の暮らし」の学習で郷土 資料館の見学支援	15	
	5月18日	枝幸警察署中 頓別駐在所	「安全な暮らしとまちづくり」の学習で中頓別 警察官駐在所の見学支援	16	
	6月17日	枝幸警察署中 頓別駐在所	「安全な暮らしとまちづくり」の学習で中頓別 警察官駐在所の見学支援	16	
	7月8日	中頓別浄水場・ 中頓別町下水 道管理センター	「健康な暮らしとまちづくり」の学習で中頓別 浄水場と中頓別町下水道管理センターの 見学支援	16	
	9月27日	一般廃棄物埋 立処理施設	「健康な暮らしとまちづくり」の学習で一般廃 棄物埋立処理施設の見学支援	16	
3～6年生 毛筆大会	11月18日	郷土資料館	「昔の暮らしとまちづくり」の学習で郷土資 料館の見学支援	16	
	12月6日	小学校	毛筆の講師派遣支援	65	
	7日				
	スキー授 業	1月18日～ 2月14日	寿スキー場	スキーの指導	93
	カルタクラ ブの指導	5月11日	小学校	百人一首の指導	9
7月13日					
9月14日					

親子ふれあい広場	9月11日	小学校 ゆめくらぶ	① 指編み ② 紙飛行機 ③ 陶芸 ④ 木工クラフト(表札づくり) ⑤ ペーパークラフト ⑥ 畳コースター	107
学校環境整備活動	5月11日 26日	小学校	トラクター・耕耘機を使って畑おこし支援	

②中頓別中学校

事業	開催日	場 所	内 容	人数
1年生 総合学習 「思い出マップ作り」	7月7日	松音知…藤田宅、敏音知…敏音知コミュニティセンター、上頓別…長寿園	思い出マップ作成のため、地域の高齢者に聞き取り調査支援	15
親子ふれあい広場	11月3日	中学校	どら焼きケーキ クリスマスリース ペーパークラフト いも団子、カボチャ団子	68
職場体験授業	11月1日 2日	町内各企業	企業において職場体験	12

2. 講演会の開催

①子育て講演会

開催日	平成24年2月8日
場 所	町民センター
参加人数	42名
内 容	子育て講演会「子育て中の親のかかわり方～サインの受け止め方」 講師:内田玲子氏 「子育て中の親のかかわり方～サインの受け止め方」をテーマに、家庭の中でおこる様々な問題は、一人ひとりの心によって引き起こされ、原因と結果は「生活の中に答えがある」ということを話されました。

【なかとんべつ放課後子ども教室事業】

登録人数 計17名 計21回開催

開催日	場 所	内 容	人数
8月26日	町民センター レクリエーション室	宿題・課題	5
9月2日	町民センター・町体育館	宿題・課題 ミニバレー	7
9月9日	町民センター レクリエーション室	宿題・課題 昔遊び	7
9月16日	町民センター・町体育館	宿題・課題 スポーツチャンバラ	5
9月30日	町民センター レクリエーション室	宿題・課題 ペーパークラフト	9
10月7日	町民センター・町体育館	宿題・課題 バドミントン	9
10月28日	町民センター・町体育館	宿題・課題 スポーツチャンバラ	4
11月4日	町民センター 第1研修室	宿題・課題 竹とんぼ	9
11月11日	町民センター レクリエーション室	宿題・課題	7
11月25日	町民センター 第1研修室	宿題・課題 竹とんぼ	10
12月2日	町民センター レクリエーション室	宿題・課題	8
12月16日	町民センター・町体育館	宿題・課題 ミニバレー	10

1月20日	町民センター	宿題・課題	11
1月27日	町民センター 和室	宿題・課題 百人一首	12
2月3日	町民センター	宿題・課題	11
2月10日	町民センター・町体育館	宿題・課題 リレー	10
2月17日	町民センター	宿題・課題	3
2月24日	町民センター・町体育館	宿題・課題 鬼ごっこ	10
3月2日	町民センター・町体育館	宿題・課題 キックベース	12
3月9日	町民センター	宿題・課題	9
3月16日	町民センター・調理室	宿題・課題 いもだんご作り	13

【家庭教育支援事業】

1. 家庭教育講演会

開催日	平成24年3月24日
場所	こども館
講師	北海道教育大学旭川校附属幼稚園 副園長 馬場信明 氏
参加者	13名
テーマ	「今、大切にしたい子育てを考える」
概要	幼稚園や保育所での学びと小学校での学びの違いについて説明され、焼き芋体験、餅つき、うさぎの飼育活動などの実践事例を交えながら、「子育てはこどもの土台を育てること、子どもの心の安定が大切。」と講演

平成24年度学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業実績

【学校支援地域本部事業】

1. 学校活動への支援活動

①中頓別小学校

事業	開催日	場所	内容	人数
総合学習 「中頓別探検 隊」	5月16日 17日	鍾乳洞	・構造、歴史に学ぶ ・生物(昆虫・野鳥)に学ぶ ・自然(木・花)に学ぶ	59
	7月13日	小学校	「総合学習追体験」名人にインタビューして もっと物知りになろう	59
	9月18日	小学校	出前授業支援:町をアピールするための方法 をプロから学ぶ	59
	11月27日	小学校	地域の方のアドバイスを受けてアピール物 をより良くするための支援	30
1・2年生 生活科	10月 5日	小学校	「なかよくなろう生物」 生物にふれ合う学習支援	24
1年生 異世代交流	2月20日	小学校	「昔遊び」 伝承遊びを覚えてもらう ・剣玉 ・お手玉 ・竹とんぼ ・あやとり ・コマ	12
3年生 社会科	10月3日	セイコーマート	「買い物調べ」 セイコーマート中頓別店の店内見学	13
	10月9日	JA中頓別	「買い物調べ」 JA中頓別の店内見学	13
3年生 社会見学	1月18日	石橋牧場	「酪農の仕事調べ」 石橋牧場の見学支援	13
4年生 社会見学	5月11日	枝幸警察署中 頓別駐在所	「安全なくらしとまちづくり」 中頓別駐在所見学支援	16
	6月25日	南宗谷消防組 合中頓別支署	「安全なくらしとまちづくり」 中頓別消防支署見学	16
	9月10日	中頓別浄水場・ 中頓別町下水道 管理センター	「健康なくらしとまちづくり」 上・下水道施設見学支援	16
	9月14日	一般廃棄物理 立処理施設	「安全なくらしとまちづくり」 施設見学支援	16
毛筆体験	12月 4日 5日	小学校	毛筆講師派遣支援	59
スキー授業	1月17日～ 計12回	寿スキー場	スキー指導支援	66
カルタクラブ	5月16日	小学校	百人一首の指導	6
	7月11日	小学校	百人一首の指導	6
	9月12日	小学校	百人一首の指導	6
親子ふれあ い広場	11月18日	小学校	「親子ふれあい広場」 作品制作補助者要請の支援 ・木工「森の妖精」「クリスマスリース」 ・押し花のしおり ・ブックスタンド ・指編み ・バスーンアート	99

学校環境整備活動	6月1日	小学校	「畑おこし」 トラクター・耕耘機を使って畑おこしを支援	
----------	------	-----	--------------------------------	--

②中頼別中学校

事業	開催日	場所	内容	人数
1年生 総合学習	5月10日	郷土資料館	福祉教育	14
	7月4日	藤井会館	福祉教育「思い出マップ」 地域の高齢者等から昔の話を伺い思い出のマップを作成	14
	10月23日	役場	「福祉講話」 福祉学習の一環で町の福祉政策を町長及び担当課長から説明	14
2年生 総合学習	7月18日	保健センター	福祉教育 体験学習として車いす体験、半身不随体験の支援	13
	8月28日	天北厚生園	福祉教育 障害者支援施設で利用者との交流と農園作業等の体験支援	13
2年生 職場体験	11月1日 2日	町内企業	職場体験 町内の企業で職場体験の支援	13
柔道授業	10月24日 25日 29日 30日 31日 11月1日 2日 5日 8日 9日	青少年柔剣道場	「柔道授業」 柔道授業を安全に実施するため柔道経験の豊富な指導者へ依頼する支援	27

③学校図書・読書の支援

中学校	ディスプレイ作成、図書整理
小学校	読聞かせ、学級文庫入替、ディスプレイ作成、新刊図書登録
こども館	絵本の読み聞かせ

2. 中学校地域ルームの開設

中学校の空き教室を利用して、毎週木曜日(8時～16時)に地域ルームを開設し、生徒の悩み・問題の相談や交流を図った。

3. 小学校との情報交換

毎週火曜日(15時30分～16時30分)に支援活動の打合せ及び情報交換を行った。

4. ボランティア活動便り「たすけ愛」の発行

6月～3月まで10号発行

5. 講演会の開催

①子育て講演会

開催日	平成24年9月11日(火)
開催場所	町民センター レクリエーション室

テ ー マ	「子どもの未来に 今、伝えたいこと」
講 師	家庭教育カウンセラー 内田玲子 氏
参 加 者	52名
目 的	中頓別町の子ども達の健やかな成長を願い、豊かな子育てのあり方を学び、学校・家庭・地域が連携して子ども達の健全育成に努める資質をより向上させ、豊かなまちづくりを進めることを目的とする。

【なかとんべつ放課後子ども教室事業】

登録者数 35名 計55回開催

①学習・運動活動 33回

開催日	会場	内容	人数
5月11日	町民センター・町民体育館	学習・運動	19
5月18日	町民センター・町民体育館	学習・運動	23
5月25日	町民センター・町民体育館	学習・運動(キックベース)	21
5月29日	町民センター・こども館	学習・ナラキ先生のABC	12
6月1日	町民センター・町民体育館	学習・運動(縄跳び)	18
6月8日	町民センター・町民体育館	学習・運動(グランドゴルフ)	18
6月15日	町民センター・町民体育館	学習・運動(将棋・卓球)	21
6月22日	町民センター・町民体育館	学習・運動	22
6月26日	町民センター・こども館	学習・ナラキ先生のABC	11
7月6日	町民センター・町民体育館	学習・運動(ミニバレー)	3
7月13日	町民センター・町民体育館	学習・運動	23
7月20日	町民センター	学習・白玉団子作り	24
8月24日	町民センター・町民体育館	学習・運動	16
8月31日	町民センター	学習・サラダ・いも団子作り	26
9月7日	町民センター・プール	学習・運動	26
9月21日	鍾乳洞	学習(森林教室) 鍾乳洞散策道周辺の森林を会場に、宗谷総合振興局森林室専門普及指導員による森林教室を開催	22
9月25日	町民センター・こども館	学習・ナラキ先生のABC	13
9月28日	町民センター・町民体育館	学習・運動	27
10月5日	町民センター	学習	20
10月19日	町民センター	学習	26
10月26日	町民体育館	運動	30
11月2日	ゆめクラブ	学習	27
11月9日	町民センター	学習	26
11月16日	町民体育館	運動	25
11月30日	町民センター	学習	22
1月18日	町民センター	学習	15
1月25日	町民体育館	運動(バトミントン、ミニバレー)	21
2月1日	町民センター	学習	17

2月8日	町民センター	学習	19
2月15日	町民体育館	運動(バドミントン、ミニバレー)	22
2月22日	町民体育館	運動	19
3月1日	町民センター	学習	28
3月15日	町民センター	活動の振り返り	25

②体験活動 5回

開催日	会場	内容	人数
6月29日	日沼寺	見学・体験 お寺を見学し、読経を体験。	16
8月28日	旭台ふれあい農園	野菜収穫体験 トマトとレタスの収穫体験とサラダ作り	12
9月14日	天北厚生園圃場	野菜収穫体験 エダマメの収穫体験	26
10月12日	旭台ふれあい農園	野菜収穫体験 ジャガイモの収穫体験といもだんご作り	25
12月14日	町民センター・町民体育館	絵手紙サークルの方々に協力していただき、 新成人に向けてメッセージ入りの絵手紙とし おりを作成	23

③夏休み・冬休み等の活動 17回

開催日	会場	内容	人数
7月26日	町民センター・プール	学習・運動	21
7月27日	町民センター・プール	学習・運動	17
8月1日	食彩工房もうもう・そうや自然 学校	調理体験 創作活動施設「もうもう」にてピザ・アイスクリー ムの調理体験と、東日本大震災子ども支援プ ロジェクトで来町した児童との交流を実施	26
8月7日 10日 14日	山村水泳プール	親子水泳教室 水泳指導経験者及び町スポーツ推進委員を 講師に、水泳が苦手な児童と技術向上を目指 す児童に水泳指導を行った。	11
12月15日	町民センター	異世代交流事業 遊びやおやつ作り体験を通して高齢者と交流 を図った。オセロ大会・昔遊び・おやつ作り	5
12月25日 26日 27日	町民センター・町民体育館	学習・運動・調理体験 北海道教育大学旭川校から学生2名を迎え、 学習のサポートとレクレーション活動を実施。 上駒女性学級の協力を得て、餅つき体験を行 った。	8
1月9日 10日 11日	寿スキー場	スキー練習 寿スキー場で小学生児童のスキー教室を開 催	58
1月9日 10日 11日	柔剣道場	百人一首練習 柔剣道場で百人一首の練習を実施	30
1月12日	柔剣道場	百人一首大会	26

【家庭教育支援事業】

1. 子育てコラムの発行

目 的	家庭での教育のあり方、学校、家庭の役割について考える機会を地域住民に提供する。6月から3月まで計10号発行し、町内全世帯に配布
著 者	家庭教育カウンセラー 内田玲子 氏

2. 教育関係職員研修会の開催

開 催 日	平成25年2月26日(火)
場 所	小学校
講 師	コアアクティブコーチ 松尾奈緒 氏
参 加 者	26名
目 的	教育関係職員を対象に子ども等とのコミュニケーション術を学ぶ

3. 子育て研修会の開催

開 催 日	平成25年2月27日(水)
場 所	こども館
講 師	コアアクティブコーチ 松尾奈緒 氏
参 加 者	9名
目 的	就学前の幼児を持つ保護者が子育てのヒントを見つけ、これからの子育てに向けて自信を深めていくことを目的に、コミュニケーション術を学び、お互いの気持ちを大切にしながら前向きに子育てに取り組んでいくために家庭教育のきっかけ作りとする。

4. その他

①キッズチャレンジスキー教室

開 催 日	平成25年2月13日(木)・14日(金)
場 所	寿スキー場
講 師	教育委員会職員
参 加 者	11名
目 的	子ども館年長児を対象に、スキー場を利用した冬季戸外活動を実施し、スキーの体験やボブスレー、雪遊びなどを行う中で雪に親しむ心を養い、戸外活動の促進定着を目指す。特に、スキーについては小学校入学後のスムーズなスキー授業の取り組みにつなげていく。

②キッズスキー教室

開 催 日	平成25年2月16日(土)・17日(日)
場 所	寿スキー場
講 師	教育委員会職員
参 加 者	5名
目 的	幼児向けのスキー教室を通して、冬季スポーツに親しむ子を育てることを目的とする

③スキーリサイクル事業

開 催 日	平成24年11月16日(金)から
場 所	町民センター・青少年柔剣道場・教育委員会事務局
目 的	就学前の幼児から高校生、その保護者を主な対象に、不要なスキー用具を提供していただき希望者へマッチングすることで、家庭のスキーの取組を支援するスキーリサイクル事業。

実施方針の項目	実施状況
1 子どもの発達や学びの連続性を確保する観点から、小学校教育への円滑な接続に向けた教育及び保育の内容の工夫を図り、連携を通じた質の向上を図ること	
(1) こども園の保育内容や保育の日課の確認をする	<p>【こども園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育参観の際、資料を配布し確認を行った。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月の保育参観の資料で確認した。
(2) 中頓別小学校の「スタートカリキュラム」を作成するにあたり『中頓別認定こども園』と『中頓別小学校』が連携する	<p>【こども園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「スタートカリキュラム」作成にあたり、こども園との連携は行われていない。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度の1年生が入学から5月までの指導内容を「スタートカリキュラム」として、平成25年度のカリキュラムに位置づけた。25年度の中で実践的検証を行っていく。
(3) 中頓別小学校の「入学のしおり」の内容を共通理解する	<p>【こども園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校より事前に「入学のしおり」をいただき、職員会議で全員内容確認を行った。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年の内容と大きく変わった部分はなかったため、事前の確認はしていない。
※ (1)～(3)について、家庭との連携を通して、小学校生活へ向けての基本的な生活習慣を確立するようにしていく	
2 小学校教育との連携・接続においては、地域の小学校等との交流活動や合同の研修の実施等を通じ、認定こども園の子どもと小学校等との交流活動や合同の研修等を通じ、認定こども園の子どもと小学校等の児童及び認定こども園と小学校等の職員同士の交流を積極的に進めること	
(1) 職員同士の交流及び研修	<p>【こども園】</p>
①小学校職員がこども園の保育を見学する	<p>①小学校職員がこども達の活動の様子や食事の状況を見学するために、こども園を訪れた。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・10月前半(就学児知能検査前)に小学校側が子どもの様子を知る ・冬休み中に、こども園の生活全般(食事等を含む)を見学し、子どもの様子を知る 	<p>【小学校】</p> <p>①12月25～26日にこども園を訪問し、ほぼ全員の先生方が保育参観を行った。初めて参観する先生もおり、いろいろ参考になった。</p>
②こども園職員が、1年生に進学後の子どもたちの様子を参観する	<p>【こども園】</p> <p>②第1回授業参観で、こども園職員が小学校を訪問し、こども達の様子を見学した。</p> <p>【小学校】</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月参観日を基本とする <p>③互いに行事の参観をする</p> <p>④レク(町教職員互助会レク等)を通して、職員の交流を図る</p>	<p>②新年度4月の日曜参観にこども園の先生方に来て頂いた。1年生ばかりでなく、他学年も参観してもらった。</p> <p>【こども園】</p> <p>③運動会や学芸会など小学校を訪問し、こども達の成長した姿を見学した。</p> <p>【小学校】</p> <p>③運動会や学芸会、生活発表会を互いに見合うことができたが、見に行くことができたのは管理職や一部の職員だけだった。</p> <p>【こども園】</p> <p>④スポーツ交流会や懇談会、研修会を通して、職員間の交流を積極的に進めることができた。</p> <p>【小学校】</p> <p>④町教職員互助会レクを通して交流を深めることができた。レクの後の交流会では大変盛り上がった。また、職員写真を相互に交換することで、顔と名前を覚えることができた。今後も続けていきたい。</p>
<p>(2) 子ども同士の交流</p> <p>①小学校の「1日入学」(引率:こども園担任等)</p> <p>※2月上旬</p> <p>②5年生による「読み聞かせボランティア」</p> <p>※2月下旬</p> <p>③生活科の学習において、年長児を小学校に招待し、遊びを通して交流を図る※12月</p> <p>※ 上記の他、こども園側の事業に小学生の参加を呼びかける(自由参加)</p>	<p>【こども園】</p> <p>①「1日入学」に参加し、こども達の様子を見学した。</p> <p>【小学校】</p> <p>①2月1日にこども園の園児を小学校に招いて「1日入学」を行った。小学生は年上であることを意識し、普段以上に頑張って関わっていた。</p> <p>【こども園】</p> <p>②「読み聞かせボランティア」の実施により、年長児との交流が図れた。</p> <p>【小学校】</p> <p>②2月20日に5年生がこども園を訪問し、読み聞かせを行った。入学後のお世話活動を行う上で、必要な関わりをもつことができた。</p> <p>【こども園】</p> <p>③授業を通して、こども園を訪れ年長児と交流を行った。その他、自由参加ではあるボランティア体験や放課後訪問を通して交流を図った。</p> <p>【小学校】</p> <p>③10月2日に生活科の学習で2年生がこども園を訪れ、クイズ集会を行った。事前に小学校でのリハーサルをするなど2年生なりに頑張っている様子が見えた。</p>

<p>3 すべての子どもについて指導要録の抄本・写し等の子ども達の育ちを支えるための資料の送付により連携する等、教育委員会、小学校等との積極的な情報の共有と理解を深めること</p>	
<p>(1) 指導要録による、子どもの様子の伝達 ※3月実施</p>	<p>【こども園】 ・小学校と日程調整を行ない指導要録の提出と子どもの様子の伝達を行った。</p> <p>【小学校】 ・3月28日に新入学児童についてこども園から引継ぎを新担任と管理職で受けた。要録等ではわからない園児1人1人の状況を聞くことができた。</p>
<p>(2) 時と場に応じて、子どもの健康状態等について、教育委員会に情報提供し、教育委員会が関係機関(小学校のみならず中学校等へも)に発信し、情報を共有できるようにする (例)インフルエンザ等が発生した場合、教育委員会へ連絡し、情報提供を受けた教育委員会が小学校や中学校等へ情報提供する</p>	<p>【こども園】 ・教育委員会より、インフルエンザなど感染症に関する情報を発信してもらうことで、全職員情報が共有でき、感染を広げないための予防につながった。</p> <p>【小学校】 ・必要な情報は委員会を通じて提供した。インフルエンザ罹患者の対応については異なる部分もあるので、それぞれの状況を理解し、教職員にも説明するなど情報を共有できるように心がけた。 ・学童保育等の状況について指導員と懇談の場を持ち、児童の課題について共有することができた。</p>
<p>(3) 上記2(1)①の見学後に職員同士で子どもの様子について交流を図る(情報交換)</p>	<p>【こども園】 ・生徒指導連絡協議会の中でその間の児童生徒、園児の様子など交流を図った。</p> <p>【小学校】 ・参観後に職員同士が、子どもの状況について個別に交流することはあったが、組織的な取り組みにはならなかった。</p>
<p>(4) 上記2(1)②においては、参観後、近い日にちを選んで交流を図る(情報交換)</p>	<p>【こども園】 ・児童クラブ担当者と小学校との情報交流は図られたが、参観日後の職員同志の交流は実施されていない。</p> <p>【小学校】 ・情報交換の場は設定できなかった。</p>

中頓別町認定こども園と中頓別小学校との円滑な 連携・接続に向けた取り組み方針

【認定こども園に係る「国の指針」を基本とした取り組み方針】

【平成24年 3月】

- 1 子どもの発達や学びの連続性を確保する観点から、小学校教育への円滑な接続に向けた教育及び保育の内容の工夫を図り、連携を通じた質の向上を図ること
 - (1) こども園の保育内容や保育の日課の確認をする
 - (2) 中頓別小学校の「スタートカリキュラム」を作成するにあたり『中頓別認定こども園』と『中頓別小学校』が連携する
 - (3) 中頓別小学校の「入学のしおり」の内容を共通理解する※ (1)～(3)について、家庭との連携を通して、小学校生活へ向けての基本的な生活習慣を確立するようにしていく

- 2 小学校教育との連携・接続においては、地域の小学校等との交流活動や合同の研修の実施等を通じ、認定こども園の子どもと小学校等との交流活動や合同の研修等を通じ、認定こども園の子どもと小学校等の児童及び認定こども園と小学校等の職員同士の交流を積極的に進めること
 - (1) 職員同士の交流及び研修
 - ①小学校職員がこども園の保育を見学する
 - ・10月前半(就学児知能検査前)に小学校側が子どもの様子を知る
 - ・冬休み中に、こども園の生活全般(食事等を含む)を見学し、子どもの様子を知る
 - ②こども園職員が、1年生に進学後の子どもたちの様子を参観する
 - ・4月参観日(を基本)とする
 - ③互に行事の参観をする
 - ④レク(町教職員互助会レク等)を通して、職員の交流を図る
 - (2) 子ども同士の交流
 - ①小学校の「1日入学」(引率:こども園担任等)※2月上旬
 - ②5年生による「読み聞かせボランティア」※2月下旬
 - ③生活科の学習において、年長児を小学校に招待し、遊びを通して交流を図る※12月※上記の他、こども園側の事業に小学生の参加を呼びかける(自由参加)

- 3 すべての子どもについて指導要録の抄本・写し等の子ども達の育ちを支えるための資料の送付により連携する等、教育委員会、小学校等との積極的な情報の共有と理解を深めること
 - (1) 指導要録による、子ども様子の伝達 ※3月実施
 - (2) 時と場に応じて、子どもの健康状態等について、教育委員会に情報提供し、教育委員会が関係機関(小学校のみならず中学校等へも)に発信し、情報を共有できるようにする
 - (例) インフルエンザ等が発生した場合、教育委員会へ連絡し、情報提供を受けた教育委員会が小学校や中学校等へ情報提供する
 - (3) 上記2(1)①の見学後に職員同士で子どもの様子について交流を図る(情報交換)
 - (4) 上記2(1)②においては、参観後、近い日にちを選んで交流を図る(情報交換)

8. 教育委員会外部評価委員会からのご意見

中頓別町教育委員会外部評価委員会委員名簿

役職名	氏名	任期
委員長	米津英男	～H25.08.31
副委員長	佐藤一彌	～H25.08.31
委員	高橋恵美子	～H25.08.31
〃	田辺毅	～H25.09.30
〃	高山哲也	～H25.09.30

(1) 開催状況等

- 平成25年 5月 2日 (木) 「中頓別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書」素案の事前配付
- 平成25年 5月13日 (月) 中頓別町教育委員会外部評価委員会
第1回 外部評価委員の意見集約
- 平成25年 5月24日 (金) 「外部評価委員会からの意見まとめ」の確認と修正
- 平成25年 5月27日 (月) 外部評価委員の意見最終集約

(2) 意見の内容

1. 施策項目（事務事業）別

《健やかでこころ豊かな子どもを育てる環境づくり》

①子育て支援と幼児教育の充実

- 健やかでこころ豊かな子どもを育む思いは行政、学校、家庭、地域においても方向性は同じと思う。時代に則した教育を進めるためには、教職員はもとより関係者（職員）一人ひとりの質の向上が求められている。そのための研修の機会は大切に扱ってほしい。
- 子育ての連携は就学前後を含め、学校・家庭・地域の連携が大切であり、保健福祉分野との連携と対応が大切になる（子ども子育て会議（仮称））
- 学校の取組みが家庭でしっかりと受け止められていないのでは。学校の思いが家庭・保護者に充分浸透していない面があるのではないか。
- 「放課後児童健全育成事業」「放課後子ども教室」などを積極的に取り組むことで、放課後の活動機会が増え、子どもたちの健全育成に大きな成果が見られる。今後も取組みを継続してほしい。

②学校教育の充実

- 教育委員会としての姿勢と学校教育現場に差が生じないように、これからも思いを相互一致できるよう連携を強化し取り組んでいただきたい。
- 学校教育と社会教育を進める上で、さらに互いに連携協力を深め、領域を超えた取組みをしていただきたい。
- 教育研究指定校委託事業や中頓別町教育研究会運営事業など、今後も小・中学校が接続・連携を意識し、教育に係る職員の資質向上を目指した研究活動になるよう進めてもらいたい。
- 中学校選択科目について、武道（柔道）においては、今後も事故や怪我が発生しないように柔道連盟から外部講師として適切なサポートをいただくなど、担当教諭及び校長が指導方法や安全等に配慮し取り組んでいただきたい。
- 中学校は体育館の耐震化の改修を行っているが根本的な解決には至っていない。様々な方向性について協議し、早急に結論を出し対処すべきである。
- 学校では「自分の意見を伝える」「人の話を聞ける」などコミュニケーション能力を身につけさせるが大切である。
- 子どもたちの教育を支えるサポート活動を充実するための支援者を募るには、子どもを取り巻く大人組織の煩雑さや解りにくさを整理することが必要ではないか。
- 支援者は自由裁量のなかで学校や子ども達を応援するかたちが望ましいと考える。「地域の大人として支援したい」という想いは大切にしてもらいたい。

- 学校と地域が連携した事業（中頓別探検隊や高齢者とのふれ合い事業など）、今後も継続して実践してもらいたい。
- エネルギー問題について、未来に向けての課題解決のための学習会等、子どもたちを含め町全体として考える機会を考えてほしい。
- 認定こども園から中学校を卒業するまで、同じ人間関係で推移することによる弊害（いじめ、地域との関係、友達関係など）がでてくるのでは。その弊害に対する対策や解決策を持つべきではないか。

《生きがいとまちづくりを支える社会教育の推進》

①社会教育（体育）の充実

- 各事業の開催において、他団体やサークルとの連携を深め実施してはどうか。
- 各事業の開催においては、他団体やサークルの協力をいただき、連携を深めながら実施してはどうか。
- 教育委員会と学校現場との間に温度差が生じないように、今後も問題や課題の把握、情報は互いに共有し、より一層意思疎通を図りながら教育の推進に取り組んでほしい。
- 各種事業やイベントの開催について、多くの方に参加してもらうためには広報等のPR方法を工夫していくとよい。例えば、対象人数が少ない場合など、PRした後の個別呼びかけなどのフォロー活動などが大切である。
- 様々なスポーツ団体が活動されている中、ふれあいスポーツ広場の利用が少ない。すばらしく整備されている施設なので利活用の検討が必要ではないか。

2. 教育委員会活動全般

- 教育分野においても地域主権を発揮し、国や道の教育行政施策だけではなく、我が町ならではのオリジナリティあふれる教育施策を打ち出して取り組むことが大切ではないか。

【資料】

宗谷教育局等による教育委員会及び学校訪問(指導)関係の状況

項目	日程	指導者(訪問者)	訪問先等	指導内容等
教育委員会訪問	24.07.06	教育支援課長 義務教育指導班 主査 社会教育指導班 主査	教育委員会事務局	○中頓別町の第7期総合計画、学校教育、社会教育における具体的な取り組みを説明 ○管内教育推進の基本方針【骨子】をはじめ、様々な教育活動についての説明 ○意見交換等
学校教育指導 (学校経営訪問)	24.06.14	義務教育指導監	教育委員会	○本町の教育全般に係る意見交換 ○各学校経営内容全般
			中頓別小学校	○学校及び経営の概要 ○各学年の授業参観及び校内環境 ○今年度の課題と充実の方策 ○指導監からの助言
			中頓別中学校	○各学年の授業参観 ○学校経営の概要 ○教育活動の特徴と生徒の様子 ○指導監からの教示
学校教育指導	24.07.05	義務教育指導班 指導主事	中頓別小学校	○公開授業《1年算数・5年算数》 ○校内教育研究会 ○指導助言
	24.09.21	義務教育指導班 指導主事	中頓別中学校	○学校経営・運営の概要 ○校内研修・学校研究の説明 ○各学年授業参観・公開授業(3年音楽) ○武道授業に関わる指導・助言
	24.09.28	義務教育指導班 指導主事	中頓別小学校	○公開授業《3年算数》 ○校内教育研究会 ○指導助言
	24.12.06	義務教育指導班 指導主事	中頓別中学校	○学習指導の改善点の説明 ○校内研修・学校研究の説明 ○各学年授業参観・公開授業 ○実践課題の指導・助言
	25.03.08	義務教育指導班 指導主事	中頓別小学校 中頓別中学校	○全国学力・学習状況調査の調査結果の分析状況 ○学校改善プランの取組状況 ○学力向上に係る数値目標の設定

項目	日程	指導者（訪問者）	訪問先等	指導内容等
学校教育指導	25.03.08	義務教育指導班 指導主査	認定こども園	○幼児教育の充実に向けた指導助言 ○幼児教育から小学校への接続に向けた取り組み概要
学力 UP セミナー	25.01.21	義務教育指導班 指導主査	教育委員会 小中学校教職員	○平成24年度全国学力・学習状況調査の結果から見られる全道、管内等の現状と課題 ○平成24年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業改善など実効性のある取組について
宗谷管内 教育推進 会議	25.03.06	義務教育指導監 義務教育指導班 指導主査 社会教育指導班 主査	教育委員会 小中学校教職員	○教育委員会 認定こども園と中頓別小学校の連携方針実施状況及び教育支援活動について報告 ○中頓別小学校 特色ある教育活動として「中頓別探検隊」及び「縦割り班活動」について報告 ○中頓別中学校 地域との結びつきを考える特色ある取り組み「よさこい活動」について報告 ○宗谷教育局 北海道教育推進計画（第4次北海道教育長期総合計画）案について説明
指導方法 工夫改善 実施状況 確認調査	24.11.06	宗谷教育局 教職員係長外2 名	中頓別中学校 中頓別小学校	○指導方法工夫改善実施状況の実績、実施状況の確認 ○少人数指導内容等の確認調査

社会教育関係施設 利用状況

■町民センター

年度	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数
大ホール	43	4,291	27	3,040	28	3,328	33	2,560
第1研修室	62	601	21	168	88	572	103	156
和室1・2	108	2,865	101	3,093	103	2,549	102	914
第2・3研修室	13	244	8	188	6	120	17	155
レク室	38	988	43	1,020	45	1,010	83	927
視聴覚室	16	120	1	30	0	0	9	50
調理室	6	35	5	59	2	21	30	274
茶室	34	256	37	222	32	242	43	215
青少年研修室	0	0	1	5	0	0	1	5
応接室	17	94	106	353	37	260		
計	337	9,494	350	8,178	341	8,102	421	5,256

■郷土資料館

区分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
開館日数		298	300	308	308	
有料	大人	個人	132	95	101	78
		団体	71	39	30	0
	小人	個人	5	6	2	2
		団体	0	0	0	0
	計	208	140	133	80	
無料	大人	61	53	27	95	
	小人	183	105	129	67	
	計	244	158	156	162	
合計		452	298	289	242	

■青少年柔剣道場

《 柔剣道場 》

区分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
柔道少年団	回数	64	58	50	57
	人数	839	605	452	570
剣道少年団	回数	80	78	101	116
	人数	436	712	1,043	857
その他	回数	43	39	40	45
	人数	424	298	381	634
合計	回数	187	175	191	218
	人数	1,699	1,615	1,876	2,061

《 研修室 》

区分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
無料	回数	26	39	33	47
	人数	231	312	341	390
有料	回数	1	3	0	4
	人数	22	40	0	32
計	回数	27	42	33	51
	人数	253	352	341	422

《 図書室 》

区分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
開館日数		298	300	308	308
利用者数	一般	1,985	2,043	2,143	1,765
	中高生	225	245	254	182
	小学生	1,994	1,788	2,179	1,506
	計	4,204	4,076	4,576	3,453
貸出冊数	一般	4,149	4,758	6,767	5,454
	中高生	146	109	236	142
	小学生	2,093	2,365	3,729	2,800
	道移図書	417	386	500	31
	計	6,805	7,618	11,232	8,427
	内児童書	2,912	3,646	5,650	4,029

■小頼別多目的集施設利用状況

区 分		平成22年度	平成23年度	平成24年度
無料	利用日数	24	16	12
	利用人数	201	165	141
有料	利用日数	5	4	2
	利用人数	111	200	100
合計	利用日数	29	20	14
	利用人数	312	365	241

■創作活動施設使用状況

利用別	団体名	平成22年度			平成23年度			平成24年度			備考
		人数	回数	延べ人数	人数	回数	延べ人数	人数	回数	延べ人数	
無料	白百合会	3	21	63	3	3	9				月2回、木曜日
	やまなみ吟社(俳句会)	7	50	350	7	9	63	7	12	84	毎月第3水曜日
	陶芸サークル	10	79	790	10	150	382	10	28	280	5月～10月第2、第4、火曜、水曜
	ミックスグループ	5	9	45							5月～12月
	文化協会総会	21	1	21				25	1	25	5月28日
	旭台自治会祭典打ち合わせ	5	1	5							6月28日
	自衛隊協力会 音楽隊宿泊	30	2	60							7月20日～7月21日
	森とも学習会	10	1	10							9月11日
	町民文化祭寄席	70	1	70							11月3日
	子ども安全パトロール隊懇談会							20	1	20	
小計	161	165	1,414	20	162	454	62	42	409		
有料	パークゴルフ協会総会	40	1	40	55	1	55	20	1	20	4月17日
	個人	5	1	5							4月9日
	子ども安全パトロール隊	20	1	20	10	1	10				4月22日
	個人	5	1	5							9月24日
	パークゴルフ協会忘年会	45	1	45	55	1	55				12月11日
	ゲートボール協会新年会	18	1	18	30	1	30	15	1	15	1月22日
	体育指導員反省会	10	1	10							2月27日
	まぜごはんグループ活動	5	2	10							9月16日、11月5日
	子ども安全パトロール隊未懇談会	20	1	20	10	1	10				3月25日
小計	168	10	173	160	5	160	35	2	35		
合計	329	175	1,587	180	167	614	97	44	444		

■学校開放

《中頓別小学校体育館》

区 分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
野球少年団 水・金11/4～3/23	回数			25	
	人数			160	
バスケットボール協会 火	回数	28	7	23	44
	人数	434	87	96	584
サッカー協会 日・水	回数	4	85	38	28
	人数	40	562	345	224
スポーツをしない会	回数			24	49
	人数			192	827
卓球スポーツ少年団 土	回数	15	7	21	15
	人数	87	93	297	239
長寿園	回数			2	2
	人数			29	26
その他	回数	2	1	3	5
	人数	30	14	30	61
中頓別中学校	回数			16	35
	人数			334	630
中頓別バレーボールクラブ	回数				
	人数				
合 計	回数	49	100	152	178
	人数	591	756	1,483	2,591

■社会体育施設

《町民体育館団体利用状況》

区 分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
ゲートボール協会 (月・火・水・木・金・日)	回数	176	152	143	127
	人数	2,314	1,881	1,436	1,157
卓球愛好会 月・火・木	回数	116	109	114	102
	人数	569	453	395	320
バレーボール協会 (月・木)	回数	66	75	68	64
	人数	825	1,131	838	801
育児婦人運動部 火・金	回数	10	13	22	26
	人数	62	76	142	154
ミニバレー愛好会 水	回数	33	22	26	12
	人数	285	188	195	84
ミニバレーを楽しむ会 金	回数	37	30	34	25
	人数	124	261	271	212
パークゴルフ協会	回数	23	11		
	人数	147	47		
バドミントン愛好会 火	回数	37	41	45	42
	人数	124	140	213	261
その他	回数	0	1		1
	人数	0	4		50
中頓別中学校	回数	0	0	26	37
	人数	0	0	546	364
合 計	回数	498	454	478	436
	人数	4,450	4,181	4,036	3,403

■山村水泳プール

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
開館日数		63	63	63	63	
時間帯別	午前	大人	11	82		
		小人	292	373		
	午後	大人	153	208	212	231
		小人	799	955	1,301	1,408
	夜間	大人			20	32
		小人			72	34
料金別	有料	午前	11	51		
		午後	105	117	176	195
		夜間			0	1
	無料	団体	442	510	575	518
		小人	697	940	854	991
	人数計		1,255	1,618	1,605	1,705

■寿野外レクリエーション施設
《寿スキー場 リフト券販売状況》

区分	対象	単価	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度			
			枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	区分	枚数	金額	
町内	シーズン券	大人	13,650	15	204,750	17	232,050	24	327,600	大人	37	481,000
		高校	12,600	0	0	0	0	1	12,600	高校生以下	72	504,000
		中学	9,450	0	0	1	9,450	1	9,450	60歳以上	10	70,000
		小学	7,350	25	183,750	34	249,900	19	139,650			
	回数券(11回券)	大人	1,360	157	213,520	194	263,840	163	221,680	大人	397	516,100
		子供	940	138	129,720	211	198,340	197	185,180	高校生以下	496	396,800
	1日券	大人	2,100	6	12,600	30	63,000	6	12,600	60歳以上	17	13,600
		子供	1,360	6	8,160	20	27,200	28	38,080	大人	49	95,550
										高校生以下	80	96,000
	1回券	大人	130	124	16,120	46	5,980	155	20,150	60歳以上	1	1,200
		子供	90	74	6,660	49	4,410	76	6,840	大人	317	41,210
	団体	大人	1,050	0	0	0	0	128	64,000	高校生以下	196	15,680
		子ども	680	0	0	0	0	439	175,600	60歳以上	0	0
	その他			0	214,400	0	231,900	0	0	バトロール員	7	56,000
										大人減免	11	14,300
										高校生以下減免	11	8,800
										学校授業大人	238	185,640
									学校授業小人	1,333	639,840	
	計			989,680		1,286,070		1,213,430			3,135,720	
町外	シーズン券	大人	17,750	21	372,750	20	355,000	20	355,000			
		高校	16,380	0	0	0	0	1	16,380			
		中学	11,340	9	102,060	8	90,720	5	56,700			
		小学	8,820	39	343,980	32	282,240	32	282,240			
	回数券(11回券)	大人	1,770	332	588,210	284	502,680	283	500,910			
		子供	1,130	252	284,760	276	311,880	321	362,730			
	1日券	大人	2,730	31	84,480	32	87,360	14	38,220			
		子供	1,630	75	122,380	85	138,550	62	101,060			
	1回券	大人	170	264	44,880	203	34,510	313	53,210			
		子供	110	169	18,590	140	15,400	242	26,620			
	団体	大人	1,360	0	0	0	0	962	280,640			
子ども		810	0	0	0	0	215	404,610				
その他			0	536,320	0	715,000	0	0				
	計			2,498,410		2,533,340		2,478,320				
合計				3,488,090		3,819,410		3,691,750			3,135,720	
営業日数/リフト輸送人員			84日	44,439人	81日	45,503人	80日	44,412人	78日	42,500人		

《パークゴルフ場》

区分	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額
シーズン券町内	95	378,000	78	312,000	76	304,000	69	276,000
シーズン券町外	0	0	0	0	0	0	4	24,000
1日券町内	488	97,600	420	84,000	342	68,400	368	73,600
1日券町外	653	195,900	714	214,200	532	159,600	313	93,900
1日券利用者	1141	671,500	1134	610,200	874	532,000	754	467,500

《テニスコート》

区分	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額
町内	18	0	12	2,400	19	3,800	18	3,600
町外	0	0	3	900	19	5,700	17	5,100
計	0	0	15	3,300	38	9,500	35	8,700

教育関係団体活動状況

・体育団体関係

	団体名	会長/代表者	団体連絡者	活動場所	活動時間	活動日	会員数	
体育連盟	1 サッカー協会	三浦陽一	桜田正考	中頓別ふれあいスポーツ広場 中頓別小学校体育館	19:00～21:00	毎週日・月曜日	10	
	2 バスケット協会	古谷裕一	福島靖弘	中頓別小学校体育館	19:00～21:00	毎週火曜日	31	
	3 バレーボール協会	寺島寛		恵良田元子	中頓別町体育館	19:00～21:00	毎週月・木曜日	11
				高口智子	中頓別町体育館	19:00～21:00	毎週月・木曜日	16
	4 スキー協会	奥村新一	長谷川克弘	中頓別町寿スキー場	随時	シーズン中	16	
	5 走友会	西一彦	権城宣之		随時	随時	17	
	6 パークゴルフ協会	石神忠信	石神忠信	寿公園パークゴルフ場	5:00～12:00 13:00～19:00	随時	76	
	7 ゲートボール協会	大場弘	野邑雅子	中頓別町メモリアルパーク 町民体育館	8:30～11:30	随時	15	
	8 野球連盟		上道勝幸	中頓別ふれあいスポーツ広場	18:00～20:00	シーズン中	25	
	9 剣道連盟	田中勇夫	中原章子	中頓別町青少年柔剣道場	18:00～20:00	毎週火・木曜日	7	
10 柔道協会	後藤敏直	丸山博光	中頓別町青少年柔剣道場	18:00～20:00	毎週火・木曜日	10		
スポーツ少年団	1 中頓別町剣道スポーツ少年団		中原章子	中頓別町青少年柔剣道場	18:00～20:00	毎週火・木曜日	10	
	2 中頓別町柔道スポーツ少年団	丸山博光	古谷裕一	中頓別町青少年柔剣道場	18:00～20:00	毎週火・木曜日	8	
	3 中頓別町野球スポーツ少年団		山内功	中頓別小学校グラウンド	15:00～17:30	毎週水・金曜日	7	
	4 中頓別町卓球スポーツ少年団		山田美緒子	中頓別小学校体育館	10:00～12:00	毎月1～2回土曜日	22	
	5 中頓別町フットサルスポーツ少年団		桜田正考	中頓別小学校体育館	17:30～19:00	毎週水曜日	15	
	1 卓球愛好会		武田静子	中頓別町体育館	13:00～15:00	毎週月・火・木曜日	5	
	2 ミニバレーを楽しむ会		吉田智一	中頓別町体育館	19:00～21:00	毎週金曜日	11	
	3 バドミントン愛好会		秋庭裕子	中頓別町体育館	19:00～21:00	毎週火曜日	6	
	4 ミニバレーボール愛好会		小原利春	中頓別町体育館	19:00～21:00	毎週水曜日	15	
	5 育児婦人運動部		山口さおり	中頓別町体育館	9:30～12:00	毎週火・金曜日	9	
	6 スポーツしない会?	長谷川克弘	福島靖弘	中頓別町小学校体育館	19:00～21:00	毎週土曜日	20	
	7 カンフー教室	藤田健一	藤井富子	中頓別町青少年柔剣道場	19:00～21:00	毎週水曜日	13	

教育関係団体活動状況

・文化団体関係

	団 体 名	会長/代表者	団体連絡者	活 動 場 所	活 動 時 間	活 動 日	会員数
文化協会	1 やまなみ吟社 (俳句)	武田 哲雄	武田 哲雄	創作活動施設ゆめくらぶ	19:00～21:00	毎月第3水曜日	8
	2 日本詩吟学院岳風会中頓別支部 (詩吟)	小林 嘉治	小林 嘉治	中頓別町民センター (第1研修室)	13:00～15:00	月1回	10
	3 茶道サークル		石井 佳美	中頓別町民センター (茶室)	13:00～15:30	毎週火曜日	18
	4 東海林社中 (華道)	浅野美智子	東海林藤子	東海林宅	13:30～20:30	休会	17
	5 陶芸サークル		磯木由紀江	創作活動施設ゆめくらぶ	13:00～15:00 19:00～21:00	第2・第4火・水曜日	12
	6 絵手紙クラブ	武田 静子	高橋 妙子	青少年会館 (和室)	水19:00～21:00 木13:00～15:00	第2・第4水・木曜日	14
	7 白百合会		小原とみい	創作活動施設ゆめくらぶ	13:30～15:00	休会	4
	8 あかねカラオケサークル	荒木 謙蔵	荒木 謙蔵	あかね会館	19:00～22:00	金曜日(月2回)	5
	9 知足会 (茶道)	作 見 和	村上 初枝	田邑宅			23
	10 しあわせカラオケ会		天野 宣子		19:00～21:00	月1回	11
	11 彩北絵画クラブ (絵画)	東海林繁幸	東海林繁幸				5
	12 寿大学カラオケサークル	朝田 茂次	朝田 茂次	中頓別町民センター (和室)	12:30～15:30	毎週水・土曜日 (週2回)	23

・その他教育関連団体関係

	団 体 名	会長/代表者	団体連絡者	活 動 場 所	主 な 活 動 内 容	会員数
その他	1 図書室ボランティアサークル「このゆびと～まれ♪」	犬 飼 教 子	大森美佐江	中頓別町郷土資料館図書室	絵本の読み聞かせ等のボランティア活動	9
	2 スピン会	石黒由里子	石黒由里子	中頓別町地域づくり活動支援センター	羊毛による編み物	8
	3 ひよっこくらぶ	佐藤 恵	佐藤 恵	中頓別町介護福祉センター	子育てに関する悩み等の育児サークル	13

家族のふれあい、語り合いを大切にしていますか

- 安らぎのある楽しい家庭をつくりましょう
- 家庭の会話で、思いやりと豊かな心を
- 「ありがとう」「ごめんなさい」を言える子に
- 子どもの話には共感と励まし、少しのアドバイスを
- しつけは根気よく、日常生活の中で
- 親の苦労や夢・生き方を語る機会をつくりましょう



はつらつとしたリズム

ある生活を大切にしていますか

- 早寝、早起き、朝ごはん、家庭学習など、しっかりした生活習慣づくりを
- テレビ・ゲームは家族の約束を決めて、節度ある使い方を
- 家事を分担させ、働くことの大切さや責任感、達成感を



ケータイ・ネット

の使い方に、常に目を配っていますか

- 学校では「ケータイ・ネット」の危険な面を、きちんと教えましょう
- 家庭では、親子の話し合いで、使い方の約束・ルールを決めましょう
- PTAでは、家庭の取り組み方を学び合いましょう



(絵：高山 有里)

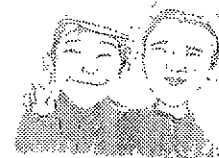
子育て提言

かわいいからこそ甘やかさない

良いこと

悪いことを、キッパリ教えていますか

- いじめや暴力には毅然とした態度で
- 人間として、してはいけないことを教えましょう
- 叱るときは真剣に、ピシッとさわやかに
- 生命の尊さ、人権の大切さ
- 感謝と思いやりの心を教えましょう



子育てのために、大人同士の力合わせを大切にしていますか

- 近所づきあい・ボランティア・地域行事で大人のつながりを
- 安心・安全な町づくりをみんなで
- 社会のマナーをしっかりと示せる大人に
- 保・小・中の連携で、子どもたちに「生きる力」を
- 学校・家庭・地域の力合わせを大切に

「子育て提言」は、健やかな子どもを育てるために、できることから家庭・地域・学校が手を取りあって取り組みを進めて行きますよという呼びかけです。この提言を基に、子育てについての語り合いや取り組みが、家庭、学校、PTA、自治会など、町の隅々に広がります。大人同士の力合わせができるようになることを期待します。

平成二十二年三月

中頓別町あいさつ子育て推進協議会

会長 矢部 優



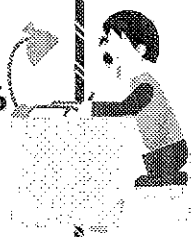
町ぐるみで子どもたちの成長を支えていきましょう！



中頓別町あいさつ子育て推進協議会（連絡先：中頓別町教育委員会・こども館・中頓別小学校・中頓別中学校）

中頓別町 家庭学習の手引き (保存版)

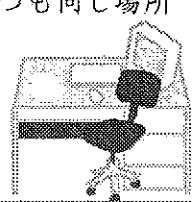


- 1 決まった時間にこつこつとやる
- 2 集中する(テレビやおやつなど、「ながら勉強」をしない)
- 3 机の上を整えて、えんぴつなどの用具をきちんとして始める
- 4 分からないときは、教科書を見たり、調べたりする
- 5 家の人に見てもらおう(小学生)



学 年	時間のめど	場 所	内 容
小1	20分	◆家の中で落ち着いた場所	◆宿題 ・プリント ・ドリル ・音読 など 
小2	30分	◆いつも同じ場所	
小3	40分	◆大人の目が届く場所	
小4	50分	◆家の中で落ち着いた場所	◆宿題 (小3までと同じ) ◆家庭学習 (3年生後半から) ・その日の復習 ・計算 ・漢字 ・調べ物 ・予習 など 
小5	60分		
小6	70分		

■小6から中1へ学年が上がると、学校生活そのものが変わります。
 ■4～5月は、中学校の生活に慣れることが大切です。家庭学習の時間などが小6よりも減るかもしれませんが、この時期は温かく見守りましょう。
 ■生活に慣れてきたら、学習時間の取り方などを工夫して、時間を徐々に増やしていきましょう。

中1	80分	◆家の中で落ち着いた場所	◆宿題 ・ワーク ・プリント など ◆家庭学習 ・宿題以外の復習・予習 ・テスト対策 など
中2	80分	◆いつも同じ場所 (机) 	
中3	100分		◆宿題 ◆家庭学習 (中2までと同じ) ◆進路に向けた復習

***** 見やすい場所に貼って、家でもしっかりと学習する習慣を付けましょう *****

平成23年 中頓別町・小中連携委員会 作成

子どものすこやかな成長を願って

春休みの 週3日方 父母・町民と ついでに協力を

外出時刻

- ◆小学生…午後4時まで
(4月から5時まで)
- ◆中学生…午後6時まで
- ◆高校生…午後10時まで
(須賀別高校の場合)

飲食店の出入り

- ◆小学生…保護者同伴で
- ◆中学生…保護者の許可を得て
(午後6時まで)
- ◆高校生…飲酒する店には出入りしない

* 子どもたちへ *

どんなに小さい子どもかまいません！
悩みや相談事があれば、すぐに保護者や先生、友人に話し
ましよう！決して一人で悩まないで下さい。



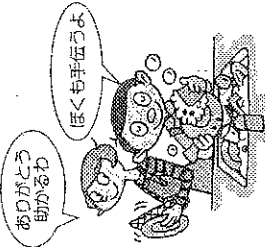
事故防止の声かけを！

(車・飲酒・喫煙・万引きなど)

- ◆歩くときは歩道を、歩道のないところは道路の右端を一緒に。
- ◆ちよつとした気のゆるみから万引きに！
買え与えた以外のものがないか、持ち物や部屋の点検も。
- ◆見知らぬ人についていけないよう、注意を！
- ◆外出の時の行き先、帰宅時刻の確認を。
- ◆飲酒・喫煙に对しきびしい指導を！
- ◆屋根からの落雪、川の融雪に注意を！
- ◆不審者を見つけたら、すぐ警察に電話を！

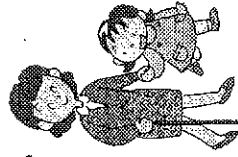
親子のふれあいを！

- ◆早寝・早起き・生活のリズムを大切にしましょう。
- ◆親子の話し合い活動を深めましょう。
- ◆自分の子のみでなく、よその子も注意しましょう。
- ◆子どもにも仕事を分担させ、責任をもって取り組ませましょう。
- ◆地域の行事には親子で進んで参加しましょう。
- ◆インターネット・携帯メールなど、約束を決めて使いましょう。



ほめてください

「あいさつ」や「よい行い」をみかけたら、その場でほめてあげて下さい。



児童・生徒の行動や良い行いについて、お気軽にご連絡下さい！

中頓別町教育委員会 6-1111 (役場)

うちの子に限ってという安易な考えは捨てみんなで子どもたちを守りましょう。